

第3次花巻市環境基本計画
環境に関する意識調査
【市民版】
報告書

花巻市
2023年3月

目次

I.調査概要	1
II.アンケート結果	2
1.あなたのことについて	2
1-1 性別	2
1-2 年齢	3
1-3 職業	4
1-4 世帯構成	5
1-5 居住年数	6
1-6 住宅の種類	7
1-7 居住地域	8
2.地球の環境について	9
2-1 花巻市が取り組んでいる項目についての満足度と重要度	9
2-2 身の回りの環境に対する実感	17
2-3 快適で住みよい環境を確保していくうえで、特に大切と考える要素	34
2-4 身の回りにある「良い環境」と「悪い環境」のイメージ	36
3.環境に配慮した行動について	38
3-1 環境に関する情報の入手方法と頻度	38
3-2 環境に配慮した行動の取り組み状況	53
3-3 環境保全活動への参加状況と参加意欲	56
4.地球温暖化防止について	60
4-1 「地球全体の環境問題」について、関心のあるもの	60
4-2 「脱炭素社会」「パリ協定」の認知度	61
4-3 政府のカーボンニュートラル実現目標の認知度	62
4-4 持続可能な開発目標（SDGs）の認知度	63
4-5 再生可能エネルギーの中でこれから特に取り組んだ方がよいと思うもの	64
4-6 花巻市が導入・拡大すべきだと思う再生可能エネルギーの種類	65
4-7 規模の大きな再生可能エネルギー設備を設置する場所として望ましいところ	66
4-8 再生可能エネルギーを導入することによって期待する効果	67
5.望ましい環境像	68
5-1 大切にしたい、いつまでも残しておきたい自然や場所	68
5-2 10年後の花巻市はどのようにあるべきか	70
5-3 よりよい環境を守り創造するための行動主体	71
6.行政に望む施策について	72
6-1 環境に関して知りたい情報	72
6-2 環境学習への参加意欲	75
6-3 参加したい、または興味がある環境学習	76
6-4 環境問題を解決するために必要な環境保全施策	79
6-5 環境配慮への取り組みを推進するために行政に期待する支援	81
7.事業者に望むこと	83
7-1 環境保全のために事業者に望むこと	83
環境に関する思いや環境に関する行政への意見（自由記載）	84
III.まとめ	91

I.調査概要

1.調査の目的

第3次花巻市環境基本計画策定にあたり、市民の皆様の環境についての考えや課題等について分析することを目的とする。

2.調査方法

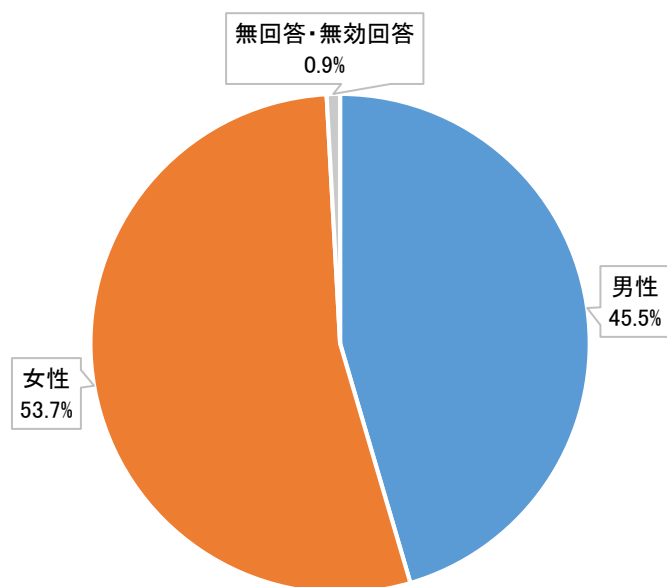
環境意識調査	
調査対象	19歳以上の市民2,000人 (性別、年齢、27コミュニティ地区の人口割合を勘案した無作為抽出による層別抽出)
調査期間	令和4年9月15日～9月30日
調査方法	郵送配布、回収
主な調査項目	1.あなたのことについて 2.地球の環境について 3.環境に配慮した行動について 4.地球温暖化防止について 5.望ましい環境像について 6.行政に望む施策について 7.事業者に望むことについて
回収数(回収率)	693人(34.7%)
集計方法	<ul style="list-style-type: none">・集計にあたっては、小数点第2位を四捨五入した。このため、各数値の合計が100%にならない場合がある。・無回答も選択肢の1つと捉え、無回答も含め比率を算出している。・回答の百分比(%)は、「回答者数」を基数として算出した。したがって、複数回答の比率合計は100%を超えるものがある。
調査結果と理論値	調査結果は、母集団(19歳以上の市民約80,000人)に対する統計上の一般的な要件(信頼度95%等)を備える。 調査結果(回答数)に基づく理論上の最大誤差範囲は3.33%(構成比率50%の場合、母集団では46.7%～53.3%の範囲と推定される)となる。

Ⅱ.アンケート結果

1.あなたのことについて

1-1 性別（単一回答）

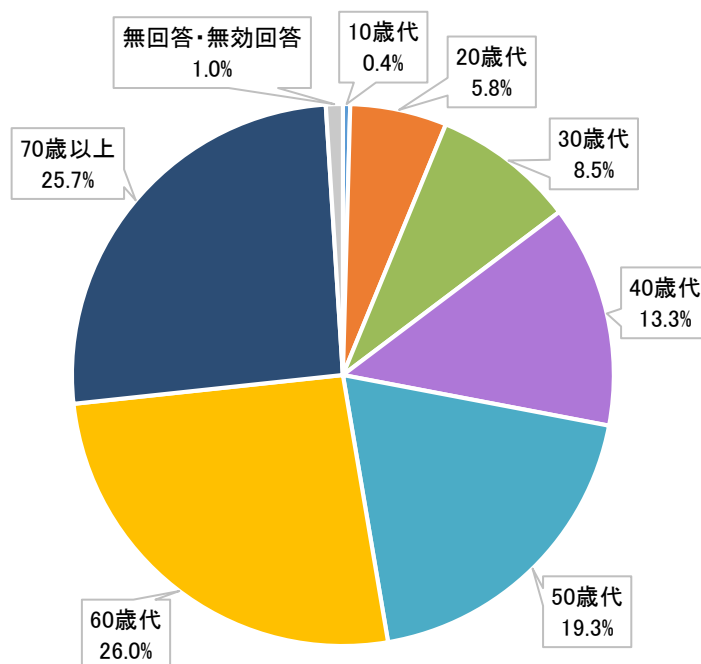
性別は、「男性」が45.5%、「女性」が53.7%となっている。



性別	回答数（件）	構成比（%）
男性	315	45.5
女性	372	53.7
無回答・無効回答	6	0.9
合計	693	100.0

1-2 年齢（単一回答）

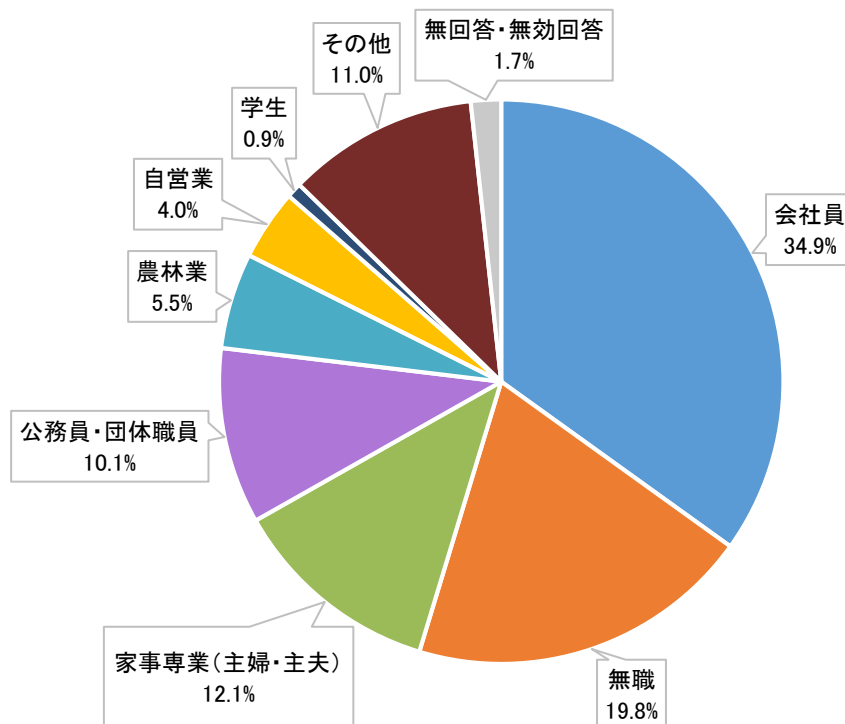
年齢構成は、「60歳代」（26.0%）と「70歳以上」（25.7%）で過半数を占めており、年齢層が低くなるに従い回答者数が少なくなっている。



年齢	回答数（件）	構成比（%）
10歳代	3	0.4
20歳代	40	5.8
30歳代	59	8.5
40歳代	92	13.3
50歳代	134	19.3
60歳代	180	26.0
70歳以上	178	25.7
無回答・無効回答	7	1.0
合計	693	100.0

1-3 職業（単一回答）

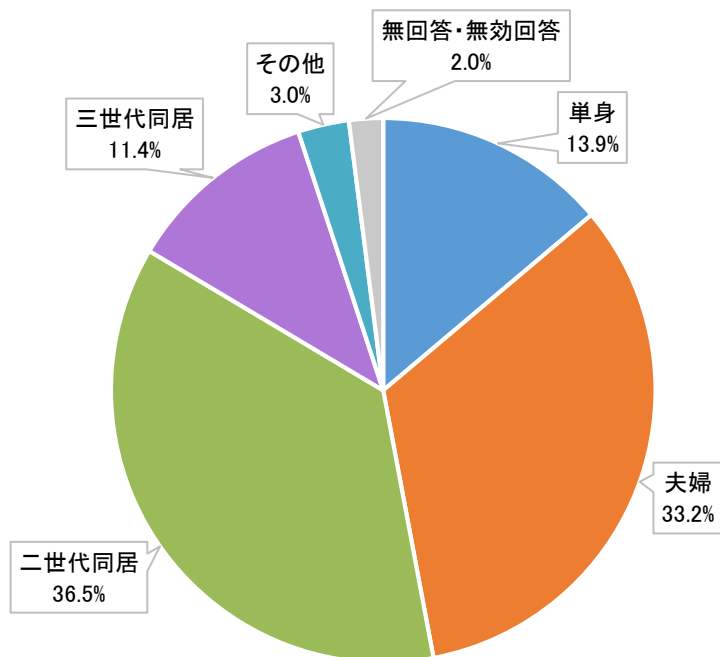
職業は、「会社員」（34.9%）が最も多く、次いで、「無職」（19.8%）、「家事専業（主婦・主夫）」（12.1%）と続いている。



職業	回答数(件)	構成比(%)
会社員	242	34.9
無職	137	19.8
家事専業(主婦・主夫)	84	12.1
公務員・団体職員	70	10.1
農林業	38	5.5
自営業	28	4.0
学生	6	0.9
その他	76	11.0
無回答・無効回答	12	1.7
合計	693	100.0

1-4 世帯構成（単一回答）

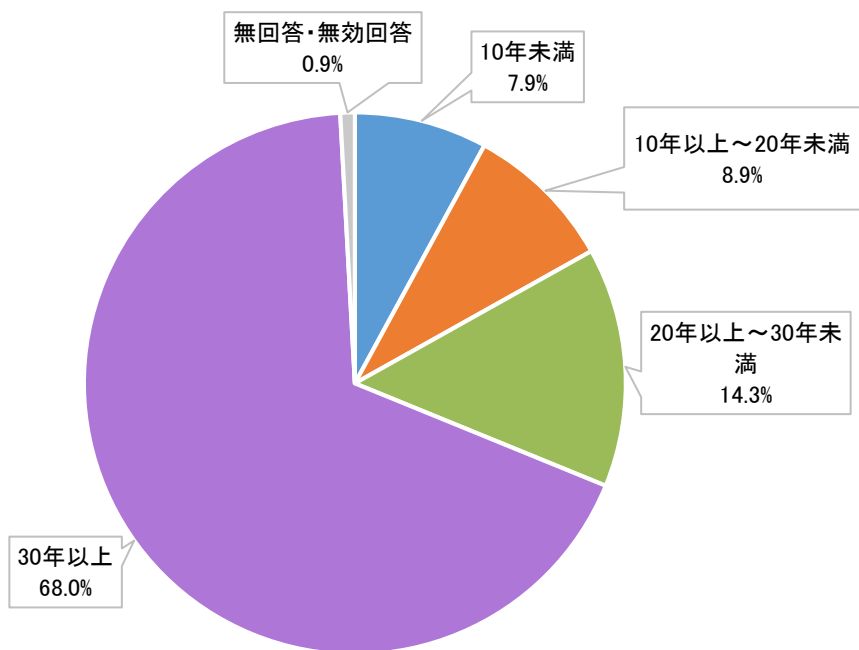
世帯構成は、「二世帯同居」（36.5%）が最も多く、次いで、「夫婦」（33.2%）、「単身」（13.9%）と続いている。



世帯構成	回答数（件）	構成比（%）
単身	96	13.9
夫婦	230	33.2
二世帯同居	253	36.5
三世代同居	79	11.4
その他	21	3.0
無回答・無効回答	14	2.0
合計	693	100.0

1-5 居住年数（単一回答）

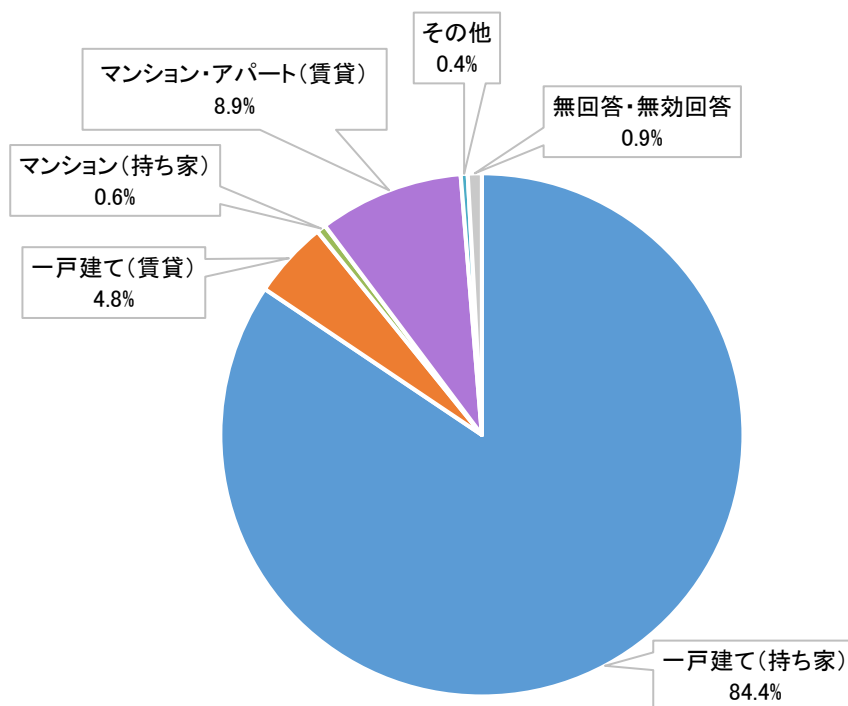
居住年数は、「30年以上」（68.0%）が最も多く、次いで、「20年以上～30年未満」（14.3%）、「10年以上～20年未満」（8.9%）と続いている。



居住年数	回答数（件）	構成比（%）
10年未満	55	7.9
10年以上～20年未満	62	8.9
20年以上～30年未満	99	14.3
30年以上	471	68.0
無回答・無効回答	6	0.9
合計	693	100.0

1-6 住宅の種類（単一回答）

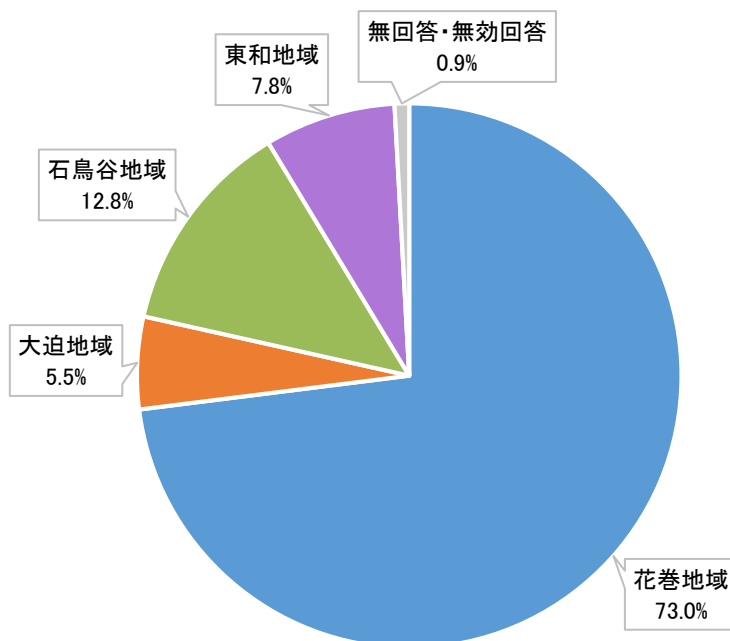
住宅の種類は、「一戸建て（持ち家）」（84.4%）が最も多く、次いで、「マンション・アパート（賃貸）」（8.9%）と続いている。



住宅の種類	回答数（件）	構成比（%）
一戸建て（持ち家）	585	84.4
一戸建て（賃貸）	33	4.8
マンション（持ち家）	4	0.6
マンション・アパート（賃貸）	62	8.9
その他	3	0.4
無回答・無効回答	6	0.9
合計	693	100.0

1-7 居住地域（単一回答）

居住地域は、「花巻地域」（73.0%）が最も多く、次いで、「石鳥谷地域」（12.8%）と続いている。



居住地域	回答数（件）	構成比（%）
花巻地域	506	73.0
大迫地域	38	5.5
石鳥谷地域	89	12.8
東和地域	54	7.8
無回答・無効回答	6	0.9
合計	693	100.0

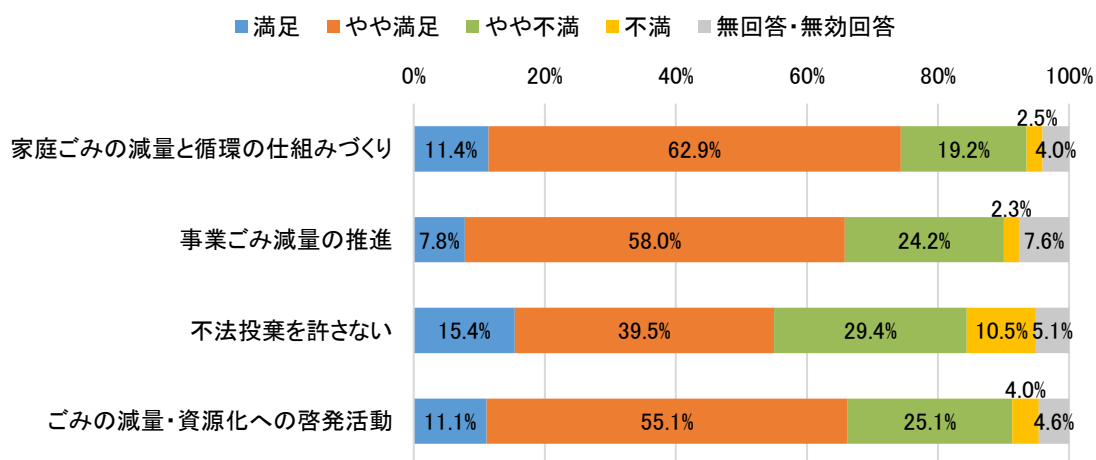
2.地球の環境について

2-1 花巻市が取り組んでいる項目についての満足度と重要度（単一回答）

【ごみ減量・資源化】「もったいない」で暮らしを見直す

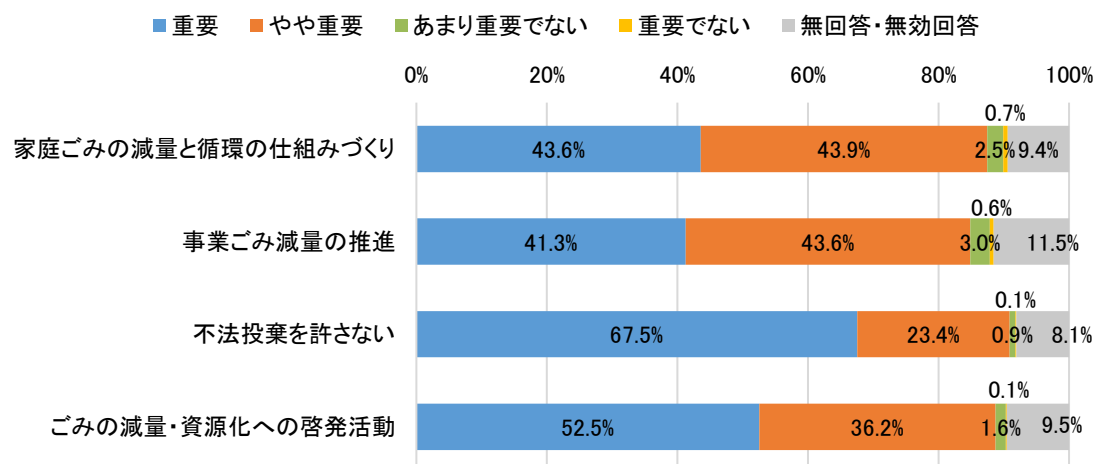
【満足度】

ごみ減量・資源化については、「家庭ごみの減量と循環の仕組みづくり」の満足度が最も高くなっており、「満足」、「やや満足」を合わせると、74.3%となっている。
一方で、最も満足度が低いのは「不法投棄を許さない」の54.9%である。



【重要度】

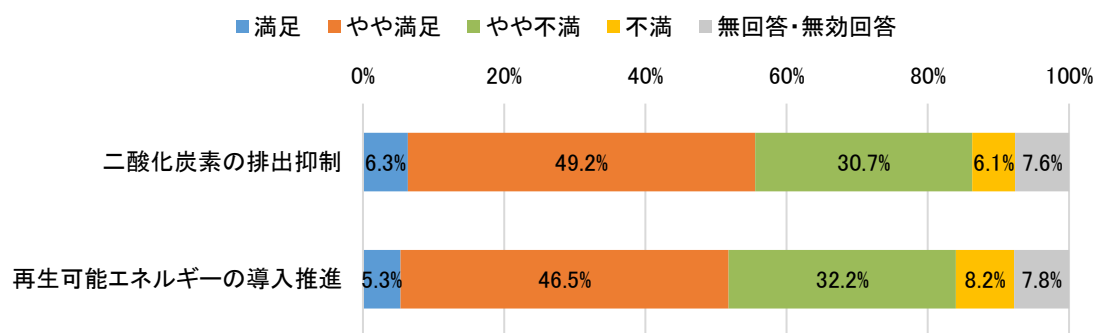
ごみ減量・資源化については、「不法投棄を許さない」の重要度が最も高くなっており、「重要」、「やや重要」を合わせると、90.9%となっている。
一方で、最も重要度が低いのは「事業ごみ減量の推進」の84.9%である。



【温暖化対策】省エネルギー型の暮らしに転換する

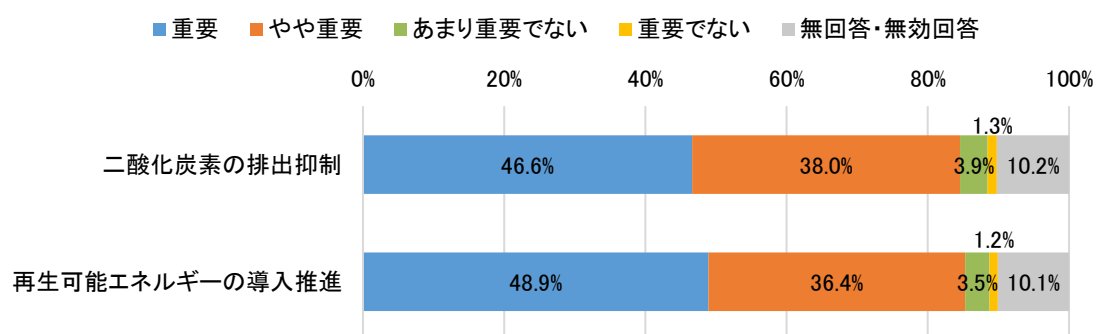
【満足度】

温暖化対策については、「満足」、「やや満足」を合わせると、「二酸化炭素の排出抑制」は55.5%、「再生可能エネルギーの導入推進」は51.8%となっている。



【重要度】

温暖化対策については、「重要」、「やや重要」を合わせると、「二酸化炭素の排出抑制」は84.6%、「再生可能エネルギーの導入推進」は85.3%となっている。

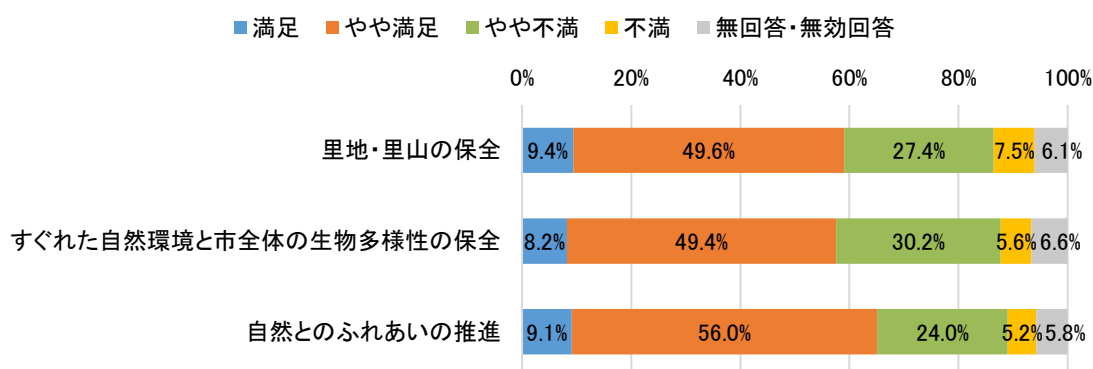


【自然環境】 自然を守り、自然と共に暮らす

【満足度】

自然環境については、「自然とのふれあいの推進」の満足度が最も高くなっており、「満足」、「やや満足」を合わせると、65.1%となっている。

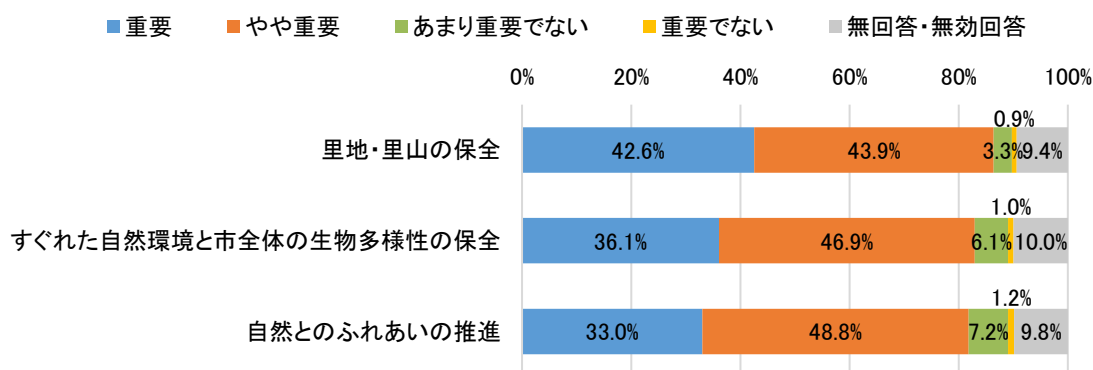
一方で、最も満足度が低いのは「すぐれた自然環境と市全体の生物多様性の保全」の57.6%である。



【重要度】

自然環境については、「里地・里山の保全」の重要度が最も高くなっており、「重要」、「やや重要」を合わせると、86.5%となっている。

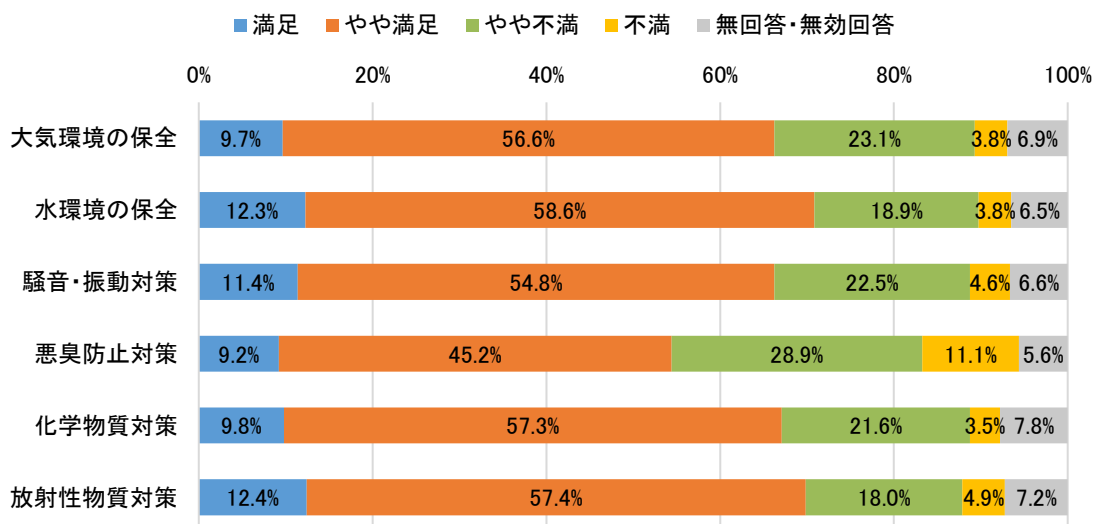
一方で、最も重要度が低いのは「自然とのふれあいの推進」の81.8%である。



【生活環境】きれいな環境で安心な暮らしを守る

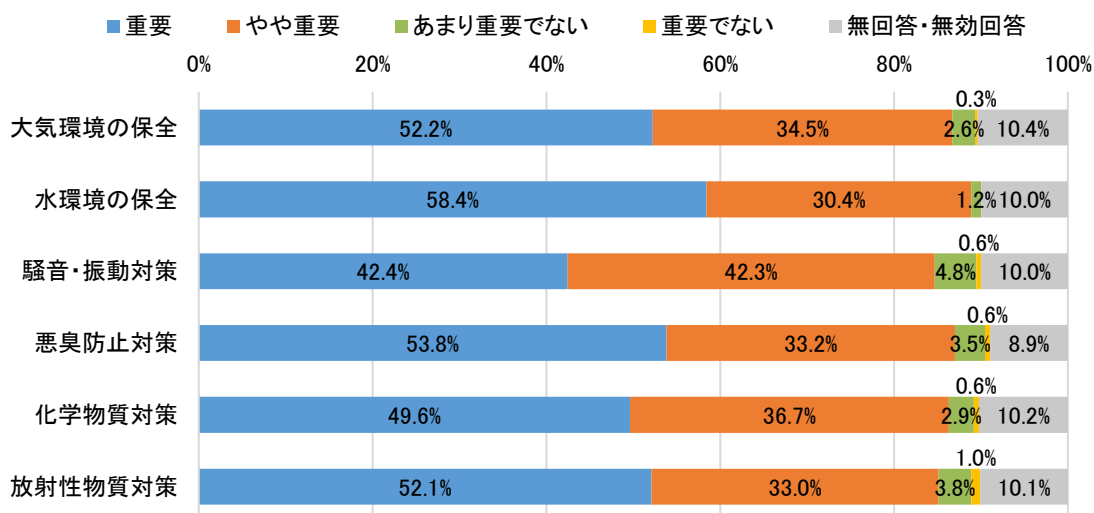
【満足度】

生活環境については、「水環境の保全」の満足度が最も高くなっており、「満足」、「やや満足」を合わせると、70.9%となっている。
一方で、最も満足度が低いのは「悪臭防止対策」の54.4%である。



【重要度】

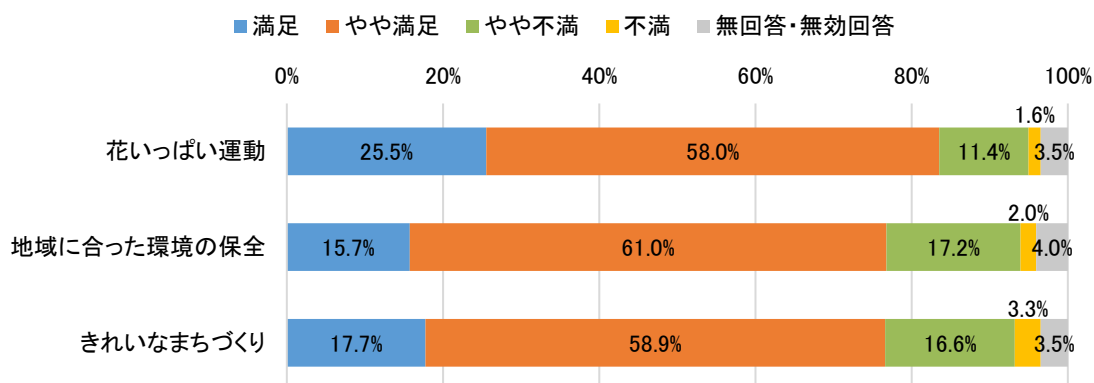
生活環境については、「水環境の保全」の重要度が最も高くなっており、「重要」、「やや重要」を合わせると、88.8%となっている。
一方で、最も重要度が低いのは「騒音・振動対策」の84.7%である。



【環境美化】暮らしに安らぎを与える

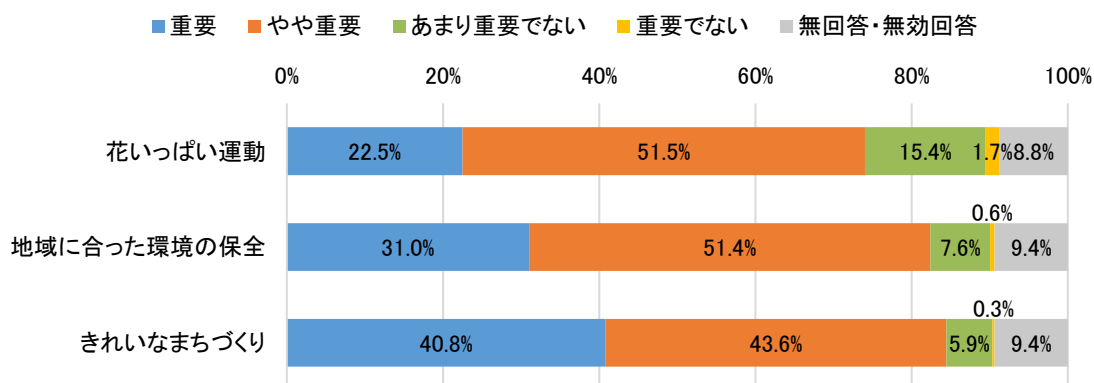
【満足度】

環境美化については、「花いっぱい運動」の満足度が最も高くなっており、「満足」、「やや満足」を合わせると、83.5%となっている。
一方で、最も満足度が低いのは「きれいなまちづくり」の76.6%である。



【重要度】

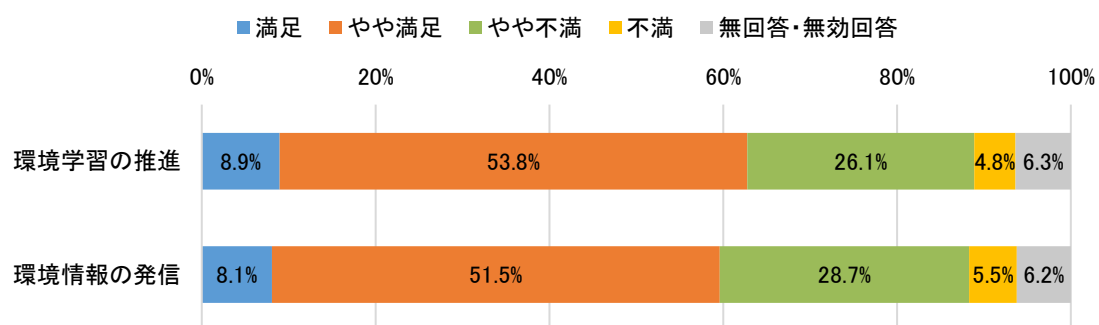
環境美化については、「きれいなまちづくり」の重要度が最も高くなっており、「重要」、「やや重要」を合わせると、84.4%となっている。
一方で、最も重要度が低いのは「花いっぱい運動」の74.0%である。



【環境学習・情報発信】環境についてみんなで考える

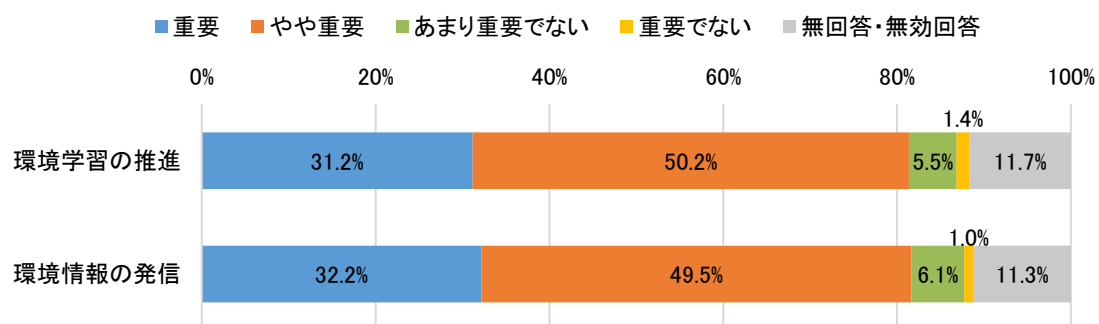
【満足度】

環境学習・情報発信については、「満足」、「やや満足」を合わせると、「環境学習の推進」は62.7%、「環境情報の発信」は59.6%となっている。



【重要度】

環境学習・情報発信については、「重要」、「やや重要」を合わせると、「環境学習の推進」は81.4%、「環境情報の発信」は81.7%となっている。



アンケート調査報告
Ⅱ.アンケート結果
地球の環境について

【満足度】 回答数(件)	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答・無効回答	合計
【ごみ減量・資源化】「もったいない」で暮らしを見直す						
家庭ごみの減量と循環の仕組みづくり	79	436	133	17	28	693
事業ごみ減量の推進	54	402	168	16	53	693
不法投棄を許さない	107	274	204	73	35	693
ごみの減量・資源化への啓発活動	77	382	174	28	32	693
【温暖化対策】省エネルギー型の暮らしに転換する						
二酸化炭素の排出抑制	44	341	213	42	53	693
再生可能エネルギーの導入推進	37	322	223	57	54	693
【自然環境】自然を守り、自然と共に暮らす						
里地・里山の保全	65	344	190	52	42	693
すぐれた自然環境と市全体の生物多様性の保全	57	342	209	39	46	693
自然とのふれあいの推進	63	388	166	36	40	693
【生活環境】きれいな環境で安心な暮らしを守る						
大気環境の保全	67	392	160	26	48	693
水環境の保全	85	406	131	26	45	693
騒音・振動対策	79	380	156	32	46	693
悪臭防止対策	64	313	200	77	39	693
化学物質対策	68	397	150	24	54	693
放射性物質対策	86	398	125	34	50	693
【環境美化】暮らしに安らぎを与える						
花いっぱい運動	177	402	79	11	24	693
地域に合った環境の保全	109	423	119	14	28	693
きれいなまちづくり	123	408	115	23	24	693
【環境学習・情報発信】環境についてみんなで考える						
環境学習の推進	62	373	181	33	44	693
環境情報の発信	56	357	199	38	43	693
構成比(%)						
【ごみ減量・資源化】「もったいない」で暮らしを見直す						
家庭ごみの減量と循環の仕組みづくり	11.4	62.9	19.2	2.5	4.0	100.0
事業ごみ減量の推進	7.8	58.0	24.2	2.3	7.6	100.0
不法投棄を許さない	15.4	39.5	29.4	10.5	5.1	100.0
ごみの減量・資源化への啓発活動	11.1	55.1	25.1	4.0	4.6	100.0
【温暖化対策】省エネルギー型の暮らしに転換する						
二酸化炭素の排出抑制	6.3	49.2	30.7	6.1	7.6	100.0
再生可能エネルギーの導入推進	5.3	46.5	32.2	8.2	7.8	100.0
【自然環境】自然を守り、自然と共に暮らす						
里地・里山の保全	9.4	49.6	27.4	7.5	6.1	100.0
すぐれた自然環境と市全体の生物多様性の保全	8.2	49.4	30.2	5.6	6.6	100.0
自然とのふれあいの推進	9.1	56.0	24.0	5.2	5.8	100.0
【生活環境】きれいな環境で安心な暮らしを守る						
大気環境の保全	9.7	56.6	23.1	3.8	6.9	100.0
水環境の保全	12.3	58.6	18.9	3.8	6.5	100.0
騒音・振動対策	11.4	54.8	22.5	4.6	6.6	100.0
悪臭防止対策	9.2	45.2	28.9	11.1	5.6	100.0
化学物質対策	9.8	57.3	21.6	3.5	7.8	100.0
放射性物質対策	12.4	57.4	18.0	4.9	7.2	100.0
【環境美化】暮らしに安らぎを与える						
花いっぱい運動	25.5	58.0	11.4	1.6	3.5	100.0
地域に合った環境の保全	15.7	61.0	17.2	2.0	4.0	100.0
きれいなまちづくり	17.7	58.9	16.6	3.3	3.5	100.0
【環境学習・情報発信】環境についてみんなで考える						
環境学習の推進	8.9	53.8	26.1	4.8	6.3	100.0
環境情報の発信	8.1	51.5	28.7	5.5	6.2	100.0

アンケート調査報告
Ⅱ.アンケート結果
地球の環境について

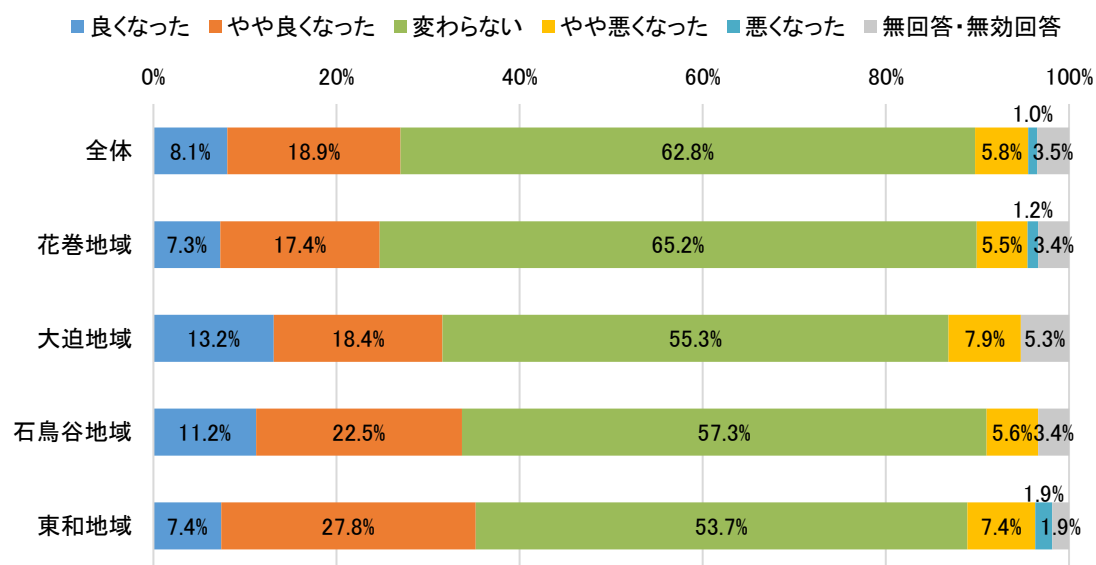
【重要度】 回答数(件)	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	無回答・無効回答	合計
【ごみ減量・資源化】「もったいない」で暮らしを見直す						
家庭ごみの減量と循環の仕組みづくり	302	304	17	5	65	693
事業ごみ減量の推進	286	302	21	4	80	693
不法投棄を許さない	468	162	6	1	56	693
ごみの減量・資源化への啓発活動	364	251	11	1	66	693
【温暖化対策】省エネルギー型の暮らしに転換する						
二酸化炭素の排出抑制	323	263	27	9	71	693
再生可能エネルギーの導入推進	339	252	24	8	70	693
【自然環境】自然を守り、自然と共に暮らす						
里地・里山の保全	295	304	23	6	65	693
すぐれた自然環境と市全体の生物多様性の保全	250	325	42	7	69	693
自然とのふれあいの推進	229	338	50	8	68	693
【生活環境】きれいな環境で安心な暮らしを守る						
大気環境の保全	362	239	18	2	72	693
水環境の保全	405	211	8	0	69	693
騒音・振動対策	294	293	33	4	69	693
悪臭防止対策	373	230	24	4	62	693
化学物質対策	344	254	20	4	71	693
放射性物質対策	361	229	26	7	70	693
【環境美化】暮らしに安らぎを与える						
花いっぱい運動	156	357	107	12	61	693
地域に合った環境の保全	215	356	53	4	65	693
きれいなまちづくり	283	302	41	2	65	693
【環境学習・情報発信】環境についてみんなで考える						
環境学習の推進	216	348	38	10	81	693
環境情報の発信	223	343	42	7	78	693
構成比(%)						
【ごみ減量・資源化】「もったいない」で暮らしを見直す						
家庭ごみの減量と循環の仕組みづくり	43.6	43.9	2.5	0.7	9.4	100.0
事業ごみ減量の推進	41.3	43.6	3.0	0.6	11.5	100.0
不法投棄を許さない	67.5	23.4	0.9	0.1	8.1	100.0
ごみの減量・資源化への啓発活動	52.5	36.2	1.6	0.1	9.5	100.0
【温暖化対策】省エネルギー型の暮らしに転換する						
二酸化炭素の排出抑制	46.6	38.0	3.9	1.3	10.2	100.0
再生可能エネルギーの導入推進	48.9	36.4	3.5	1.2	10.1	100.0
【自然環境】自然を守り、自然と共に暮らす						
里地・里山の保全	42.6	43.9	3.3	0.9	9.4	100.0
すぐれた自然環境と市全体の生物多様性の保全	36.1	46.9	6.1	1.0	10.0	100.0
自然とのふれあいの推進	33.0	48.8	7.2	1.2	9.8	100.0
【生活環境】きれいな環境で安心な暮らしを守る						
大気環境の保全	52.2	34.5	2.6	0.3	10.4	100.0
水環境の保全	58.4	30.4	1.2	0.0	10.0	100.0
騒音・振動対策	42.4	42.3	4.8	0.6	10.0	100.0
悪臭防止対策	53.8	33.2	3.5	0.6	8.9	100.0
化学物質対策	49.6	36.7	2.9	0.6	10.2	100.0
放射性物質対策	52.1	33.0	3.8	1.0	10.1	100.0
【環境美化】暮らしに安らぎを与える						
花いっぱい運動	22.5	51.5	15.4	1.7	8.8	100.0
地域に合った環境の保全	31.0	51.4	7.6	0.6	9.4	100.0
きれいなまちづくり	40.8	43.6	5.9	0.3	9.4	100.0
【環境学習・情報発信】環境についてみんなで考える						
環境学習の推進	31.2	50.2	5.5	1.4	11.7	100.0
環境情報の発信	32.2	49.5	6.1	1.0	11.3	100.0

2-2 身の回りの環境に対する実感（単一回答）

【大気汚染】

大気汚染については、全体として「変わらない」（62.8%）が最も多い。また、「良くなった」、「やや良くなった」を合わせると、27.0%となっており、「やや悪くなった」、「悪くなった」を合わせた6.8%を約20ポイント上回っている。

回答者の居住地域別に区分すると、「良くなった」、「やや良くなった」と回答した人の割合は、東和地域（35.2%）が最も多くなっている。

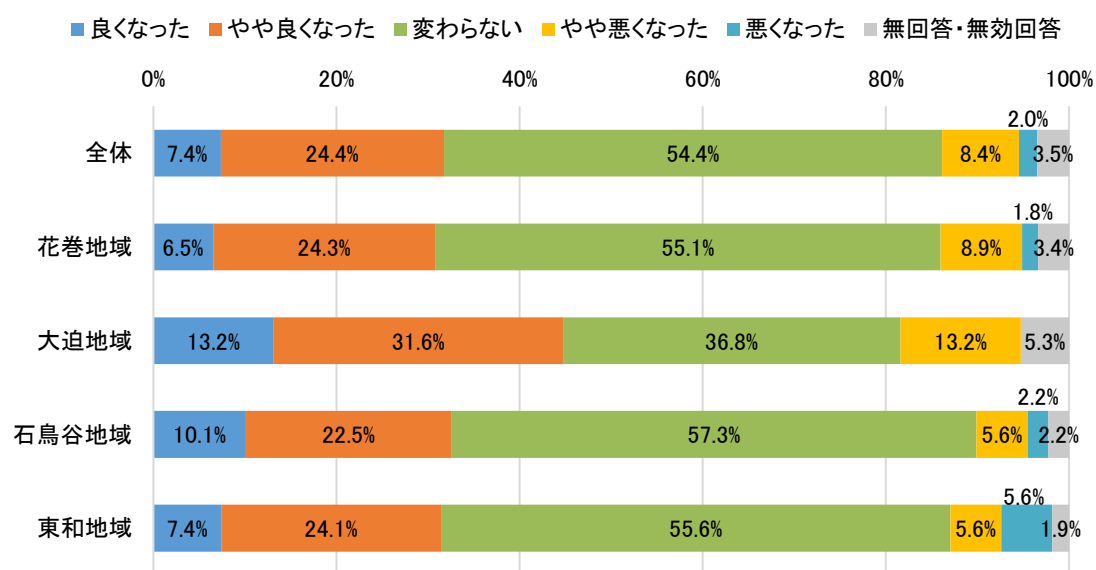


大気汚染	回答数（件）						合計
	良くなった	やや良くなった	変わらない	やや悪くなった	悪くなった	無回答・無効回答	
全体	56	131	435	40	7	24	693
花巻地域	37	88	330	28	6	17	506
大迫地域	5	7	21	3	0	2	38
石鳥谷地域	10	20	51	5	0	3	89
東和地域	4	15	29	4	1	1	54
大気汚染	構成比（%）						合計
	良くなった	やや良くなった	変わらない	やや悪くなった	悪くなった	無回答・無効回答	
全体	8.1	18.9	62.8	5.8	1.0	3.5	100.0
花巻地域	7.3	17.4	65.2	5.5	1.2	3.4	100.0
大迫地域	13.2	18.4	55.3	7.9	0.0	5.3	100.0
石鳥谷地域	11.2	22.5	57.3	5.6	0.0	3.4	100.0
東和地域	7.4	27.8	53.7	7.4	1.9	1.9	100.0

【川の水質汚濁】

川の水質汚濁については、全体として「変わらない」(54.4%)が最も多い。また、「良くなった」、「やや良くなった」を合わせると、31.8%となっており、「やや悪くなった」、「悪くなった」を合わせた10.4%を約21ポイント上回っている。

回答者の居住地域別に区分すると、「良くなった」、「やや良くなった」と回答した人の割合は、大迫地域(44.8%)が最も多くなっている。

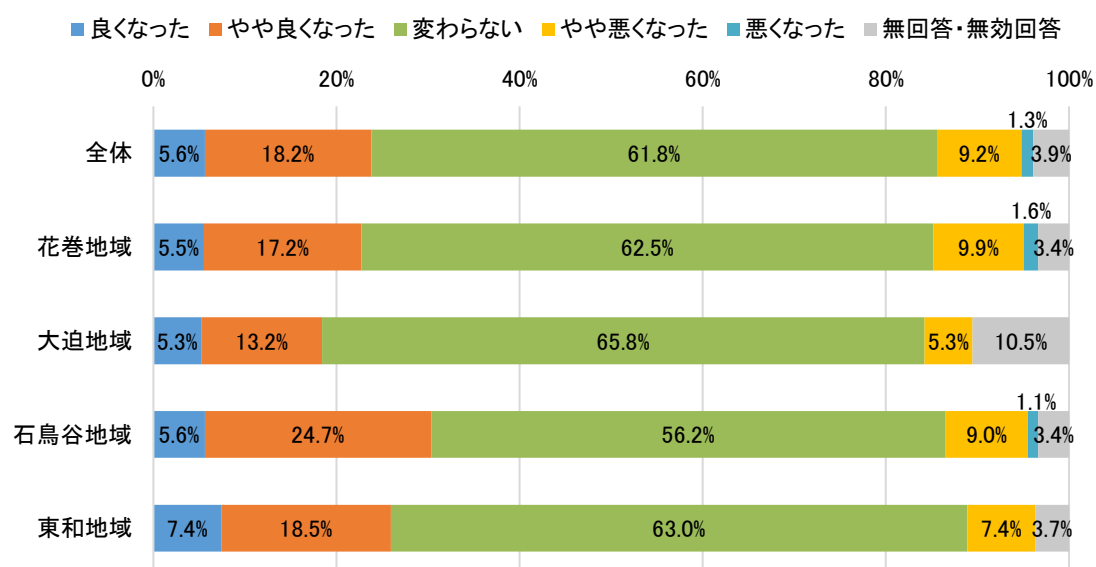


川の水質汚濁	回答数 (件)						合計
	良くなった	やや良くなった	変わらない	やや悪くなった	悪くなった	無回答・無効回答	
全体	51	169	377	58	14	24	693
花巻地域	33	123	279	45	9	17	506
大迫地域	5	12	14	5	0	2	38
石鳥谷地域	9	20	51	5	2	2	89
東和地域	4	13	30	3	3	1	54
川の水質汚濁	構成比 (%)						合計
	良くなった	やや良くなった	変わらない	やや悪くなった	悪くなった	無回答・無効回答	
全体	7.4	24.4	54.4	8.4	2.0	3.5	100.0
花巻地域	6.5	24.3	55.1	8.9	1.8	3.4	100.0
大迫地域	13.2	31.6	36.8	13.2	0.0	5.3	100.0
石鳥谷地域	10.1	22.5	57.3	5.6	2.2	2.2	100.0
東和地域	7.4	24.1	55.6	5.6	5.6	1.9	100.0

【工場や自動車などによる騒音・振動】

工場や自動車などによる騒音・振動については、全体として「変わらない」(61.8%)が最も多い。また、「良くなった」、「やや良くなった」を合わせると、23.8%となっており、「やや悪くなった」、「悪くなった」を合わせた10.5%を約13ポイント上回っている。

回答者の居住地域別に区分すると、「良くなった」、「やや良くなった」と回答した人の割合は、石鳥谷地域(30.3%)が最も多くなっている。

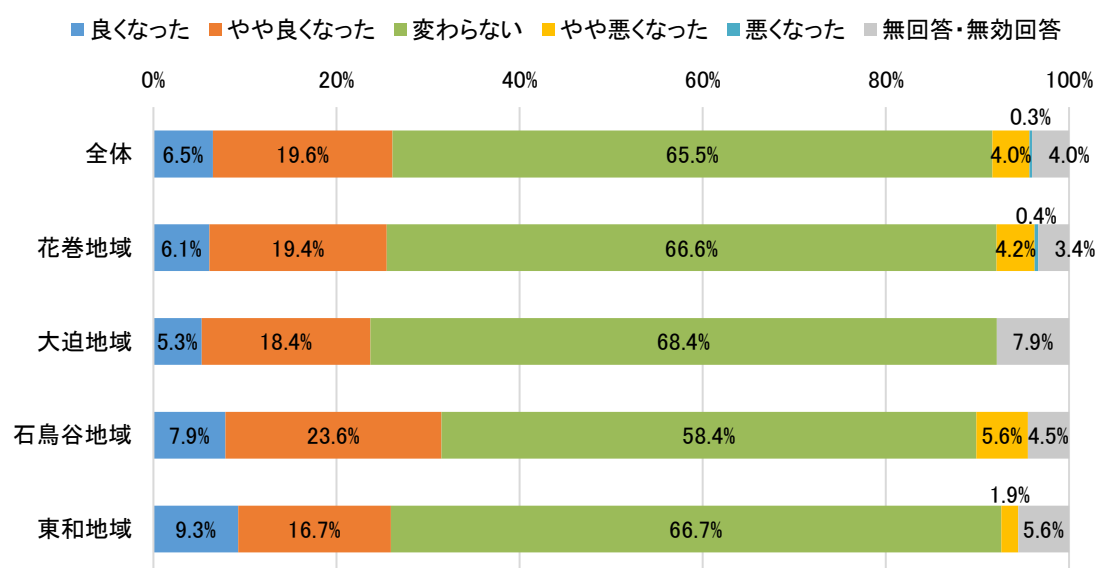


騒音・振動	回答数 (件)						
	良くなった	やや良くなった	変わらない	やや悪くなった	悪くなった	無回答・無効回答	合計
全体	39	126	428	64	9	27	693
花巻地域	28	87	316	50	8	17	506
大迫地域	2	5	25	2	0	4	38
石鳥谷地域	5	22	50	8	1	3	89
東和地域	4	10	34	4	0	2	54
騒音・振動	構成比 (%)						
	良くなった	やや良くなった	変わらない	やや悪くなった	悪くなった	無回答・無効回答	合計
全体	5.6	18.2	61.8	9.2	1.3	3.9	100.0
花巻地域	5.5	17.2	62.5	9.9	1.6	3.4	100.0
大迫地域	5.3	13.2	65.8	5.3	0.0	10.5	100.0
石鳥谷地域	5.6	24.7	56.2	9.0	1.1	3.4	100.0
東和地域	7.4	18.5	63.0	7.4	0.0	3.7	100.0

【住宅や飲食店などからの生活騒音】

住宅や飲食店などからの生活騒音については、全体として「変わらない」(65.5%)が最も多い。また、「良くなった」、「やや良くなった」を合わせると、26.1%となっており、「やや悪くなった」、「悪くなった」を合わせた4.3%を約22ポイント上回っている。

回答者の居住地域別に区分すると、「良くなった」、「やや良くなった」と回答した人の割合は、石鳥谷地域(31.5%)が最も多くなっている。

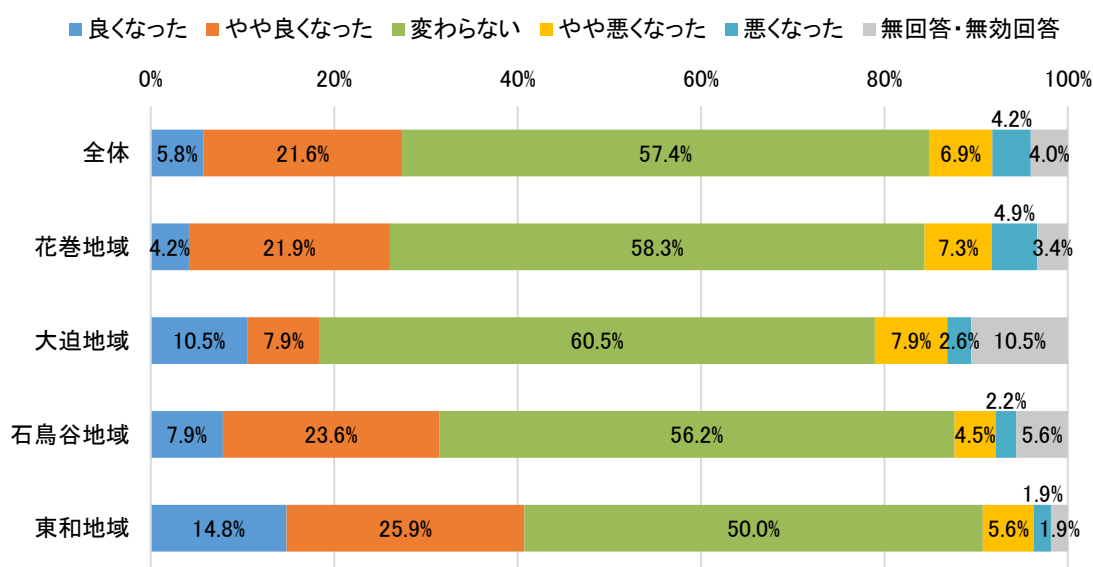


生活騒音	回答数 (件)						
	良くなった	やや良くなった	変わらない	やや悪くなった	悪くなった	無回答・無効回答	合計
全体	45	136	454	28	2	28	693
花巻地域	31	98	337	21	2	17	506
大迫地域	2	7	26	0	0	3	38
石鳥谷地域	7	21	52	5	0	4	89
東和地域	5	9	36	1	0	3	54
生活騒音	構成比 (%)						
	良くなった	やや良くなった	変わらない	やや悪くなった	悪くなった	無回答・無効回答	合計
全体	6.5	19.6	65.5	4.0	0.3	4.0	100.0
花巻地域	6.1	19.4	66.6	4.2	0.4	3.4	100.0
大迫地域	5.3	18.4	68.4	0.0	0.0	7.9	100.0
石鳥谷地域	7.9	23.6	58.4	5.6	0.0	4.5	100.0
東和地域	9.3	16.7	66.7	1.9	0.0	5.6	100.0

【工場や畜舎などからの悪臭】

工場や畜舎などからの悪臭については、全体として「変わらない」(57.4%)が最も多い。また、「良くなった」、「やや良くなった」を合わせると、27.4%となっており、「やや悪くなった」、「悪くなった」を合わせた11.1%を約16ポイント上回っている。

回答者の居住地域別に区分すると、「良くなった」、「やや良くなった」と回答した人の割合は、東和地域(40.7%)が最も多くなっている。

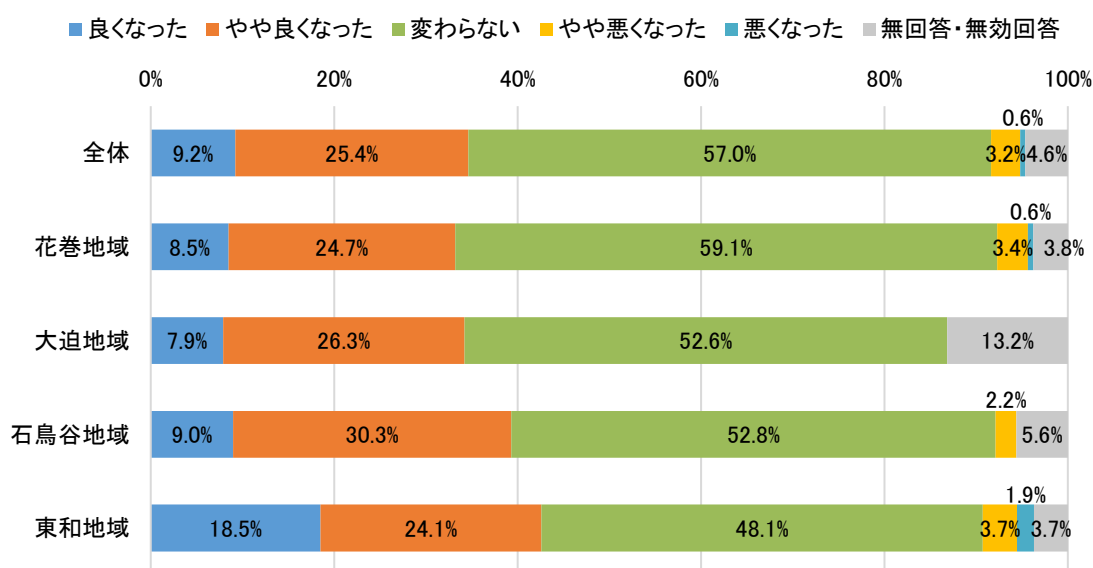


悪臭	回答数 (件)						
	良くなった	やや良くなった	変わらない	やや悪くなった	悪くなった	無回答・無効回答	合計
全体	40	150	398	48	29	28	693
花巻地域	21	111	295	37	25	17	506
大迫地域	4	3	23	3	1	4	38
石鳥谷地域	7	21	50	4	2	5	89
東和地域	8	14	27	3	1	1	54
悪臭	構成比 (%)						
	良くなった	やや良くなった	変わらない	やや悪くなった	悪くなった	無回答・無効回答	合計
全体	5.8	21.6	57.4	6.9	4.2	4.0	100.0
花巻地域	4.2	21.9	58.3	7.3	4.9	3.4	100.0
大迫地域	10.5	7.9	60.5	7.9	2.6	10.5	100.0
石鳥谷地域	7.9	23.6	56.2	4.5	2.2	5.6	100.0
東和地域	14.8	25.9	50.0	5.6	1.9	1.9	100.0

【有害物質（ダイオキシン・アスベストなど）による環境汚染】

有害物質による環境汚染については、全体として「変わらない」（57.0%）が最も多い。また、「良くなった」、「やや良くなった」を合わせると、34.6%となっており、「やや悪くなった」、「悪くなった」を合わせた3.8%を約31ポイント上回っている。

回答者の居住地域別に区分すると、「良くなった」、「やや良くなった」と回答した人の割合は、東和地域（42.6%）が最も多くなっている。

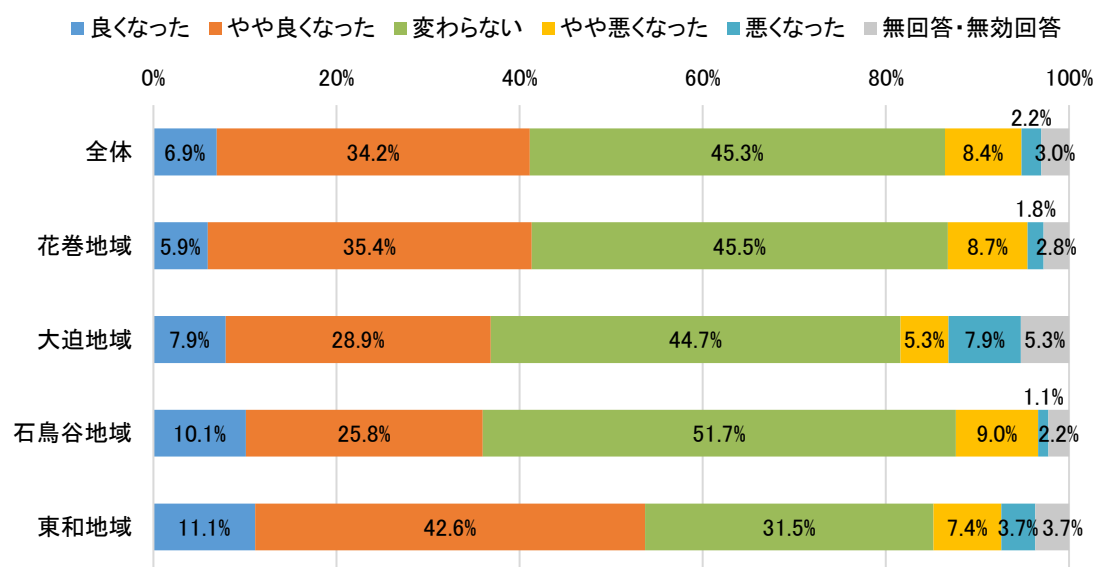


環境汚染	回答数（件）						合計
	良くなった	やや良くなった	変わらない	やや悪くなった	悪くなった	無回答・無効回答	
全体	64	176	395	22	4	32	693
花巻地域	43	125	299	17	3	19	506
大迫地域	3	10	20	0	0	5	38
石鳥谷地域	8	27	47	2	0	5	89
東和地域	10	13	26	2	1	2	54
環境汚染	構成比 (%)						合計
	良くなった	やや良くなった	変わらない	やや悪くなった	悪くなった	無回答・無効回答	
全体	9.2	25.4	57.0	3.2	0.6	4.6	100.0
花巻地域	8.5	24.7	59.1	3.4	0.6	3.8	100.0
大迫地域	7.9	26.3	52.6	0.0	0.0	13.2	100.0
石鳥谷地域	9.0	30.3	52.8	2.2	0.0	5.6	100.0
東和地域	18.5	24.1	48.1	3.7	1.9	3.7	100.0

【ごみの増大やリサイクルに関する問題】

ごみの増大やリサイクルに関する問題については、全体として「変わらない」(45.3%)が最も多い。また、「良くなった」、「やや良くなった」を合わせると、41.1%となっており、「やや悪くなった」、「悪くなった」を合わせた10.6%を約31ポイント上回っている。

回答者の居住地域別に区分すると、「良くなった」、「やや良くなった」と回答した人の割合は、東和地域(53.7%)が最も多くなっている。

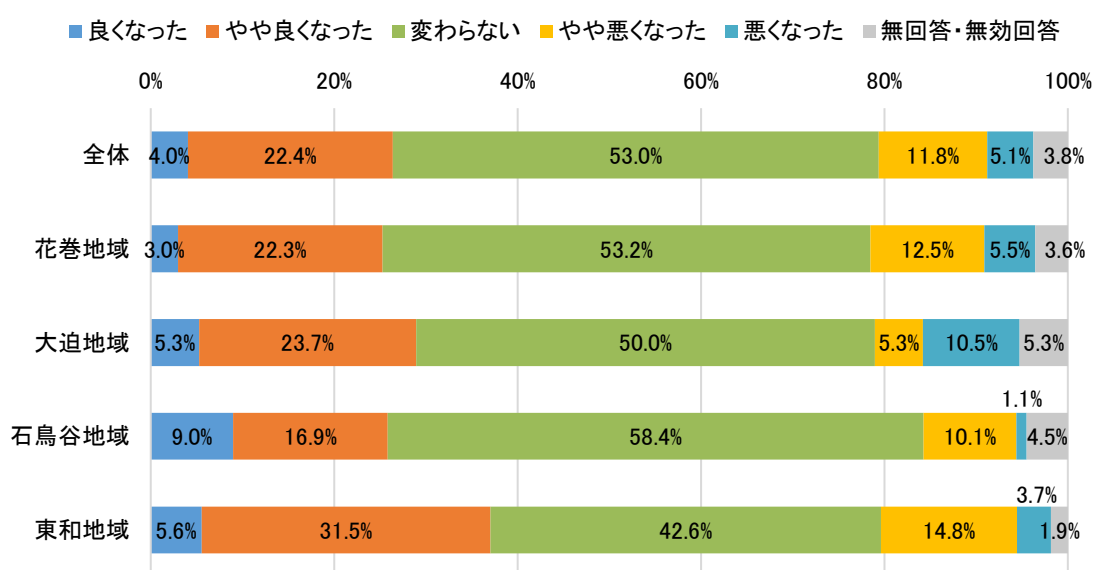


ごみの増大やリサイクル	回答数(件)						合計
	良くなった	やや良くなった	変わらない	やや悪くなった	悪くなった	無回答・無効回答	
全体	48	237	314	58	15	21	693
花巻地域	30	179	230	44	9	14	506
大迫地域	3	11	17	2	3	2	38
石鳥谷地域	9	23	46	8	1	2	89
東和地域	6	23	17	4	2	2	54
ごみの増大やリサイクル	構成比(%)						合計
	良くなった	やや良くなった	変わらない	やや悪くなった	悪くなった	無回答・無効回答	
全体	6.9	34.2	45.3	8.4	2.2	3.0	100.0
花巻地域	5.9	35.4	45.5	8.7	1.8	2.8	100.0
大迫地域	7.9	28.9	44.7	5.3	7.9	5.3	100.0
石鳥谷地域	10.1	25.8	51.7	9.0	1.1	2.2	100.0
東和地域	11.1	42.6	31.5	7.4	3.7	3.7	100.0

【山や林の中などのごみの不法投棄】

山や林の中などのごみの不法投棄については、全体として「変わらない」(53.0%)が最も多い。また、「良くなった」、「やや良くなった」を合わせると、26.4%となっており、「やや悪くなった」、「悪くなった」を合わせた16.9%を約10ポイント上回っている。

回答者の居住地域別に区分すると、「良くなった」、「やや良くなった」と回答した人の割合は、東和地域(37.1%)が最も多くなっている。

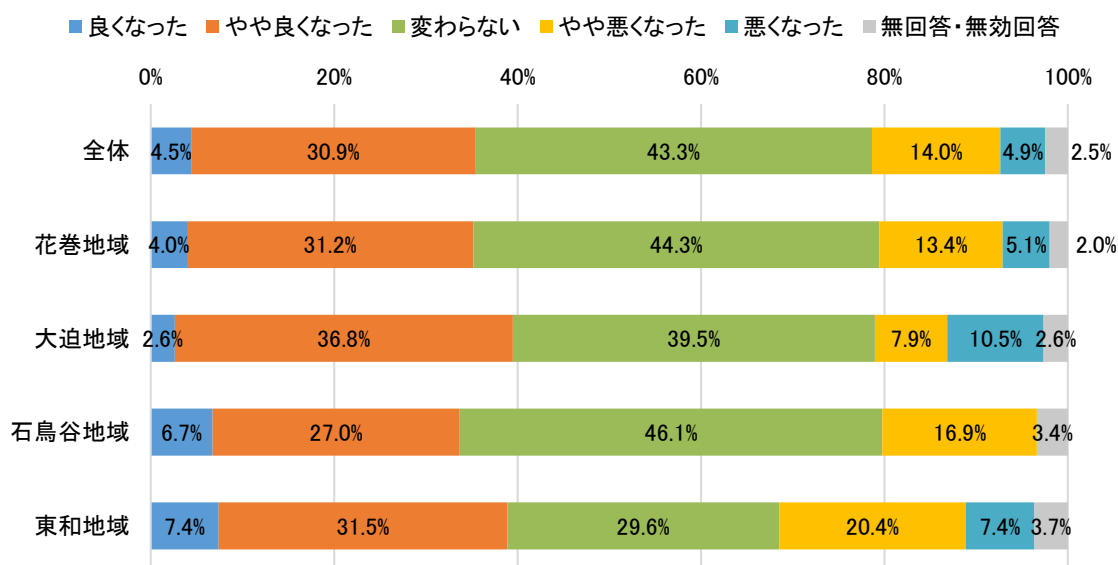


ごみの不法投棄	回答数 (件)						
	良くなった	やや良くなった	変わらない	やや悪くなった	悪くなった	無回答・無効回答	合計
全体	28	155	367	82	35	26	693
花巻地域	15	113	269	63	28	18	506
大迫地域	2	9	19	2	4	2	38
石鳥谷地域	8	15	52	9	1	4	89
東和地域	3	17	23	8	2	1	54
ごみの不法投棄	構成比 (%)						
	良くなった	やや良くなった	変わらない	やや悪くなった	悪くなった	無回答・無効回答	合計
全体	4.0	22.4	53.0	11.8	5.1	3.8	100.0
花巻地域	3.0	22.3	53.2	12.5	5.5	3.6	100.0
大迫地域	5.3	23.7	50.0	5.3	10.5	5.3	100.0
石鳥谷地域	9.0	16.9	58.4	10.1	1.1	4.5	100.0
東和地域	5.6	31.5	42.6	14.8	3.7	1.9	100.0

【道路や公園、河川の堤防などでのごみの散乱】

道路や公園、河川の堤防などでのごみの散乱については、全体として「変わらない」(43.3%)が最も多い。また、「良くなった」、「やや良くなった」を合わせると、35.4%となっており、「やや悪くなった」、「悪くなった」を合わせた18.9%を約17ポイント上回っている。

回答者の居住地域別に区分すると、「良くなった」、「やや良くなった」と回答した人の割合は、大迫地域(39.4%)が最も多くなっている。

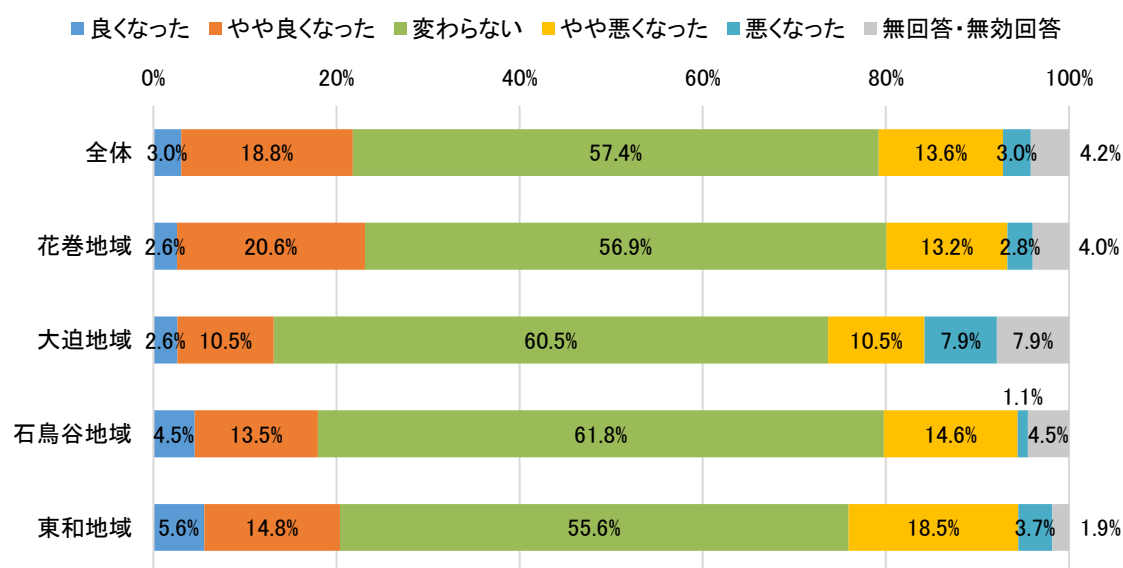


ごみの散乱	回答数(件)						合計
	良くなった	やや良くなった	変わらない	やや悪くなった	悪くなった	無回答・無効回答	
全体	31	214	300	97	34	17	693
花巻地域	20	158	224	68	26	10	506
大迫地域	1	14	15	3	4	1	38
石鳥谷地域	6	24	41	15	0	3	89
東和地域	4	17	16	11	4	2	54
ごみの散乱	構成比(%)						合計
	良くなった	やや良くなった	変わらない	やや悪くなった	悪くなった	無回答・無効回答	
全体	4.5	30.9	43.3	14.0	4.9	2.5	100.0
花巻地域	4.0	31.2	44.3	13.4	5.1	2.0	100.0
大迫地域	2.6	36.8	39.5	7.9	10.5	2.6	100.0
石鳥谷地域	6.7	27.0	46.1	16.9	0.0	3.4	100.0
東和地域	7.4	31.5	29.6	20.4	7.4	3.7	100.0

【開発等による景色や景観の変化】

開発等による景色や景観の変化については、全体として「変わらない」(57.4%)が最も多い。また、「良くなった」、「やや良くなった」を合わせると、21.8%となっており、「やや悪くなった」、「悪くなった」を合わせた16.6%を約5ポイント上回っている。

回答者の居住地域別に区分すると、「良くなった」、「やや良くなった」と回答した人の割合は、花巻地域(23.2%)が最も多くなっている。

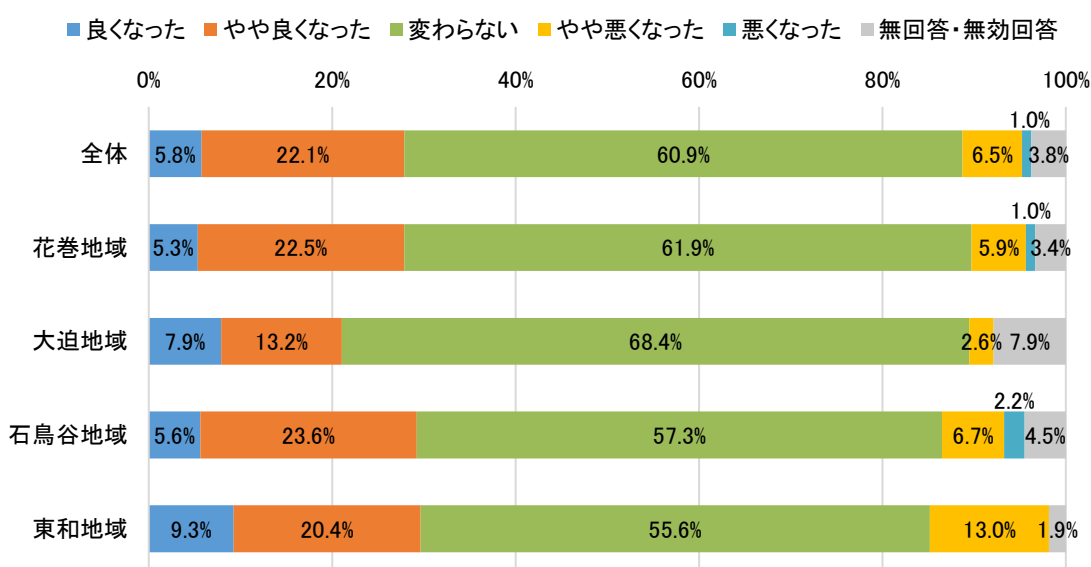


景色や景観の変化	回答数(件)						
	良くなった	やや良くなった	変わらない	やや悪くなった	悪くなった	無回答・無効回答	合計
全体	21	130	398	94	21	29	693
花巻地域	13	104	288	67	14	20	506
大迫地域	1	4	23	4	3	3	38
石鳥谷地域	4	12	55	13	1	4	89
東和地域	3	8	30	10	2	1	54
景色や景観の変化	構成比(%)						
	良くなった	やや良くなった	変わらない	やや悪くなった	悪くなった	無回答・無効回答	合計
全体	3.0	18.8	57.4	13.6	3.0	4.2	100.0
花巻地域	2.6	20.6	56.9	13.2	2.8	4.0	100.0
大迫地域	2.6	10.5	60.5	10.5	7.9	7.9	100.0
石鳥谷地域	4.5	13.5	61.8	14.6	1.1	4.5	100.0
東和地域	5.6	14.8	55.6	18.5	3.7	1.9	100.0

【歴史、文化財などの文化的な雰囲気】

歴史、文化財などの文化的な雰囲気については、全体として「変わらない」(60.9%)が最も多い。また、「良くなった」、「やや良くなった」を合わせると、27.9%となっており、「やや悪くなった」、「悪くなった」を合わせた7.5%を約20ポイント上回っている。

回答者の居住地域別に区分すると、「良くなった」、「やや良くなった」と回答した人の割合は、石鳥谷地域(29.2%)が最も多くなっている。

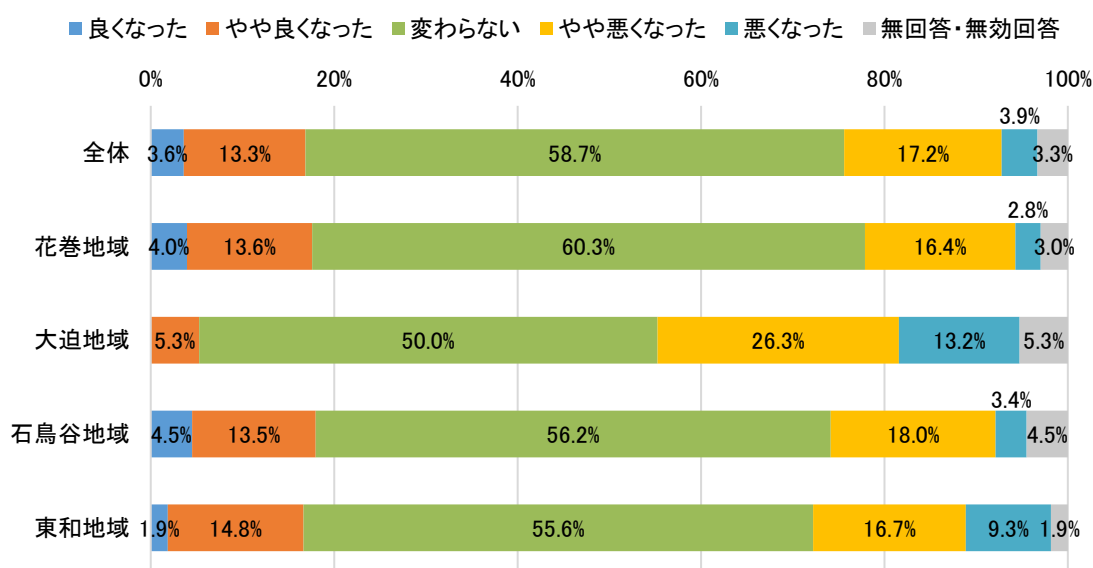


文化的な雰囲気	回答数 (件)						
	良くなった	やや良くなった	変わらない	やや悪くなった	悪くなった	無回答・無効回答	合計
全体	40	153	422	45	7	26	693
花巻地域	27	114	313	30	5	17	506
大迫地域	3	5	26	1	0	3	38
石鳥谷地域	5	21	51	6	2	4	89
東和地域	5	11	30	7	0	1	54
文化的な雰囲気	構成比 (%)						
	良くなった	やや良くなった	変わらない	やや悪くなった	悪くなった	無回答・無効回答	合計
全体	5.8	22.1	60.9	6.5	1.0	3.8	100.0
花巻地域	5.3	22.5	61.9	5.9	1.0	3.4	100.0
大迫地域	7.9	13.2	68.4	2.6	0.0	7.9	100.0
石鳥谷地域	5.6	23.6	57.3	6.7	2.2	4.5	100.0
東和地域	9.3	20.4	55.6	13.0	0.0	1.9	100.0

【里山や田畑、沼地などの身近な自然】

里山や田畑、沼地などの身近な自然については、全体として「変わらない」(58.7%)が最も多い。また、「良くなった」、「やや良くなった」を合わせると、16.9%となっており、「やや悪くなった」、「悪くなった」を合わせた21.1%を約4ポイント下回っている。

回答者の居住地域別に区分すると、「良くなった」、「やや良くなった」と回答した人の割合は、石鳥谷地域(18.0%)が最も多くなっている。

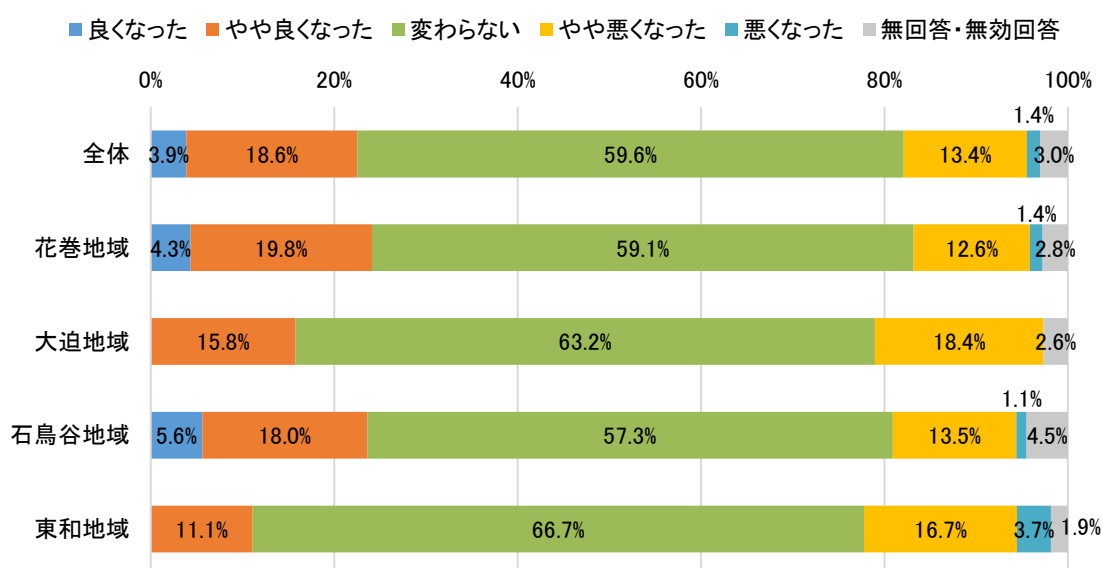


身近な自然	回答数 (件)						合計
	良くなった	やや良くなった	変わらない	やや悪くなった	悪くなった	無回答・無効回答	
全体	25	92	407	119	27	23	693
花巻地域	20	69	305	83	14	15	506
大迫地域	0	2	19	10	5	2	38
石鳥谷地域	4	12	50	16	3	4	89
東和地域	1	8	30	9	5	1	54
身近な自然	構成比 (%)						合計
	良くなった	やや良くなった	変わらない	やや悪くなった	悪くなった	無回答・無効回答	
全体	3.6	13.3	58.7	17.2	3.9	3.3	100.0
花巻地域	4.0	13.6	60.3	16.4	2.8	3.0	100.0
大迫地域	0.0	5.3	50.0	26.3	13.2	5.3	100.0
石鳥谷地域	4.5	13.5	56.2	18.0	3.4	4.5	100.0
東和地域	1.9	14.8	55.6	16.7	9.3	1.9	100.0

【街中の緑】

街中の緑については、全体として「変わらない」(59.6%)が最も多い。また、「良くなった」、「やや良くなった」を合わせると、22.5%となっており、「やや悪くなった」、「悪くなった」を合わせた14.8%を約8ポイント上回っている。

回答者の居住地域別に区分すると、「良くなった」、「やや良くなった」と回答した人の割合は、石鳥谷地域(23.6%)が最も多くなっている。

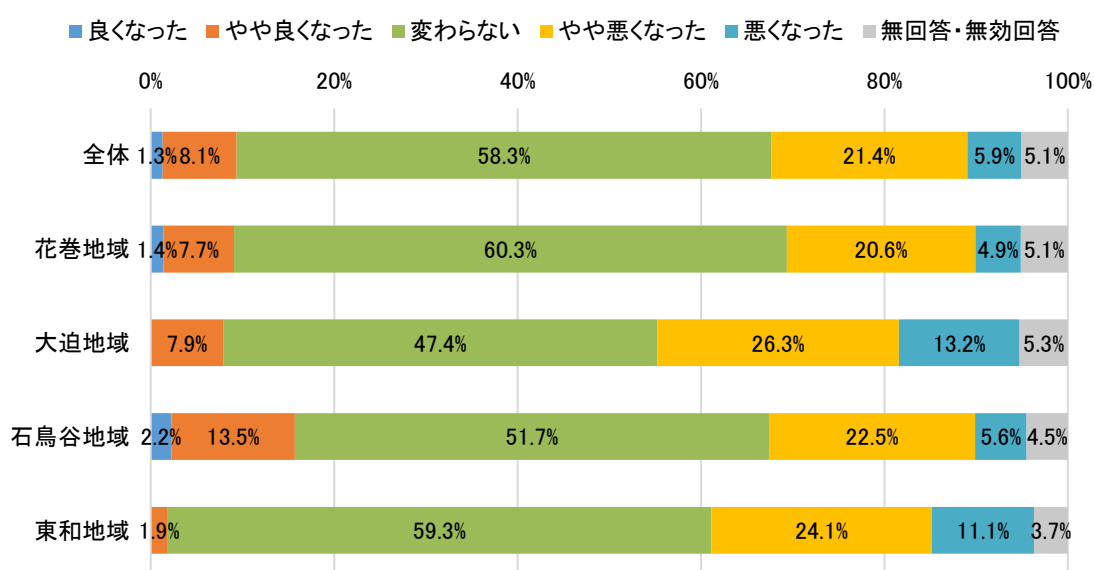


街中の緑	回答数 (件)						
	良くなった	やや良くなった	変わらない	やや悪くなった	悪くなった	無回答・無効回答	合計
全体	27	129	413	93	10	21	693
花巻地域	22	100	299	64	7	14	506
大迫地域	0	6	24	7	0	1	38
石鳥谷地域	5	16	51	12	1	4	89
東和地域	0	6	36	9	2	1	54
街中の緑	構成比 (%)						
	良くなった	やや良くなった	変わらない	やや悪くなった	悪くなった	無回答・無効回答	合計
全体	3.9	18.6	59.6	13.4	1.4	3.0	100.0
花巻地域	4.3	19.8	59.1	12.6	1.4	2.8	100.0
大迫地域	0.0	15.8	63.2	18.4	0.0	2.6	100.0
石鳥谷地域	5.6	18.0	57.3	13.5	1.1	4.5	100.0
東和地域	0.0	11.1	66.7	16.7	3.7	1.9	100.0

【森林などの開発による自然の減少】

森林などの開発による自然の減少については、全体として「変わらない」(58.3%)が最も多い。また、「良くなった」、「やや良くなった」を合わせると、9.4%となっており、「やや悪くなった」、「悪くなった」を合わせた27.3%を18ポイント下回っている。

回答者の居住地域別に区分すると、「良くなった」、「やや良くなった」と回答した人の割合は、石鳥谷地域(15.7%)が最も多くなっている。

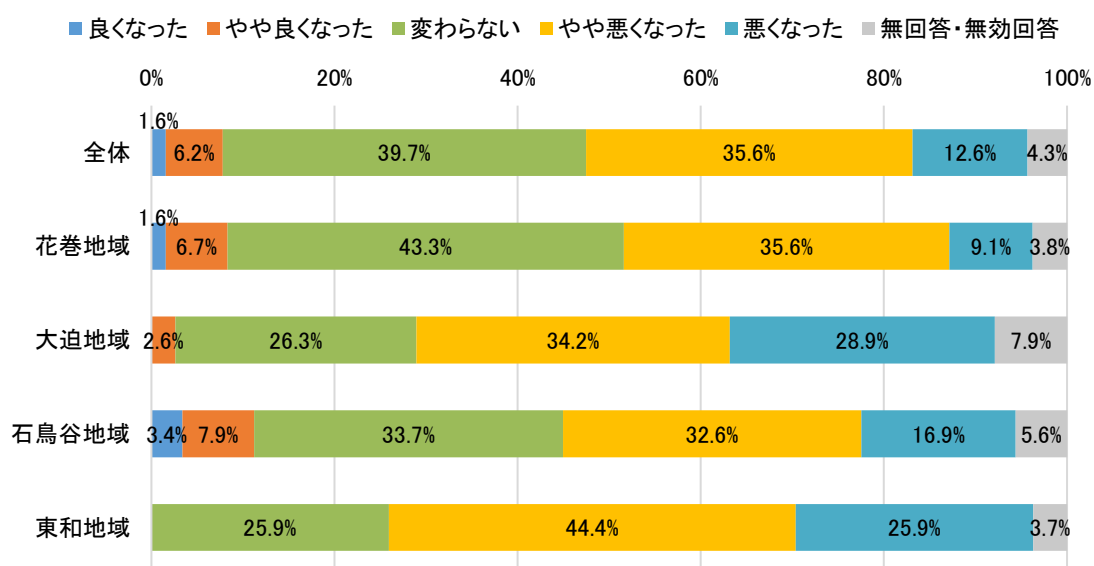


自然の減少	回答数 (件)						合計
	良くなった	やや良くなった	変わらない	やや悪くなった	悪くなった	無回答・無効回答	
全体	9	56	404	148	41	35	693
花巻地域	7	39	305	104	25	26	506
大迫地域	0	3	18	10	5	2	38
石鳥谷地域	2	12	46	20	5	4	89
東和地域	0	1	32	13	6	2	54
自然の減少	構成比 (%)						合計
	良くなった	やや良くなった	変わらない	やや悪くなった	悪くなった	無回答・無効回答	
全体	1.3	8.1	58.3	21.4	5.9	5.1	100.0
花巻地域	1.4	7.7	60.3	20.6	4.9	5.1	100.0
大迫地域	0.0	7.9	47.4	26.3	13.2	5.3	100.0
石鳥谷地域	2.2	13.5	51.7	22.5	5.6	4.5	100.0
東和地域	0.0	1.9	59.3	24.1	11.1	3.7	100.0

【農地や山林の荒廃】

農地や山林の荒廃については、全体として「変わらない」(39.7%)が最も多い。また、「良くなった」、「やや良くなった」を合わせると、7.8%となっており、「やや悪くなった」、「悪くなった」を合わせた48.2%を約40ポイント下回っている。

回答者の居住地域別に区分すると、「良くなった」、「やや良くなった」と回答した人の割合は、石鳥谷地域(11.3%)が最も多くなっている。

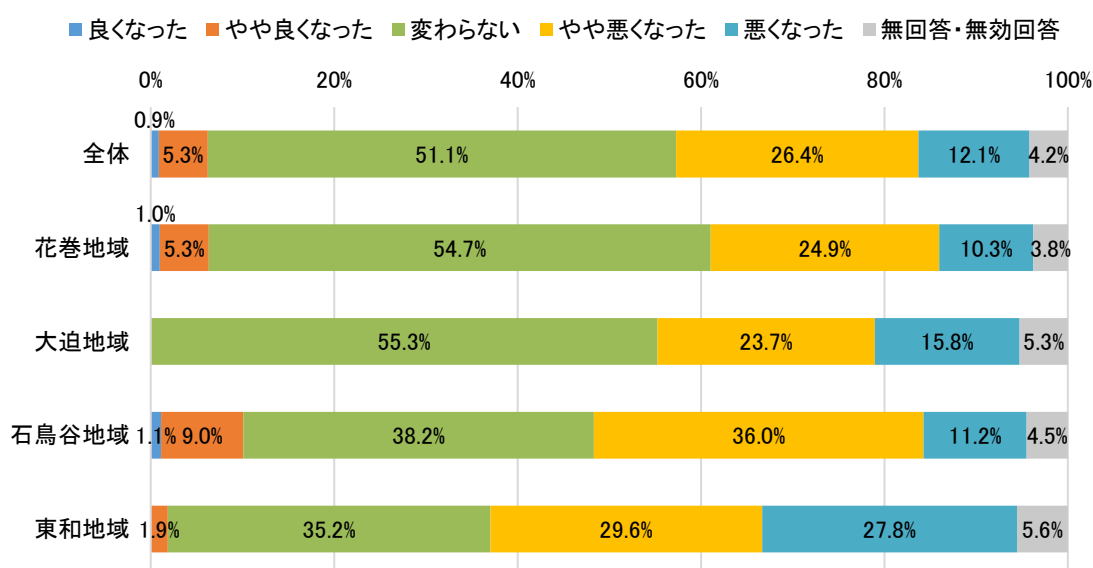


農地や山林の荒廃	回答数 (件)						
	良くなった	やや良くなった	変わらない	やや悪くなった	悪くなった	無回答・無効回答	合計
全体	11	43	275	247	87	30	693
花巻地域	8	34	219	180	46	19	506
大迫地域	0	1	10	13	11	3	38
石鳥谷地域	3	7	30	29	15	5	89
東和地域	0	0	14	24	14	2	54
農地や山林の荒廃	構成比 (%)						
	良くなった	やや良くなった	変わらない	やや悪くなった	悪くなった	無回答・無効回答	合計
全体	1.6	6.2	39.7	35.6	12.6	4.3	100.0
花巻地域	1.6	6.7	43.3	35.6	9.1	3.8	100.0
大迫地域	0.0	2.6	26.3	34.2	28.9	7.9	100.0
石鳥谷地域	3.4	7.9	33.7	32.6	16.9	5.6	100.0
東和地域	0.0	0.0	25.9	44.4	25.9	3.7	100.0

【在来種の動植物の生息状況】

在来種の動植物の生息状況については、全体として「変わらない」(51.1%)が最も多い。また、「良くなった」、「やや良くなった」を合わせると、6.2%となっており、「やや悪くなった」、「悪くなった」を合わせた38.5%を約32ポイント下回っている。

回答者の居住地域別に区分すると、「良くなった」、「やや良くなった」と回答した人の割合は、石鳥谷地域(10.1%)が最も多くなっている。

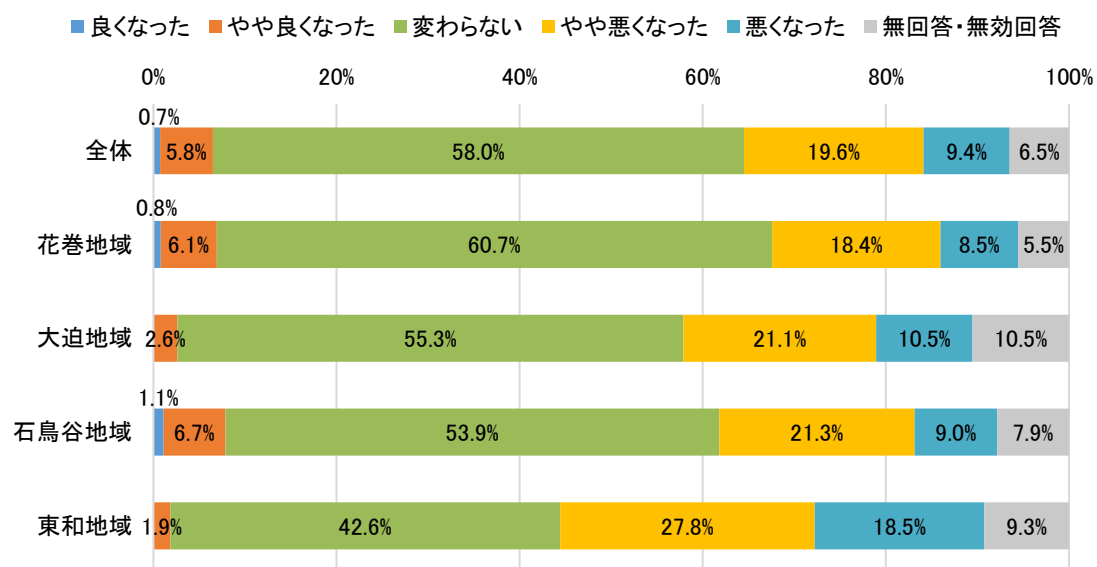


生息状況	回答数 (件)						合計
	良くなった	やや良くなった	変わらない	やや悪くなった	悪くなった	無回答・無効回答	
全体	6	37	354	183	84	29	693
花巻地域	5	27	277	126	52	19	506
大迫地域	0	0	21	9	6	2	38
石鳥谷地域	1	8	34	32	10	4	89
東和地域	0	1	19	16	15	3	54
生息状況	構成比 (%)						合計
	良くなった	やや良くなった	変わらない	やや悪くなった	悪くなった	無回答・無効回答	
全体	0.9	5.3	51.1	26.4	12.1	4.2	100.0
花巻地域	1.0	5.3	54.7	24.9	10.3	3.8	100.0
大迫地域	0.0	0.0	55.3	23.7	15.8	5.3	100.0
石鳥谷地域	1.1	9.0	38.2	36.0	11.2	4.5	100.0
東和地域	0.0	1.9	35.2	29.6	27.8	5.6	100.0

【ブラックバスなどの外来種の動植物の生息状況】

ブラックバスなどの外来種の動植物の生息状況については、全体として「変わらない」(58.0%)が最も多い。また、「良くなった」、「やや良くなった」を合わせると、6.5%となっており、「やや悪くなった」、「悪くなった」を合わせた29.0%を約23ポイント下回っている。

回答者の居住地域別に区分すると、「良くなった」、「やや良くなった」と回答した人の割合は、石鳥谷地域(7.8%)が最も多くなっている。

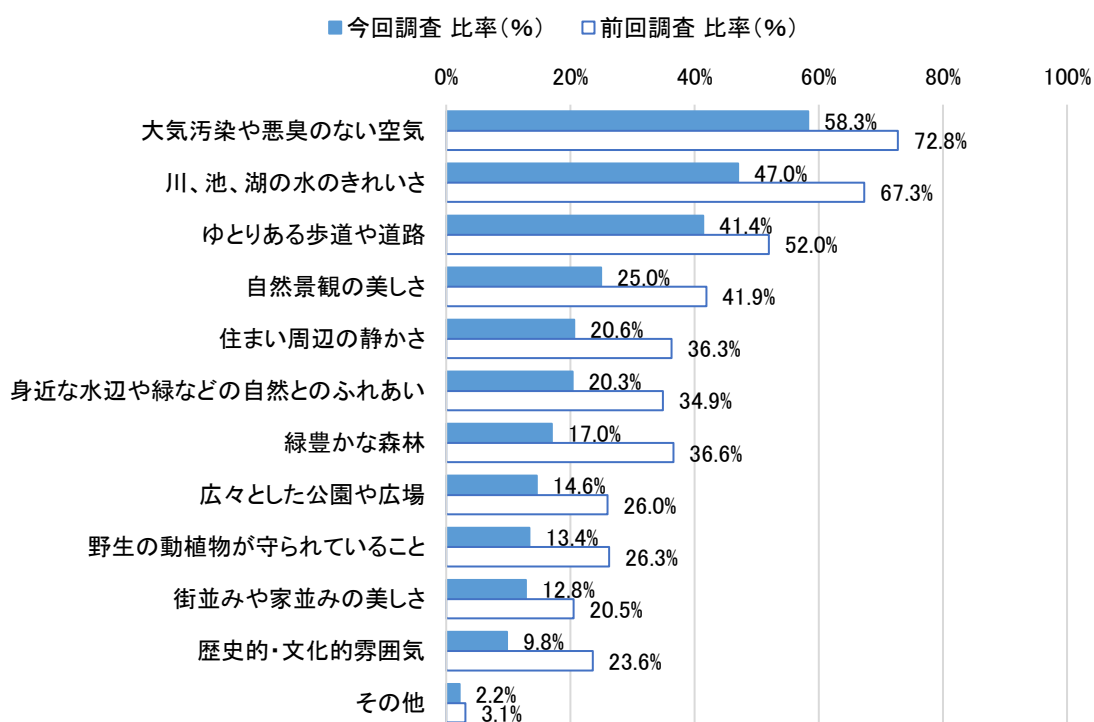


生息状況	回答数 (件)						合計
	良くなった	やや良くなった	変わらない	やや悪くなった	悪くなった	無回答・無効回答	
全体	5	40	402	136	65	45	693
花巻地域	4	31	307	93	43	28	506
大迫地域	0	1	21	8	4	4	38
石鳥谷地域	1	6	48	19	8	7	89
東和地域	0	1	23	15	10	5	54
生息状況	構成比 (%)						合計
	良くなった	やや良くなった	変わらない	やや悪くなった	悪くなった	無回答・無効回答	
全体	0.7	5.8	58.0	19.6	9.4	6.5	100.0
花巻地域	0.8	6.1	60.7	18.4	8.5	5.5	100.0
大迫地域	0.0	2.6	55.3	21.1	10.5	10.5	100.0
石鳥谷地域	1.1	6.7	53.9	21.3	9.0	7.9	100.0
東和地域	0.0	1.9	42.6	27.8	18.5	9.3	100.0

2-3 快適で住みよい環境を確保していくうえで、特に大切と考える要素
(複数回答)

快適で住みよい環境を確保していくうえで、特に大切と考える要素については、「大気汚染や悪臭のない空気」(58.3%)が最も多く、次いで、「川、池、湖の水のきれいさ」(47.0%)、「ゆとりある歩道や道路」(41.4%)と続いている。
前回調査と比較すると、順位は同様の結果となっている。

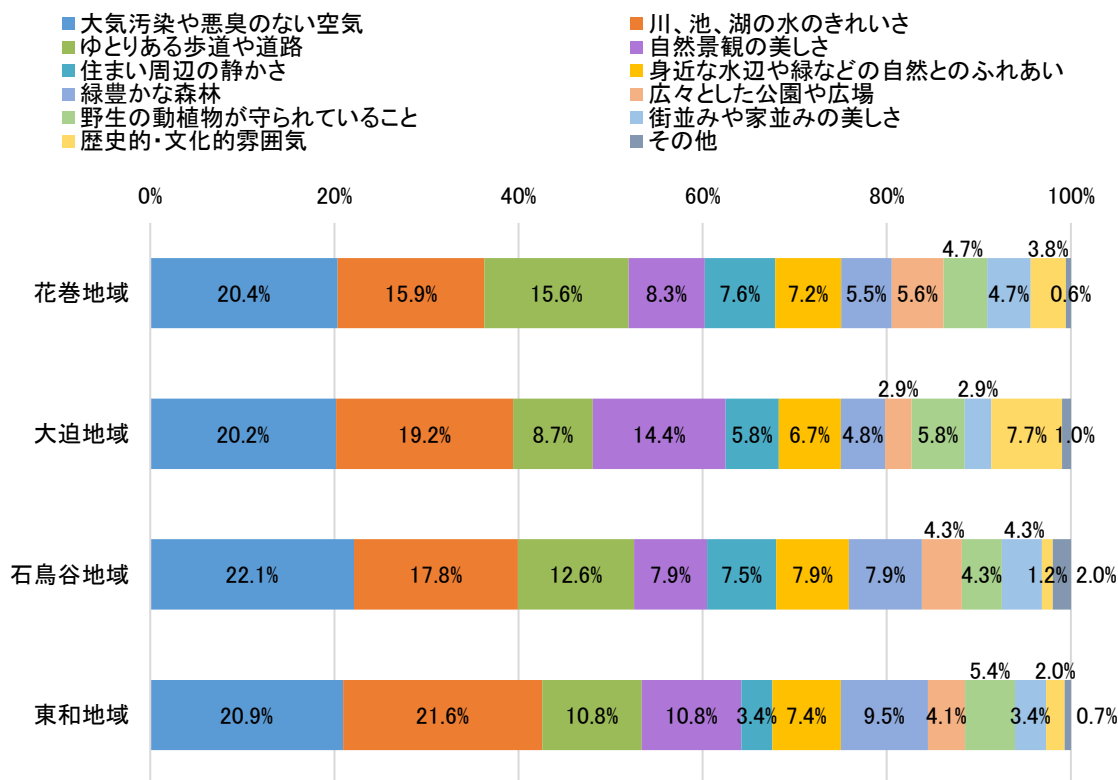
※前回調査では、あてはまるものをすべて回答する方式であったのに対し、今回調査では、選択数を3つまでに絞り、より重要な項目が明確になるようにした。これにより、全体的な回答比率が下がっている。



大切な要素	回答数(件)	比率(%)	前回調査(%)
大気汚染や悪臭のない空気	404	58.3	72.8
川、池、湖の水のきれいさ	326	47.0	67.3
ゆとりある歩道や道路	287	41.4	52.0
自然景観の美しさ	173	25.0	41.9
住まい周辺の静かさ	143	20.6	36.3
身近な水辺や緑などの自然とのふれあい	141	20.3	34.9
緑豊かな森林	118	17.0	36.6
広々とした公園や広場	101	14.6	26.0
野生の動植物が守られていること	93	13.4	26.3
街並みや家並みの美しさ	89	12.8	20.5
歴史的・文化的雰囲気	68	9.8	23.6
その他	15	2.2	3.1
合計	1,958	-	-

【地域別】

回答者の居住地域別で比較すると、どの項目もおおむね同程度の割合であるが、花巻地域は「ゆとりある歩道や道路」(15.6%)、大迫地域は「歴史的、文化的雰囲気」(7.7%)、石鳥谷地域は「大気汚染や悪臭のない空気」(22.1%)、東和地域は「緑豊かな森林」(9.5%)が比較的多くなっている。

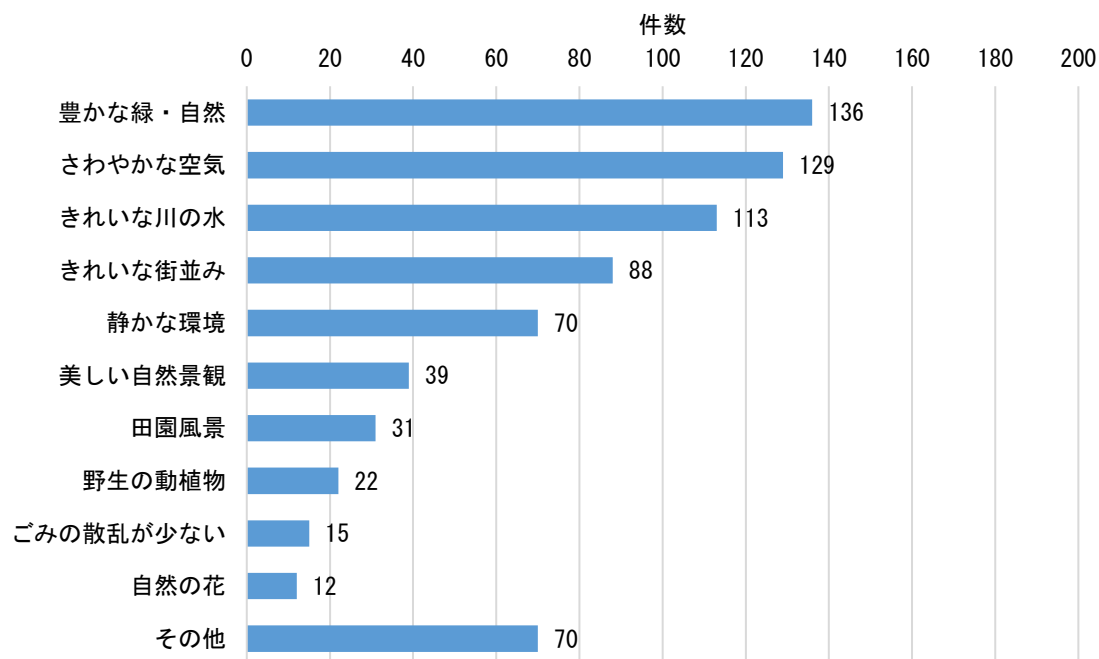


大切な要素	花巻地域		大迫地域		石鳥谷地域		東和地域	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
大気汚染や悪臭のない空気	293	20.4	21	20.2	56	22.1	31	20.9
川、池、湖の水のきれいさ	229	15.9	20	19.2	45	17.8	32	21.6
ゆとりある歩道や道路	225	15.6	9	8.7	32	12.6	16	10.8
自然景観の美しさ	119	8.3	15	14.4	20	7.9	16	10.8
住まい周辺の静かさ	110	7.6	6	5.8	19	7.5	5	3.4
身近な水辺や緑などの自然とのふれあい	103	7.2	7	6.7	20	7.9	11	7.4
緑豊かな森林	79	5.5	5	4.8	20	7.9	14	9.5
広々とした公園や広場	81	5.6	3	2.9	11	4.3	6	4.1
野生の動植物が守られていること	68	4.7	6	5.8	11	4.3	8	5.4
街並みや家並みの美しさ	68	4.7	3	2.9	11	4.3	5	3.4
歴史的・文化的雰囲気	55	3.8	8	7.7	3	1.2	3	2.0
その他	8	0.6	1	1.0	5	2.0	1	0.7
合計	1,438	100.0	104	100.0	253	100.0	148	100.0

2-4 身の回りにおける「良い環境」と「悪い環境」のイメージ（自由記載）

【良い環境のイメージ】

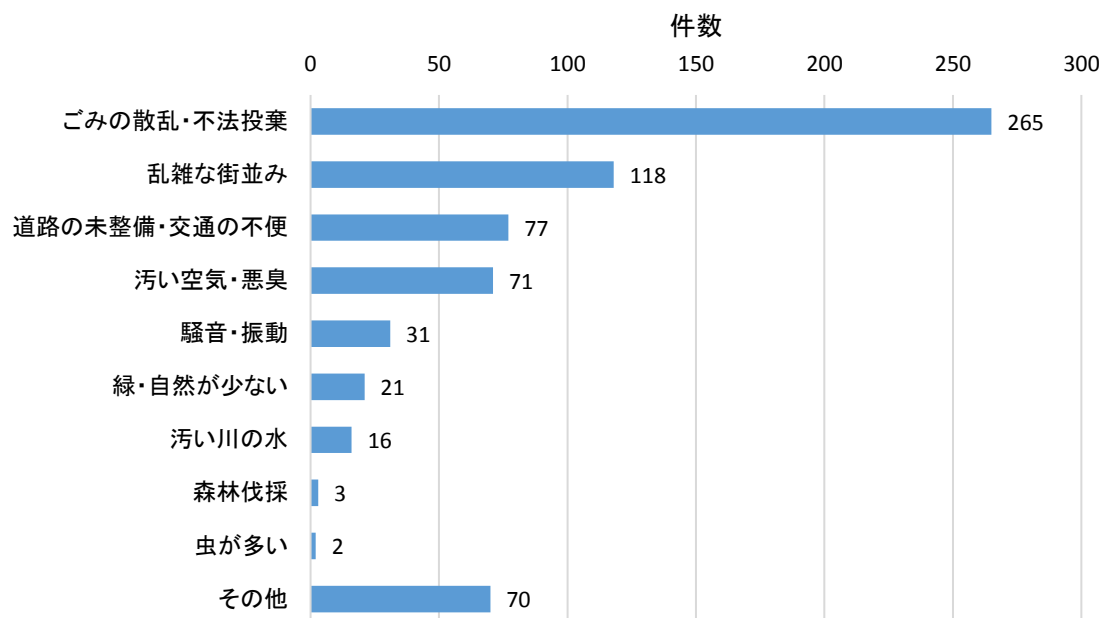
良い環境のイメージについては、「豊かな緑・自然」、「さわやかな空気」、「きれいな川の水」が多くなっている。



良い環境のイメージ	回答数（件）
豊かな緑・自然	136
さわやかな空気	129
きれいな川の水	113
きれいな街並み	88
静かな環境	70
美しい自然景観	39
田園風景	31
野生の動植物	22
ごみの散乱が少ない	15
自然の花	12
その他	70

【悪い環境のイメージ】

悪い環境のイメージについては、「ごみの散乱・不法投棄」が突出して多くなっている。



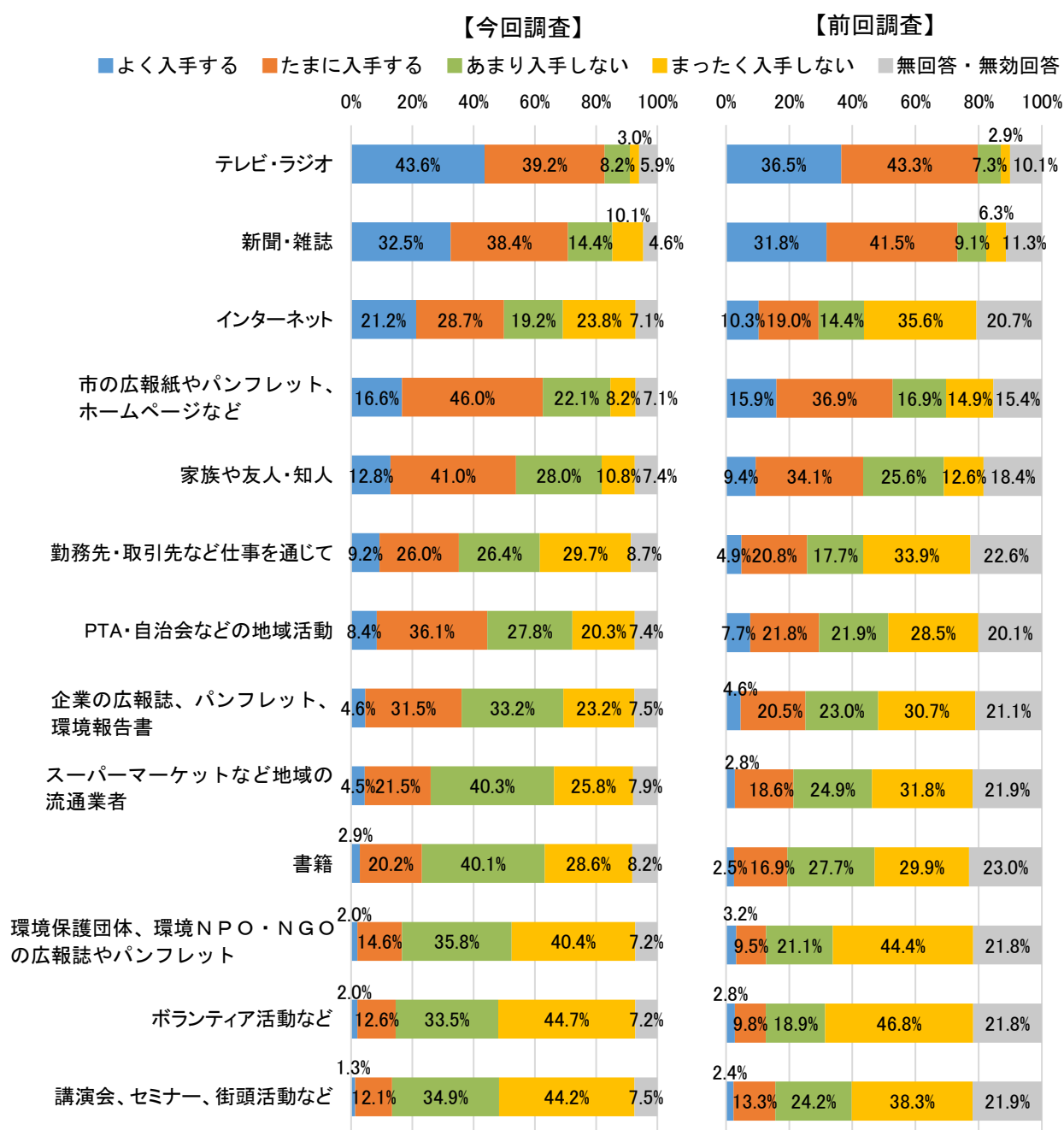
悪い環境のイメージ	回答数（件）
ごみの散乱・不法投棄	265
乱雑な街並み	118
道路の未整備・交通の不便	77
汚い空気・悪臭	71
騒音・振動	31
緑・自然が少ない	21
汚い川の水	16
森林伐採	3
虫が多い	2
その他	70

3.環境に配慮した行動について

3-1 環境に関する情報の入手方法と頻度（単一回答）

環境に関する情報の入手方法と頻度については、「よく入手する」、「たまに入手する」を合わせると、「テレビ・ラジオ」（82.8%）、「新聞・雑誌」（70.9%）となっており、いずれも70%を超えている。

前回調査と比較すると、全体的には同様の傾向であるが、「インターネット」、「家族や友人・知人」「PTA・自治会などの地域活動」「企業の広報誌、パンフレット、環境報告書」から入手している人が比較的增加している。



アンケート調査報告
 II. アンケート結果
 環境に配慮した行動について

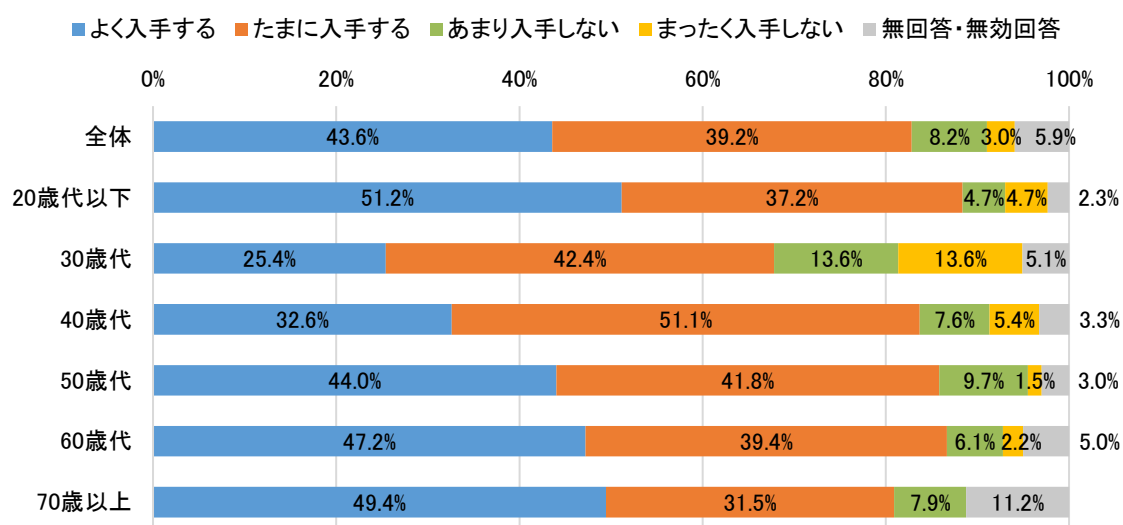
入手方法と頻度	回答数(件)					合計
	よく入手する	たまに入手する	あまり入手しない	まったく入手しない	無回答・無効回答	
テレビ・ラジオ	302	272	57	21	41	693
新聞・雑誌	225	266	100	70	32	693
インターネット	147	199	133	165	49	693
市の広報紙やパンフレット、ホームページなど	115	319	153	57	49	693
家族や友人・知人	89	284	194	75	51	693
勤務先・取引先など仕事を通じて	64	180	183	206	60	693
PTA・自治会などの地域活動	58	250	193	141	51	693
企業の広報誌、パンフレット、環境報告書	32	218	230	161	52	693
スーパーマーケットなど地域の流通業者	31	149	279	179	55	693
書籍	20	140	278	198	57	693
環境保護団体、環境 NPO・NGO の広報誌やパンフレット	14	101	248	280	50	693
ボランティア活動など	14	87	232	310	50	693
講演会、セミナー、街頭活動など	9	84	242	306	52	693
入手方法と頻度	構成比(%)					合計
	よく入手する	たまに入手する	あまり入手しない	まったく入手しない	無回答・無効回答	
テレビ・ラジオ	43.6	39.2	8.2	3.0	5.9	100.0
新聞・雑誌	32.5	38.4	14.4	10.1	4.6	100.0
インターネット	21.2	28.7	19.2	23.8	7.1	100.0
市の広報紙やパンフレット、ホームページなど	16.6	46.0	22.1	8.2	7.1	100.0
家族や友人・知人	12.8	41.0	28.0	10.8	7.4	100.0
勤務先・取引先など仕事を通じて	9.2	26.0	26.4	29.7	8.7	100.0
PTA・自治会などの地域活動	8.4	36.1	27.8	20.3	7.4	100.0
企業の広報誌、パンフレット、環境報告書	4.6	31.5	33.2	23.2	7.5	100.0
スーパーマーケットなど地域の流通業者	4.5	21.5	40.3	25.8	7.9	100.0
書籍	2.9	20.2	40.1	28.6	8.2	100.0
環境保護団体、環境 NPO・NGO の広報誌やパンフレット	2.0	14.6	35.8	40.4	7.2	100.0
ボランティア活動など	2.0	12.6	33.5	44.7	7.2	100.0
講演会、セミナー、街頭活動など	1.3	12.1	34.9	44.2	7.5	100.0

【年代別】

以下、年代別の分析を行うが、10 歳代については回答者数が 3 件と少なく、統計的に有意な分析が困難なため、20 歳代と合わせて分析を行う。

【テレビ・ラジオ】

テレビ・ラジオから情報を入手する頻度として、30 歳代を除くすべての年代で「よく入手する」、「たまに入手する」と回答した人が多く、80%を超えている。一方で、「よく入手する」、「たまに入手する」と回答した人が最も少ないのは 30 歳代で、67.8%にとどまっている。

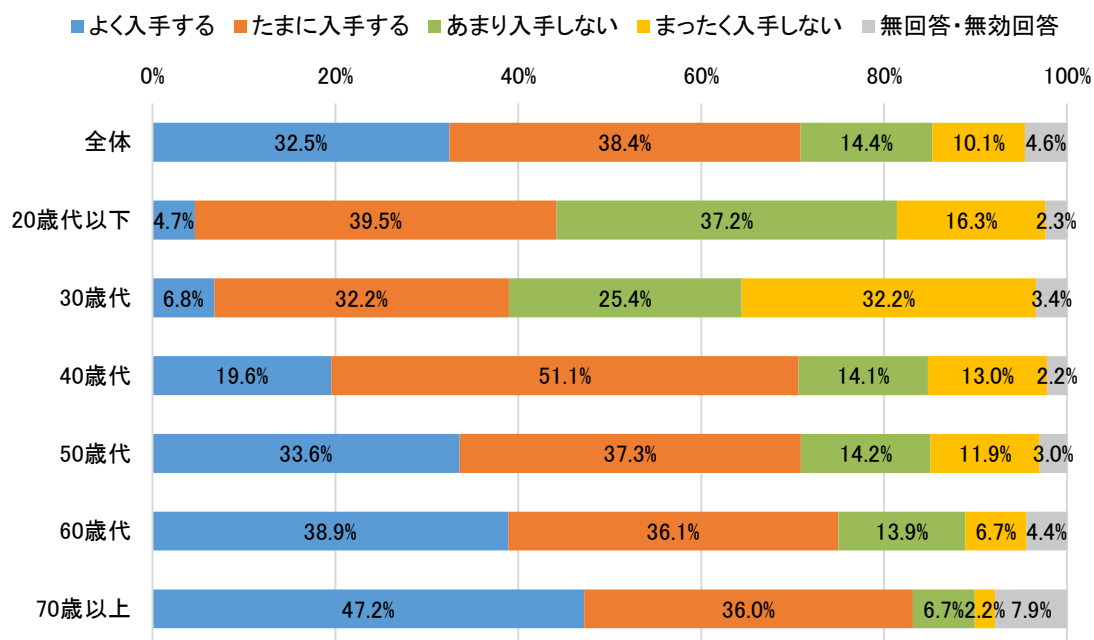


テレビ・ラジオ	回答数 (件)					合計
	よく入手する	たまに入手する	あまり入手しない	まったく入手しない	無回答・無効回答	
全体	302	272	57	21	41	693
20歳代以下	22	16	2	2	1	43
30歳代	15	25	8	8	3	59
40歳代	30	47	7	5	3	92
50歳代	59	56	13	2	4	134
60歳代	85	71	11	4	9	180
70歳以上	88	56	14	0	20	178
テレビ・ラジオ	構成比 (%)					合計
	よく入手する	たまに入手する	あまり入手しない	まったく入手しない	無回答・無効回答	
全体	43.6	39.2	8.2	3.0	5.9	100.0
20歳代以下	51.2	37.2	4.7	4.7	2.3	100.0
30歳代	25.4	42.4	13.6	13.6	5.1	100.0
40歳代	32.6	51.1	7.6	5.4	3.3	100.0
50歳代	44.0	41.8	9.7	1.5	3.0	100.0
60歳代	47.2	39.4	6.1	2.2	5.0	100.0
70歳以上	49.4	31.5	7.9	0.0	11.2	100.0

【新聞・雑誌】

新聞・雑誌から情報を入手する頻度として、40歳代以上で「よく入手する」、「たまに入手する」と回答した人が多く、70%を超えている。

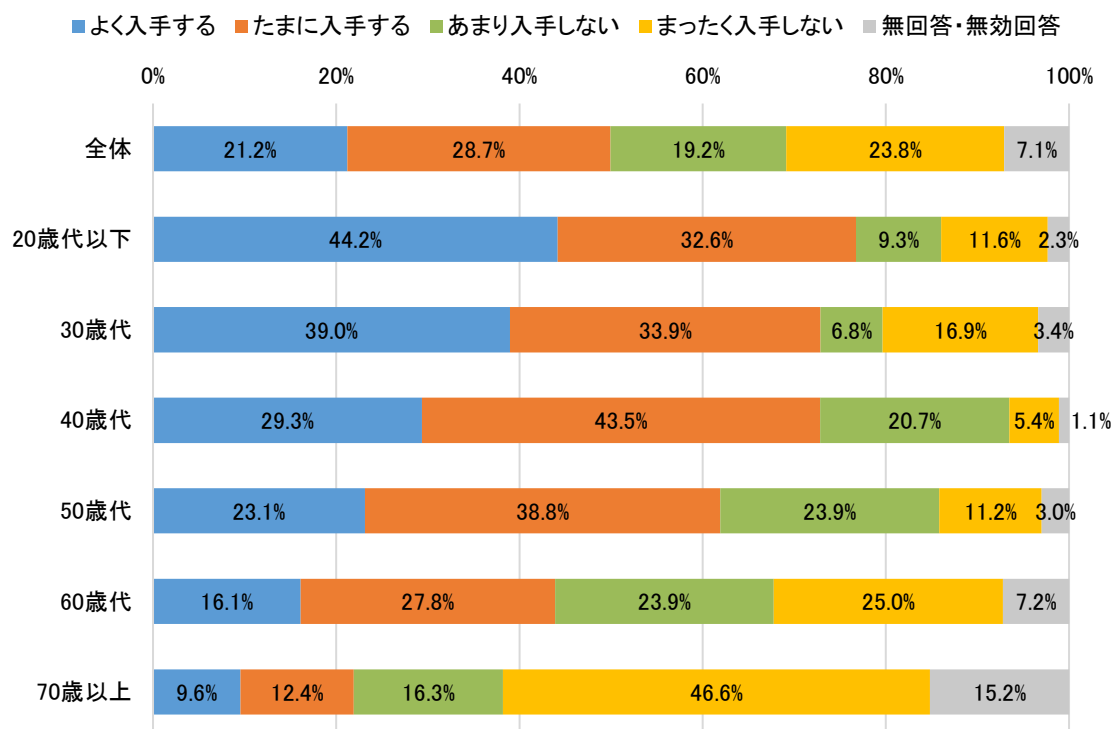
一方で、20歳代以下、30歳代では「よく入手する」、「たまに入手する」と回答した人が40%程度にとどまっている。



新聞・雑誌	回答数 (件)					合計
	よく入手する	たまに入手する	あまり入手しない	まったく入手しない	無回答・無効回答	
全体	225	266	100	70	32	693
20歳代以下	2	17	16	7	1	43
30歳代	4	19	15	19	2	59
40歳代	18	47	13	12	2	92
50歳代	45	50	19	16	4	134
60歳代	70	65	25	12	8	180
70歳以上	84	64	12	4	14	178
新聞・雑誌	構成比 (%)					合計
	よく入手する	たまに入手する	あまり入手しない	まったく入手しない	無回答・無効回答	
全体	32.5	38.4	14.4	10.1	4.6	100.0
20歳代以下	4.7	39.5	37.2	16.3	2.3	100.0
30歳代	6.8	32.2	25.4	32.2	3.4	100.0
40歳代	19.6	51.1	14.1	13.0	2.2	100.0
50歳代	33.6	37.3	14.2	11.9	3.0	100.0
60歳代	38.9	36.1	13.9	6.7	4.4	100.0
70歳以上	47.2	36.0	6.7	2.2	7.9	100.0

【インターネット】

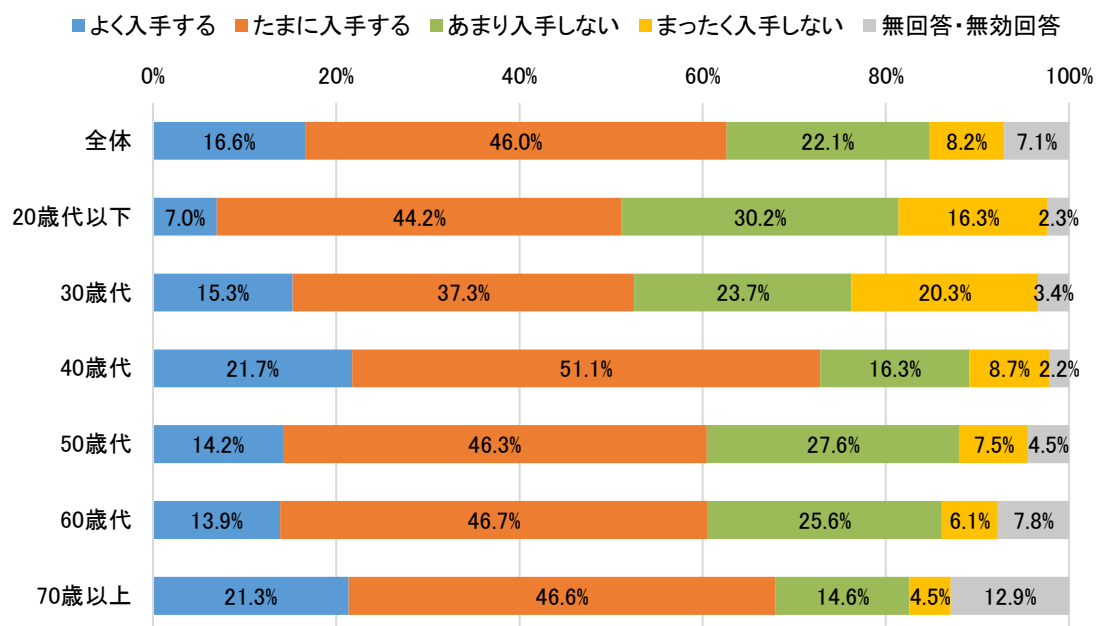
インターネットから情報を入手する頻度として、年代が高くなるにつれて「よく入手する」、「たまに入手する」と回答した人が少なくなる傾向にある。



インターネット	回答数 (件)					合計
	よく入手する	たまに入手する	あまり入手しない	まったく入手しない	無回答・無効回答	
全体	147	199	133	165	49	693
20歳代以下	19	14	4	5	1	43
30歳代	23	20	4	10	2	59
40歳代	27	40	19	5	1	92
50歳代	31	52	32	15	4	134
60歳代	29	50	43	45	13	180
70歳以上	17	22	29	83	27	178
インターネット	構成比 (%)					合計
	よく入手する	たまに入手する	あまり入手しない	まったく入手しない	無回答・無効回答	
全体	21.2	28.7	19.2	23.8	7.1	100.0
20歳代以下	44.2	32.6	9.3	11.6	2.3	100.0
30歳代	39.0	33.9	6.8	16.9	3.4	100.0
40歳代	29.3	43.5	20.7	5.4	1.1	100.0
50歳代	23.1	38.8	23.9	11.2	3.0	100.0
60歳代	16.1	27.8	23.9	25.0	7.2	100.0
70歳以上	9.6	12.4	16.3	46.6	15.2	100.0

【市の広報紙やパンフレット、ホームページなど】

市の広報紙やパンフレット、ホームページなどから情報を入手する頻度として、40歳代で「よく入手する」、「たまに入手する」と回答した人が最も多く、72.8%となっている。
一方で、20歳代以下、30歳代では「よく入手する」、「たまに入手する」と回答した人が50%程度にとどまっている。

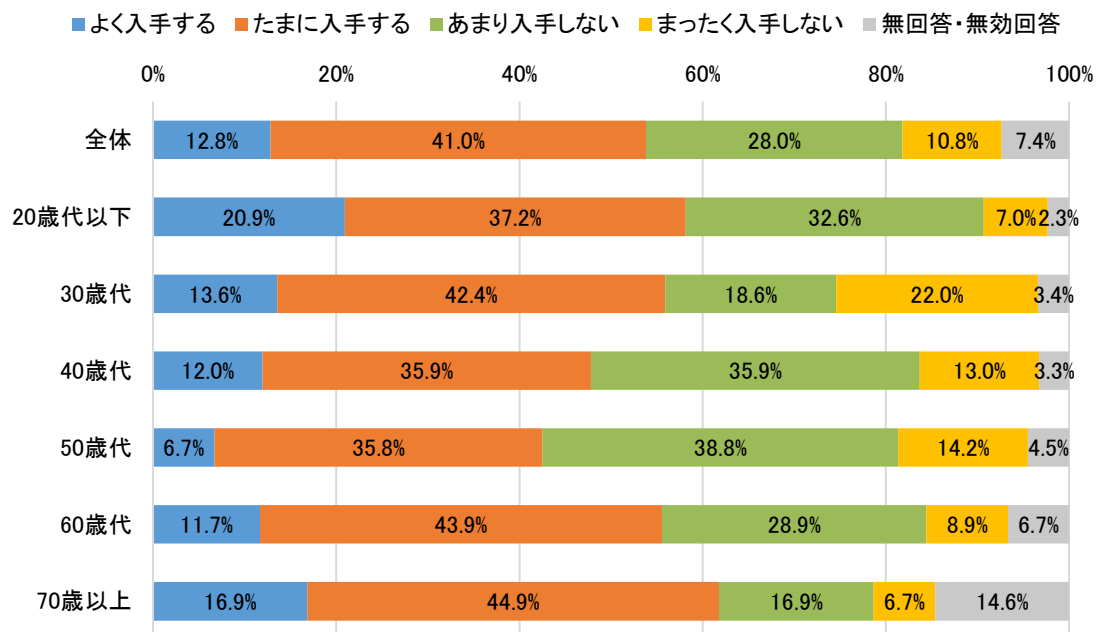


広報紙・パンフレット・ホームページ	回答数（件）					合計
	よく入手する	たまに入手する	あまり入手しない	まったく入手しない	無回答・無効回答	
全体	115	319	153	57	49	693
20歳代以下	3	19	13	7	1	43
30歳代	9	22	14	12	2	59
40歳代	20	47	15	8	2	92
50歳代	19	62	37	10	6	134
60歳代	25	84	46	11	14	180
70歳以上	38	83	26	8	23	178
広報紙・パンフレット・ホームページ	構成比（%）					合計
	よく入手する	たまに入手する	あまり入手しない	まったく入手しない	無回答・無効回答	
全体	16.6	46.0	22.1	8.2	7.1	100.0
20歳代以下	7.0	44.2	30.2	16.3	2.3	100.0
30歳代	15.3	37.3	23.7	20.3	3.4	100.0
40歳代	21.7	51.1	16.3	8.7	2.2	100.0
50歳代	14.2	46.3	27.6	7.5	4.5	100.0
60歳代	13.9	46.7	25.6	6.1	7.8	100.0
70歳以上	21.3	46.6	14.6	4.5	12.9	100.0

【家族や友人・知人】

家族や友人・知人を通じて情報を入手する頻度として、70歳以上で「よく入手する」、「たまに入手する」と回答した人が最も多く、61.8%となっている。

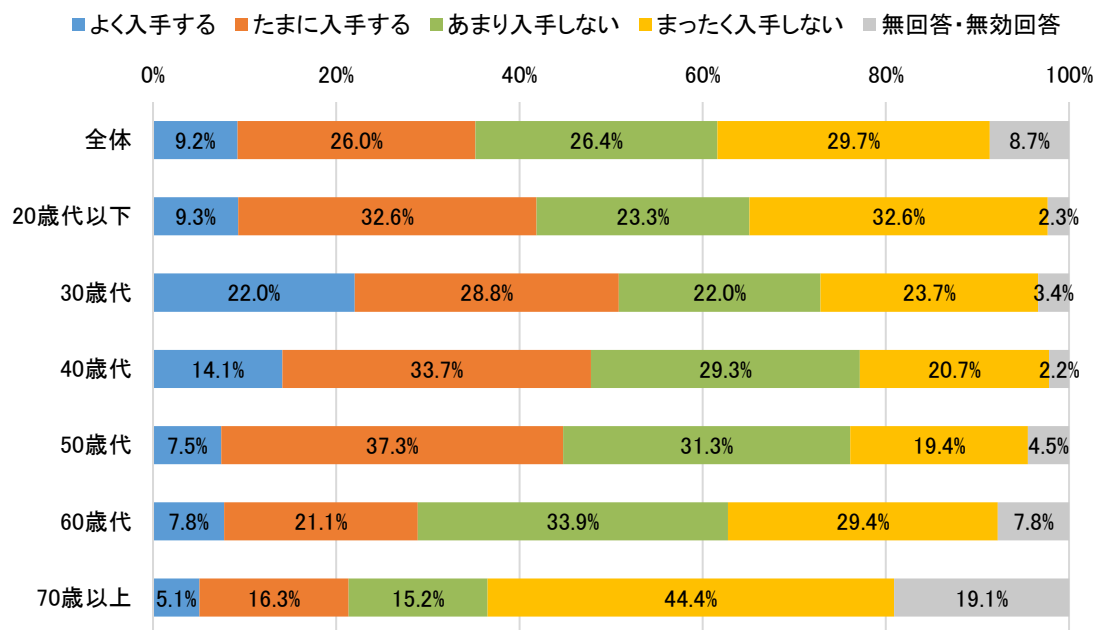
一方で、「よく入手する」、「たまに入手する」と回答した人が最も少ないのは50歳代で、42.5%にとどまっている。



家族や友人・知人	回答数 (件)					合計
	よく入手する	たまに入手する	あまり入手しない	まったく入手しない	無回答・無効回答	
全体	89	284	194	75	51	693
20歳代以下	9	16	14	3	1	43
30歳代	8	25	11	13	2	59
40歳代	11	33	33	12	3	92
50歳代	9	48	52	19	6	134
60歳代	21	79	52	16	12	180
70歳以上	30	80	30	12	26	178
家族や友人・知人	構成比 (%)					合計
	よく入手する	たまに入手する	あまり入手しない	まったく入手しない	無回答・無効回答	
全体	12.8	41.0	28.0	10.8	7.4	100.0
20歳代以下	20.9	37.2	32.6	7.0	2.3	100.0
30歳代	13.6	42.4	18.6	22.0	3.4	100.0
40歳代	12.0	35.9	35.9	13.0	3.3	100.0
50歳代	6.7	35.8	38.8	14.2	4.5	100.0
60歳代	11.7	43.9	28.9	8.9	6.7	100.0
70歳以上	16.9	44.9	16.9	6.7	14.6	100.0

【勤務先・取引先など仕事を通じて】

勤務先・取引先など仕事を通じて情報を入手する頻度として、20歳代以下～50歳代で「よく入手する」、「たまに入手する」と回答した人が多く、40%を超えている。
一方で、「よく入手する」、「たまに入手する」と回答した人が最も少ないのは70歳代で、21.4%にとどまっている。

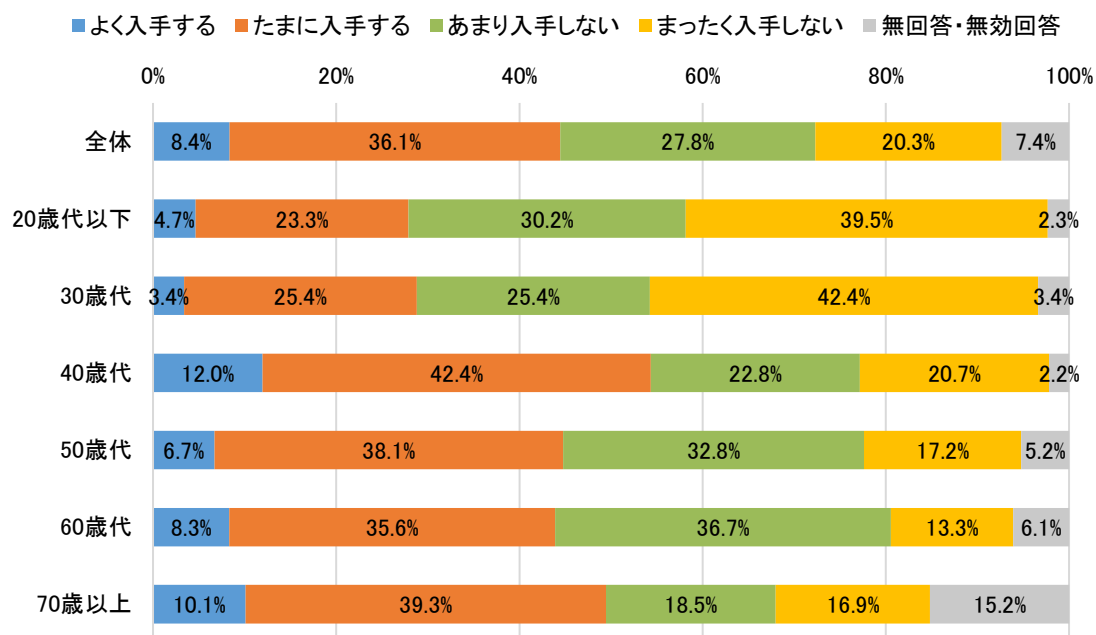


仕事を通じて	回答数 (件)					合計
	よく入手する	たまに入手する	あまり入手しない	まったく入手しない	無回答・無効回答	
全体	64	180	183	206	60	693
20歳代以下	4	14	10	14	1	43
30歳代	13	17	13	14	2	59
40歳代	13	31	27	19	2	92
50歳代	10	50	42	26	6	134
60歳代	14	38	61	53	14	180
70歳以上	9	29	27	79	34	178
仕事を通じて	構成比 (%)					合計
	よく入手する	たまに入手する	あまり入手しない	まったく入手しない	無回答・無効回答	
全体	9.2	26.0	26.4	29.7	8.7	100.0
20歳代以下	9.3	32.6	23.3	32.6	2.3	100.0
30歳代	22.0	28.8	22.0	23.7	3.4	100.0
40歳代	14.1	33.7	29.3	20.7	2.2	100.0
50歳代	7.5	37.3	31.3	19.4	4.5	100.0
60歳代	7.8	21.1	33.9	29.4	7.8	100.0
70歳以上	5.1	16.3	15.2	44.4	19.1	100.0

【PTA・自治会などの地域活動】

PTA・自治会などの地域活動を通じて情報を入手する頻度として、40歳代で「よく入手する」、「たまに入手する」と回答した人が最も多く、54.4%となっている。

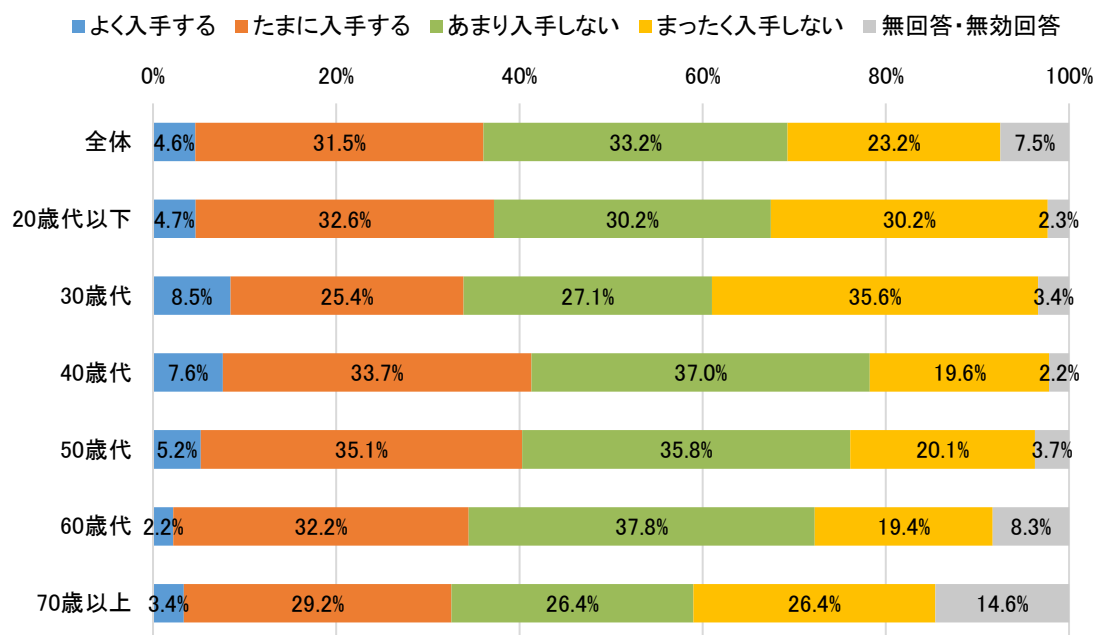
一方で、20歳代以下、30歳代で「よく入手する」、「たまに入手する」と回答した人が少なく、30%程度にとどまっている。



地域活動	回答数（件）					合計
	よく入手する	たまに入手する	あまり入手しない	まったく入手しない	無回答・無効回答	
全体	58	250	193	141	51	693
20歳代以下	2	10	13	17	1	43
30歳代	2	15	15	25	2	59
40歳代	11	39	21	19	2	92
50歳代	9	51	44	23	7	134
60歳代	15	64	66	24	11	180
70歳以上	18	70	33	30	27	178
地域活動	構成比（%）					合計
	よく入手する	たまに入手する	あまり入手しない	まったく入手しない	無回答・無効回答	
全体	8.4	36.1	27.8	20.3	7.4	100.0
20歳代以下	4.7	23.3	30.2	39.5	2.3	100.0
30歳代	3.4	25.4	25.4	42.4	3.4	100.0
40歳代	12.0	42.4	22.8	20.7	2.2	100.0
50歳代	6.7	38.1	32.8	17.2	5.2	100.0
60歳代	8.3	35.6	36.7	13.3	6.1	100.0
70歳以上	10.1	39.3	18.5	16.9	15.2	100.0

【企業の広報誌、パンフレット、環境報告書】

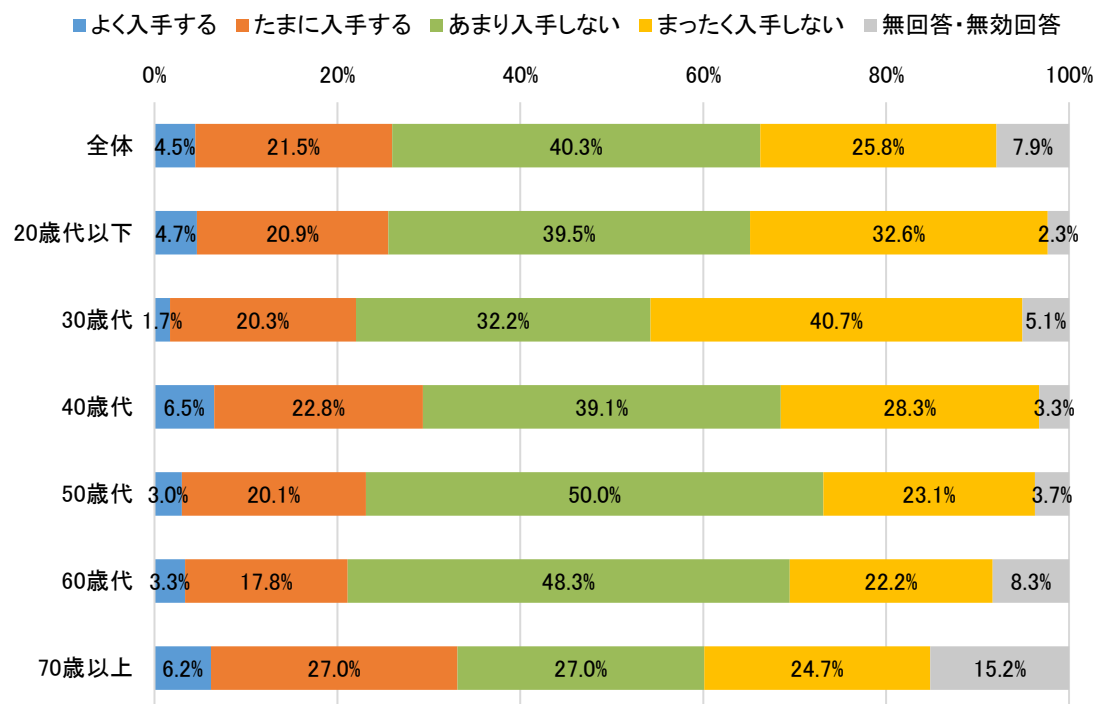
企業の広報誌、パンフレット、環境報告書から情報を入手する頻度として、全ての年代で「よく入手する」、「たまに入手する」と回答した人が同程度の割合となっているが、40歳代、50歳代で「よく入手する」、「たまに入手する」と回答した人が比較的多く、40%を超えている。



企業の広報誌・パンフレット・環境報告書	回答数 (件)					合計
	よく入手する	たまに入手する	あまり入手しない	まったく入手しない	無回答・無効回答	
全体	32	218	230	161	52	693
20歳代以下	2	14	13	13	1	43
30歳代	5	15	16	21	2	59
40歳代	7	31	34	18	2	92
50歳代	7	47	48	27	5	134
60歳代	4	58	68	35	15	180
70歳以上	6	52	47	47	26	178
企業の広報誌・パンフレット・環境報告書	構成比 (%)					合計
	よく入手する	たまに入手する	あまり入手しない	まったく入手しない	無回答・無効回答	
全体	4.6	31.5	33.2	23.2	7.5	100.0
20歳代以下	4.7	32.6	30.2	30.2	2.3	100.0
30歳代	8.5	25.4	27.1	35.6	3.4	100.0
40歳代	7.6	33.7	37.0	19.6	2.2	100.0
50歳代	5.2	35.1	35.8	20.1	3.7	100.0
60歳代	2.2	32.2	37.8	19.4	8.3	100.0
70歳以上	3.4	29.2	26.4	26.4	14.6	100.0

【スーパーマーケットなど地域の流通業者】

スーパーマーケットなど地域の流通業者から情報を入手する頻度として、40歳代、70歳以上で「よく入手する」、「たまに入手する」と回答した人が多く、30%程度となっている。

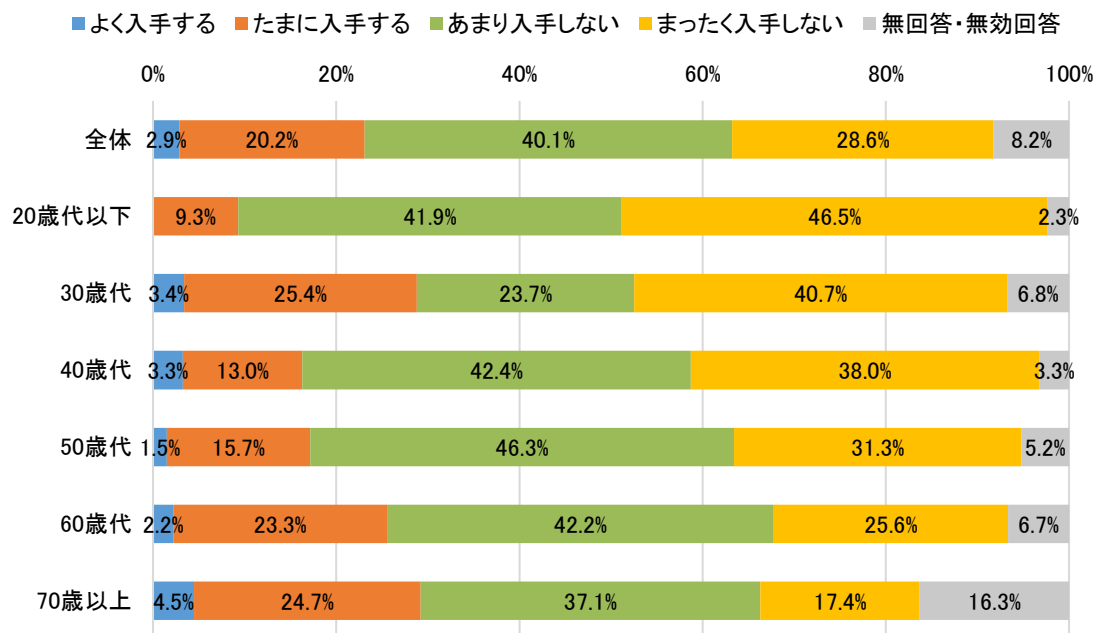


地域の流通業者	回答数 (件)					合計
	よく入手する	たまに入手する	あまり入手しない	まったく入手しない	無回答・無効回答	
全体	31	149	279	179	55	693
20歳代以下	2	9	17	14	1	43
30歳代	1	12	19	24	3	59
40歳代	6	21	36	26	3	92
50歳代	4	27	67	31	5	134
60歳代	6	32	87	40	15	180
70歳以上	11	48	48	44	27	178
地域の流通業者	構成比 (%)					合計
	よく入手する	たまに入手する	あまり入手しない	まったく入手しない	無回答・無効回答	
全体	4.5	21.5	40.3	25.8	7.9	100.0
20歳代以下	4.7	20.9	39.5	32.6	2.3	100.0
30歳代	1.7	20.3	32.2	40.7	5.1	100.0
40歳代	6.5	22.8	39.1	28.3	3.3	100.0
50歳代	3.0	20.1	50.0	23.1	3.7	100.0
60歳代	3.3	17.8	48.3	22.2	8.3	100.0
70歳以上	6.2	27.0	27.0	24.7	15.2	100.0

【書籍】

書籍から情報入手する頻度として、30歳代、70歳以上で「よく入手する」、「たまに入手する」と回答した人が多く、30%程度となっている。

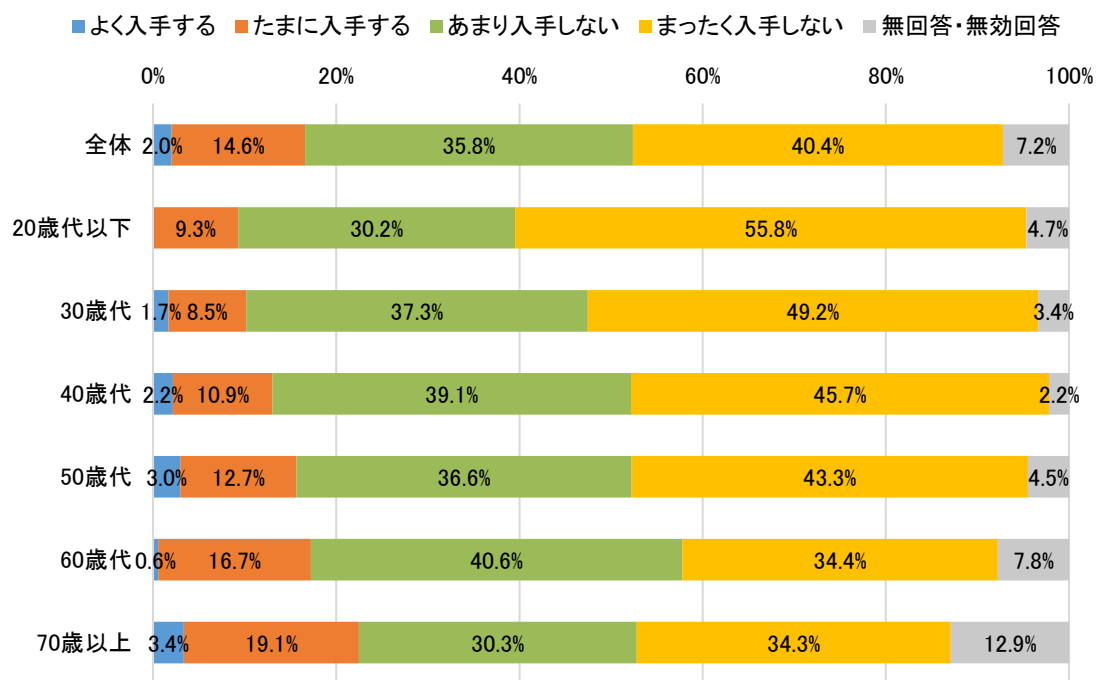
一方で、「よく入手する」、「たまに入手する」と回答した人が最も少ないのは20歳代以下で、9.3%にとどまっている。



書籍	回答数 (件)					合計
	よく入手する	たまに入手する	あまり入手しない	まったく入手しない	無回答・無効回答	
全体	20	140	278	198	57	693
20歳代以下	0	4	18	20	1	43
30歳代	2	15	14	24	4	59
40歳代	3	12	39	35	3	92
50歳代	2	21	62	42	7	134
60歳代	4	42	76	46	12	180
70歳以上	8	44	66	31	29	178
書籍	構成比 (%)					合計
	よく入手する	たまに入手する	あまり入手しない	まったく入手しない	無回答・無効回答	
全体	2.9	20.2	40.1	28.6	8.2	100.0
20歳代以下	0.0	9.3	41.9	46.5	2.3	100.0
30歳代	3.4	25.4	23.7	40.7	6.8	100.0
40歳代	3.3	13.0	42.4	38.0	3.3	100.0
50歳代	1.5	15.7	46.3	31.3	5.2	100.0
60歳代	2.2	23.3	42.2	25.6	6.7	100.0
70歳以上	4.5	24.7	37.1	17.4	16.3	100.0

【環境保護団体、環境NPO・NGOの広報誌やパンフレット】

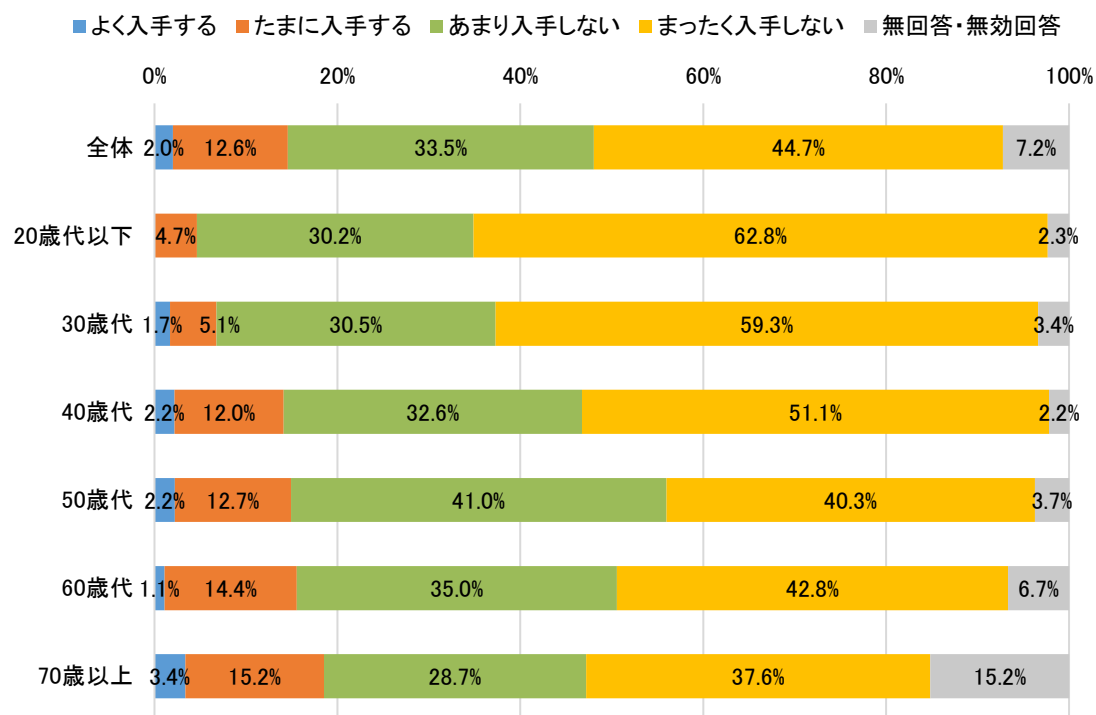
環境保護団体、環境NPO・NGOの広報誌やパンフレットから情報を入手する頻度として、年代が高くなるにつれて「よく入手する」、「たまに入手する」と回答した人が多くなる傾向にある。



環境保護団体、 環境NPO・ NGOの広報誌等	回答数（件）					合計
	よく入手 する	たまに入手 する	あまり入手 しない	まったく 入手しない	無回答・ 無効回答	
全体	14	101	248	280	50	693
20歳代以下	0	4	13	24	2	43
30歳代	1	5	22	29	2	59
40歳代	2	10	36	42	2	92
50歳代	4	17	49	58	6	134
60歳代	1	30	73	62	14	180
70歳以上	6	34	54	61	23	178
環境保護団体、 環境NPO・ NGOの広報誌等	構成比（%）					合計
	よく入手 する	たまに入手 する	あまり入手 しない	まったく 入手しない	無回答・ 無効回答	
全体	2.0	14.6	35.8	40.4	7.2	100.0
20歳代以下	0.0	9.3	30.2	55.8	4.7	100.0
30歳代	1.7	8.5	37.3	49.2	3.4	100.0
40歳代	2.2	10.9	39.1	45.7	2.2	100.0
50歳代	3.0	12.7	36.6	43.3	4.5	100.0
60歳代	0.6	16.7	40.6	34.4	7.8	100.0
70歳以上	3.4	19.1	30.3	34.3	12.9	100.0

【ボランティア活動など】

ボランティア活動などを通じて情報を入手する頻度として、年代が高くなるにつれて「よく入手する」、「たまに入手する」と回答した人が多くなる傾向にある。

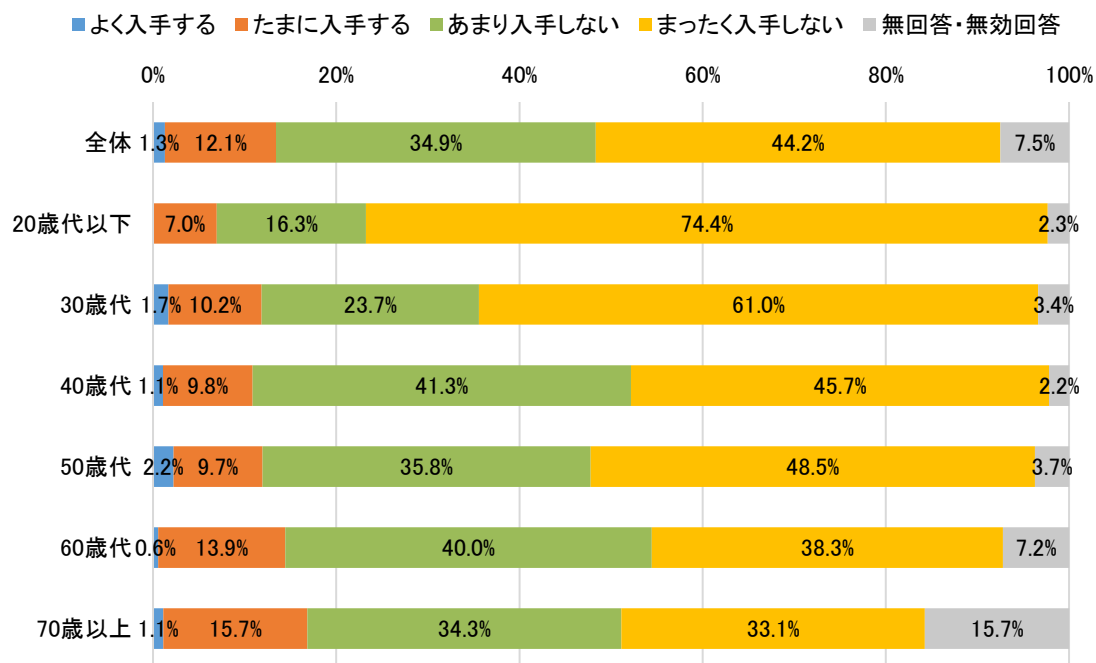


ボランティア活動など	回答数 (件)					合計
	よく入手する	たまに入手する	あまり入手しない	まったく入手しない	無回答・無効回答	
全体	14	87	232	310	50	693
20歳代以下	0	2	13	27	1	43
30歳代	1	3	18	35	2	59
40歳代	2	11	30	47	2	92
50歳代	3	17	55	54	5	134
60歳代	2	26	63	77	12	180
70歳以上	6	27	51	67	27	178
ボランティア活動など	構成比 (%)					合計
	よく入手する	たまに入手する	あまり入手しない	まったく入手しない	無回答・無効回答	
全体	2.0	12.6	33.5	44.7	7.2	100.0
20歳代以下	0.0	4.7	30.2	62.8	2.3	100.0
30歳代	1.7	5.1	30.5	59.3	3.4	100.0
40歳代	2.2	12.0	32.6	51.1	2.2	100.0
50歳代	2.2	12.7	41.0	40.3	3.7	100.0
60歳代	1.1	14.4	35.0	42.8	6.7	100.0
70歳以上	3.4	15.2	28.7	37.6	15.2	100.0

【講演会、セミナー、街頭活動など】

講演会、セミナー、街頭活動などから情報を入手する頻度として、70歳以上で「よく入手する」、「たまに入手する」と回答した人が最も多く、16.8%となっている。

一方で、「よく入手する」、「たまに入手する」と回答した人が最も少ないのは20歳代以下で、7.0%にとどまっている。

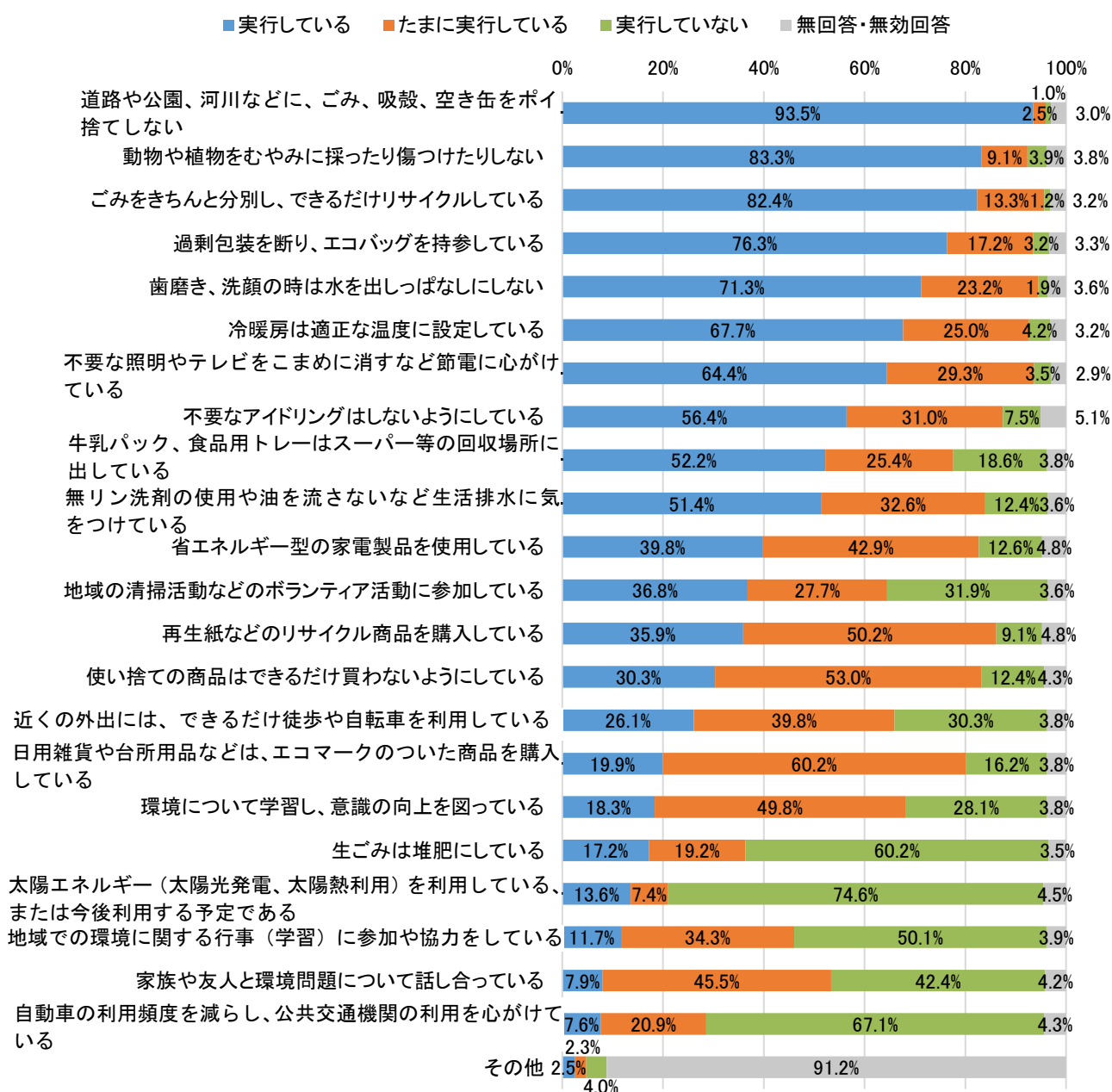


講演会、 セミナー、 街頭活動など	回答数（件）					合計
	よく入手 する	たまに入手 する	あまり入手 しない	まったく 入手しない	無回答・ 無効回答	
全体	9	84	242	306	52	693
20歳代以下	0	3	7	32	1	43
30歳代	1	6	14	36	2	59
40歳代	1	9	38	42	2	92
50歳代	3	13	48	65	5	134
60歳代	1	25	72	69	13	180
70歳以上	2	28	61	59	28	178
講演会、 セミナー、 街頭活動など	構成比（%）					合計
	よく入手 する	たまに入手 する	あまり入手 しない	まったく 入手しない	無回答・ 無効回答	
全体	1.3	12.1	34.9	44.2	7.5	100.0
20歳代以下	0.0	7.0	16.3	74.4	2.3	100.0
30歳代	1.7	10.2	23.7	61.0	3.4	100.0
40歳代	1.1	9.8	41.3	45.7	2.2	100.0
50歳代	2.2	9.7	35.8	48.5	3.7	100.0
60歳代	0.6	13.9	40.0	38.3	7.2	100.0
70歳以上	1.1	15.7	34.3	33.1	15.7	100.0

3-2 環境に配慮した行動の取り組み状況（単一回答）

環境に配慮した行動の取り組み状況については、「実行している」、「たまに実行している」を合わせると、「道路や公園、河川などに、ごみ、吸殻、空き缶をポイ捨てしない」（96.0%）、「ごみをきちんと分別し、できるだけリサイクルしている」（95.7%）となっており、いずれも95%を超えている。

一方で、「太陽エネルギー（太陽光発電、太陽熱利用）を利用している、または今後利用する予定である」（21.0%）、「自動車の利用頻度を減らし、公共交通機関の利用を心がけている」（28.5%）については、他の項目に比べて低い傾向となっている。



アンケート調査報告
Ⅱ.アンケート結果
環境に配慮した行動について

取り組み状況	回答数(件)				合計
	実行している	たまに実行している	実行していない	無回答・無効回答	
道路や公園、河川などに、ごみ、吸殻、空き缶をポイ捨てしない	648	17	7	21	693
動物や植物をむやみに採ったり傷つけたりしない	577	63	27	26	693
ごみをきちんと分別し、できるだけリサイクルしている	571	92	8	22	693
過剰包装を断り、エコバッグを持参している	529	119	22	23	693
歯磨き、洗顔の時は水を出しっぱなしにしない	494	161	13	25	693
冷暖房は適正な温度に設定している	469	173	29	22	693
不要な照明やテレビをこまめに消すなど節電に心がけている	446	203	24	20	693
不要なアイドリングはしないようにしている	391	215	52	35	693
牛乳パック、食品用トレーはスーパー等の回収場所に出している	362	176	129	26	693
無リン洗剤の使用や油を流さないなど生活排水に気をつけている	356	226	86	25	693
省エネルギー型の家電製品を使用している	276	297	87	33	693
地域の清掃活動などのボランティア活動に参加している	255	192	221	25	693
再生紙などのリサイクル商品を購入している	249	348	63	33	693
使い捨ての商品はできるだけ買わないようにしている	210	367	86	30	693
近くの外出には、できるだけ徒歩や自転車を利用している	181	276	210	26	693
日用雑貨や台所用品などは、エコマークのついた商品を購入している	138	417	112	26	693
環境について学習し、意識の向上を図っている	127	345	195	26	693
生ごみは堆肥にしている	119	133	417	24	693
太陽エネルギー（太陽光発電、太陽熱利用）を利用している、または今後利用する予定である	94	51	517	31	693
地域での環境に関する行事（学習）に参加や協力をしている	81	238	347	27	693
家族や友人と環境問題について話し合っている	55	315	294	29	693
自動車の利用頻度を減らし、公共交通機関の利用を心がけている	53	145	465	30	693
その他	17	16	28	632	693

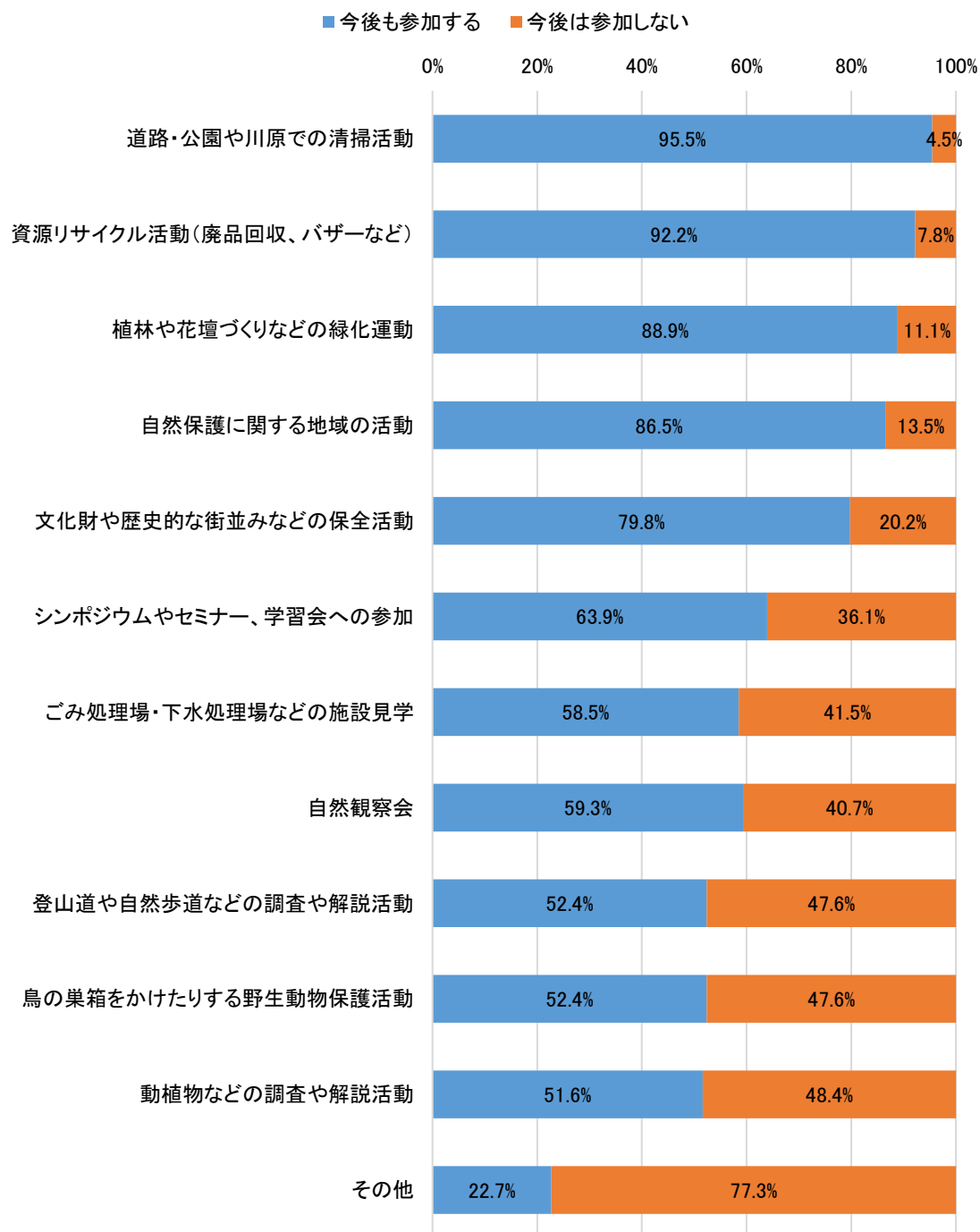
アンケート調査報告
 II.アンケート結果
 環境に配慮した行動について

取り組み状況	構成比 (%)				合計
	実行している	たまに実行している	実行していない	無回答・無効回答	
道路や公園、河川などに、ごみ、吸殻、空き缶をポイ捨てしない	93.5	2.5	1.0	3.0	100.0
動物や植物をむやみに採ったり傷つけたりしない	83.3	9.1	3.9	3.8	100.0
ごみをきちんと分別し、できるだけリサイクルしている	82.4	13.3	1.2	3.2	100.0
過剰包装を断り、エコバッグを持参している	76.3	17.2	3.2	3.3	100.0
歯磨き、洗顔の時は水を出しっぱなしにしない	71.3	23.2	1.9	3.6	100.0
冷暖房は適正な温度に設定している	67.7	25.0	4.2	3.2	100.0
不要な照明やテレビをこまめに消すなど節電に心がけている	64.4	29.3	3.5	2.9	100.0
不要なアイドリングはしないようにしている	56.4	31.0	7.5	5.1	100.0
牛乳パック、食品用トレーはスーパー等の回収場所に出している	52.2	25.4	18.6	3.8	100.0
無リン洗剤の使用や油を流さないなど生活排水に気をつけている	51.4	32.6	12.4	3.6	100.0
省エネルギー型の家電製品を使用している	39.8	42.9	12.6	4.8	100.0
地域の清掃活動などのボランティア活動に参加している	36.8	27.7	31.9	3.6	100.0
再生紙などのリサイクル商品を購入している	35.9	50.2	9.1	4.8	100.0
使い捨ての商品はできるだけ買わないようにしている	30.3	53.0	12.4	4.3	100.0
近くの外出には、できるだけ徒歩や自転車を利用している	26.1	39.8	30.3	3.8	100.0
日用雑貨や台所用品などは、エコマークのついた商品を購入している	19.9	60.2	16.2	3.8	100.0
環境について学習し、意識の向上を図っている	18.3	49.8	28.1	3.8	100.0
生ごみは堆肥にしている	17.2	19.2	60.2	3.5	100.0
太陽エネルギー（太陽光発電、太陽熱利用）を利用している、または今後利用する予定である	13.6	7.4	74.6	4.5	100.0
地域での環境に関する行事（学習）に参加や協力をしている	11.7	34.3	50.1	3.9	100.0
家族や友人と環境問題について話し合っている	7.9	45.5	42.4	4.2	100.0
自動車の利用頻度を減らし、公共交通機関の利用を心がけている	7.6	20.9	67.1	4.3	100.0
その他	2.5	2.3	4.0	91.2	100.0

3-3 環境保全活動への参加状況と参加意欲（単一回答）

【参加したことがある】

参加したことがある、今後も参加したい活動については、「道路、公園や川原での清掃活動」（95.5%）が最も多く、次いで、「資源リサイクル活動（廃品回収、バザーなど）」（92.2%）、「植林や花壇づくりなどの緑化運動」（88.9%）と続いている。

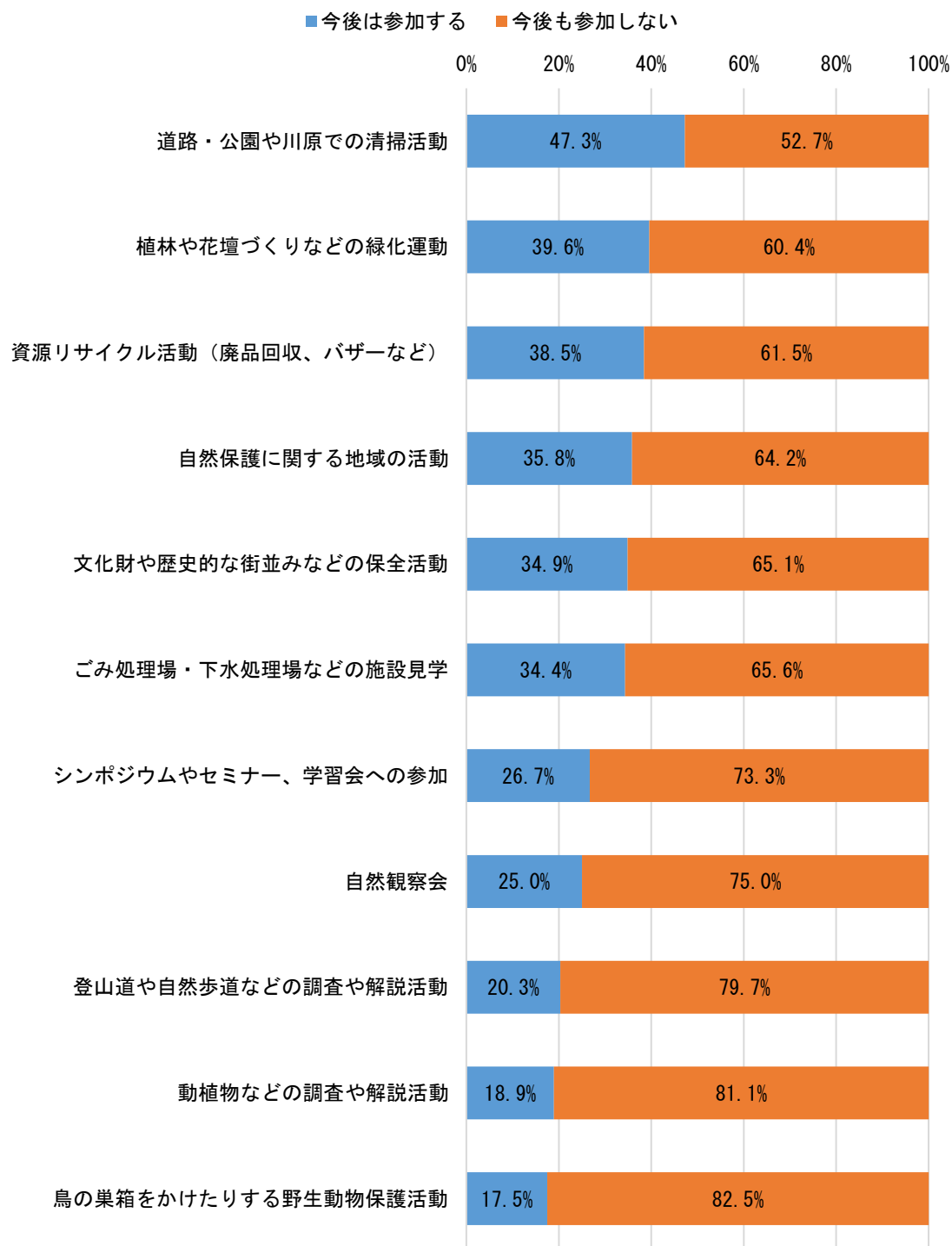


アンケート調査報告
 II. アンケート結果
 環境に配慮した行動について

参加状況と参加意欲	回答数(件)		
	今後も参加する	今後は参加しない	合計
道路・公園や川原での清掃活動	466	22	488
資源リサイクル活動(廃品回収、バザーなど)	367	31	398
植林や花壇づくりなどの緑化運動	256	32	288
自然保護に関する地域の活動	135	21	156
文化財や歴史的な街並みなどの保全活動	75	19	94
シンポジウムやセミナー、学習会への参加	62	35	97
ごみ処理場・下水処理場などの施設見学	86	61	147
自然観察会	35	24	59
登山道や自然歩道などの調査や解説活動	22	20	42
鳥の巣箱をかけたたりする野生動物保護活動	22	20	42
動植物などの調査や解説活動	16	15	31
その他	5	17	22
参加状況と参加意欲	構成比(%)		
	今後も参加する	今後は参加しない	合計
道路・公園や川原での清掃活動	95.5	4.5	100.0
資源リサイクル活動(廃品回収、バザーなど)	92.2	7.8	100.0
植林や花壇づくりなどの緑化運動	88.9	11.1	100.0
自然保護に関する地域の活動	86.5	13.5	100.0
文化財や歴史的な街並みなどの保全活動	79.8	20.2	100.0
シンポジウムやセミナー、学習会への参加	63.9	36.1	100.0
ごみ処理場・下水処理場などの施設見学	58.5	41.5	100.0
自然観察会	59.3	40.7	100.0
登山道や自然歩道などの調査や解説活動	52.4	47.6	100.0
鳥の巣箱をかけたたりする野生動物保護活動	52.4	47.6	100.0
動植物などの調査や解説活動	51.6	48.4	100.0
その他	22.7	77.3	100.0

【参加したことがない】

参加したことはないが、今後は参加したい活動については、「道路・公園や川原での清掃活動」(47.3%)が最も多く、次いで、「植林や花壇づくりなどの緑化運動」(39.6%)、「資源リサイクル活動(廃品回収、バザーなど)」(38.5%)と続いている。



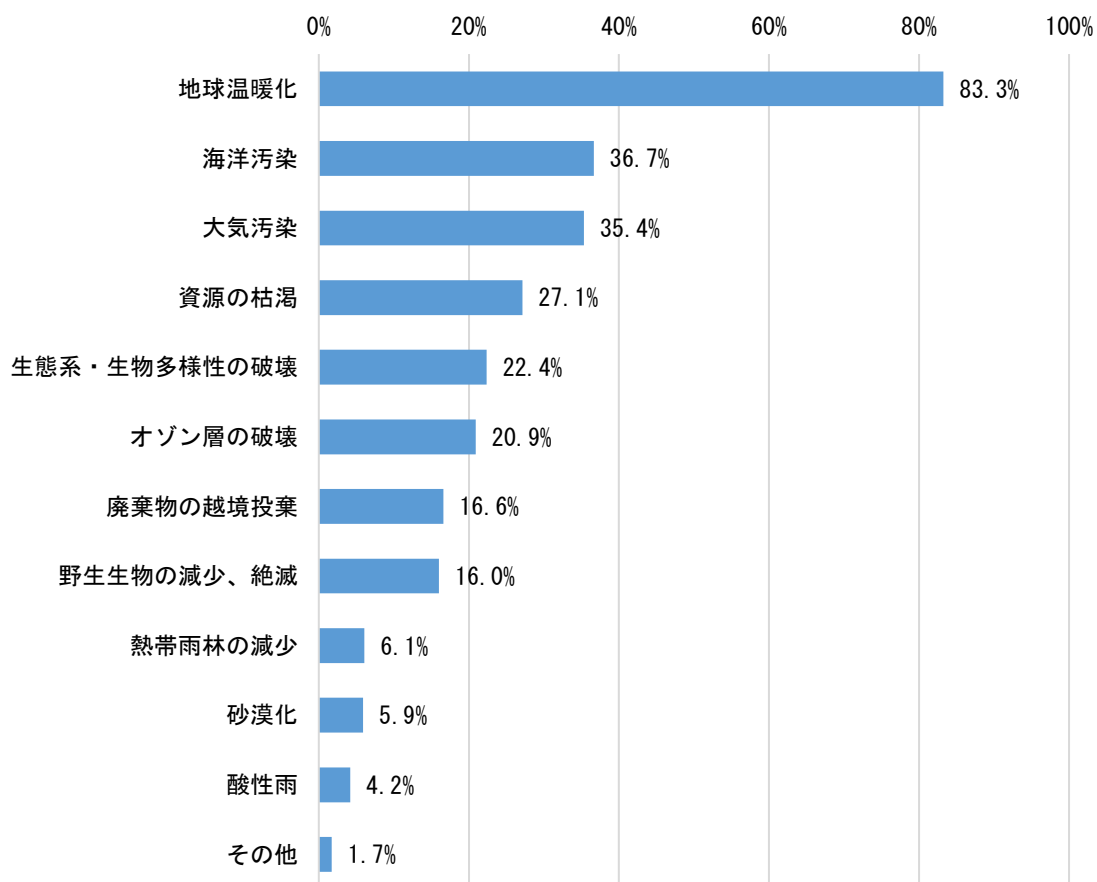
アンケート調査報告
Ⅱ.アンケート結果
環境に配慮した行動について

参加状況と参加意欲	回答数(件)		
	今後も参加する	今後は参加しない	合計
道路・公園や川原での清掃活動	78	87	165
植林や花壇づくりなどの緑化運動	139	212	351
資源リサイクル活動(廃品回収、バザーなど)	95	152	247
自然保護に関する地域の活動	172	308	480
文化財や歴史的な街並みなどの保全活動	188	351	539
ごみ処理場・下水処理場などの施設見学	168	321	489
シンポジウムやセミナー、学習会への参加	143	393	536
自然観察会	143	429	572
登山道や自然歩道などの調査や解説活動	120	471	591
動植物などの調査や解説活動	114	488	602
鳥の巣箱をかけたたりする野生動物保護活動	104	490	594
参加状況と参加意欲	構成比(%)		
	今後も参加する	今後は参加しない	合計
道路・公園や川原での清掃活動	47.3	52.7	100.0
植林や花壇づくりなどの緑化運動	39.6	60.4	100.0
資源リサイクル活動(廃品回収、バザーなど)	38.5	61.5	100.0
自然保護に関する地域の活動	35.8	64.2	100.0
文化財や歴史的な街並みなどの保全活動	34.9	65.1	100.0
ごみ処理場・下水処理場などの施設見学	34.4	65.6	100.0
シンポジウムやセミナー、学習会への参加	26.7	73.3	100.0
自然観察会	25.0	75.0	100.0
登山道や自然歩道などの調査や解説活動	20.3	79.7	100.0
動植物などの調査や解説活動	18.9	81.1	100.0
鳥の巣箱をかけたたりする野生動物保護活動	17.5	82.5	100.0

4.地球温暖化防止について

4-1 「地球全体の環境問題」について、関心のあるもの（複数回答）

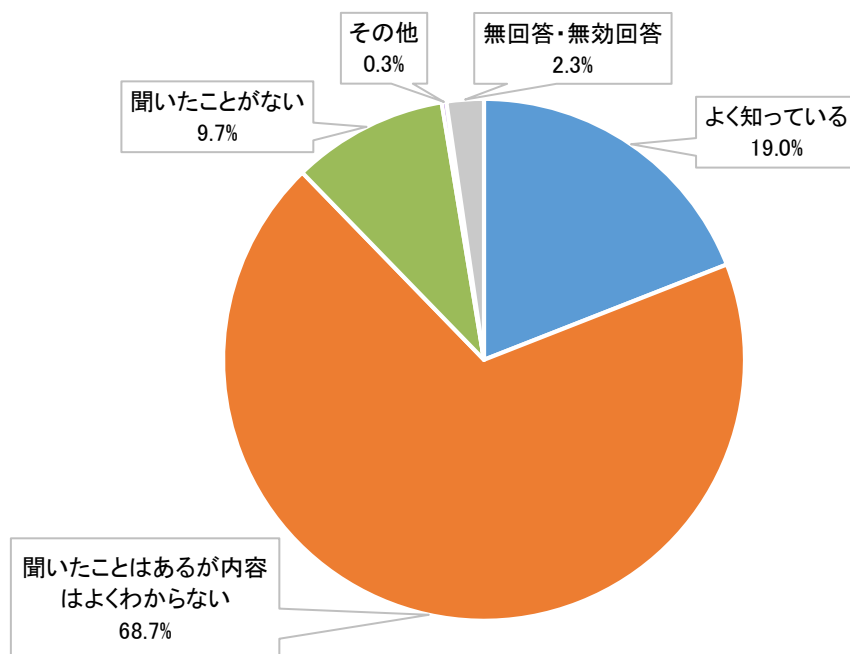
関心のある地球全体の環境問題については、「地球温暖化」(83.3%)が最も多く、次いで、「海洋汚染」(36.7%)、「大気汚染」(35.4%)と続いている。



関心のある環境問題	回答数 (件)	比率 (%)
地球温暖化	577	83.3
海洋汚染	254	36.7
大気汚染	245	35.4
資源の枯渇	188	27.1
生態系・生物多様性の破壊	155	22.4
オゾン層の破壊	145	20.9
廃棄物の越境投棄	115	16.6
野生生物の減少、絶滅	111	16.0
熱帯雨林の減少	42	6.1
砂漠化	41	5.9
酸性雨	29	4.2
その他	12	1.7
合計	1,914	—

4-2 「脱炭素社会」「パリ協定」の認知度（単一回答）

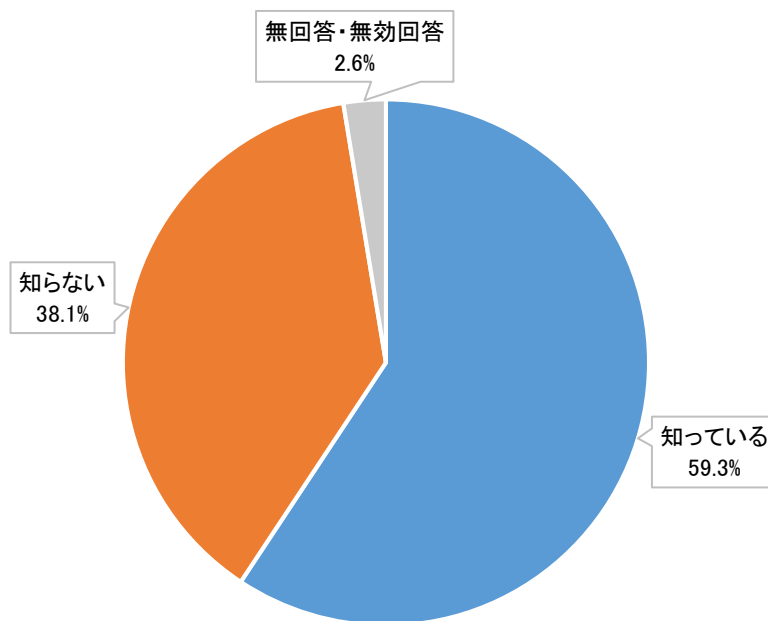
「脱炭素社会」や「パリ協定」の認知度については、「聞いたことはあるが内容はよくわからない」（68.7%）が最も多く、「よく知っている」（19.0%）と合わせると、87.7%となっており、「聞いたことがない」（9.7%）を78ポイント上回っている。



認知度	回答数（件）	構成比（%）
よく知っている	132	19.0
聞いたことはあるが内容はよくわからない	476	68.7
聞いたことがない	67	9.7
その他	2	0.3
無回答・無効回答	16	2.3
合計	693	100.0

4-3 政府のカーボンニュートラル実現目標の認知度（単一回答）

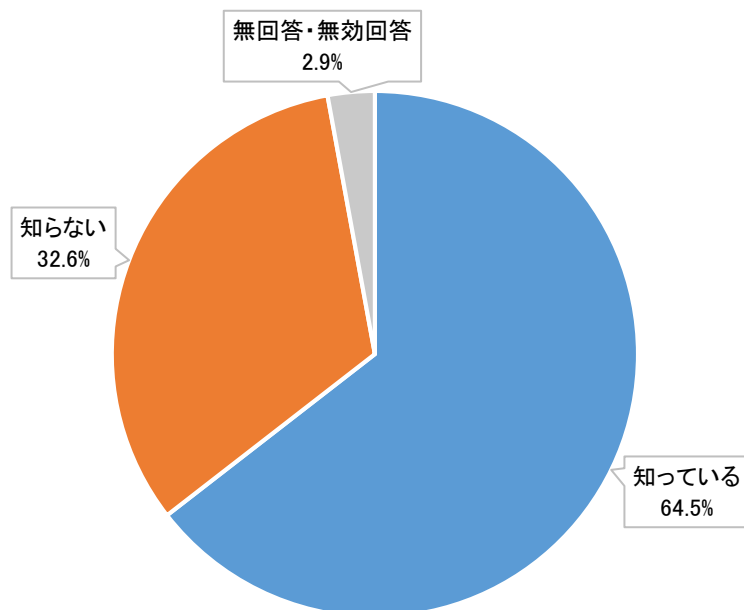
政府のカーボンニュートラル実現目標の認知度については、「知っている」（59.3%）が、「知らない」（38.1%）を約21ポイント上回っている。



認知度	回答数（件）	構成比（%）
知っている	411	59.3
知らない	264	38.1
無回答・無効回答	18	2.6
合計	693	100.0

4-4 持続可能な開発目標（SDGs）の認知度（単一回答）

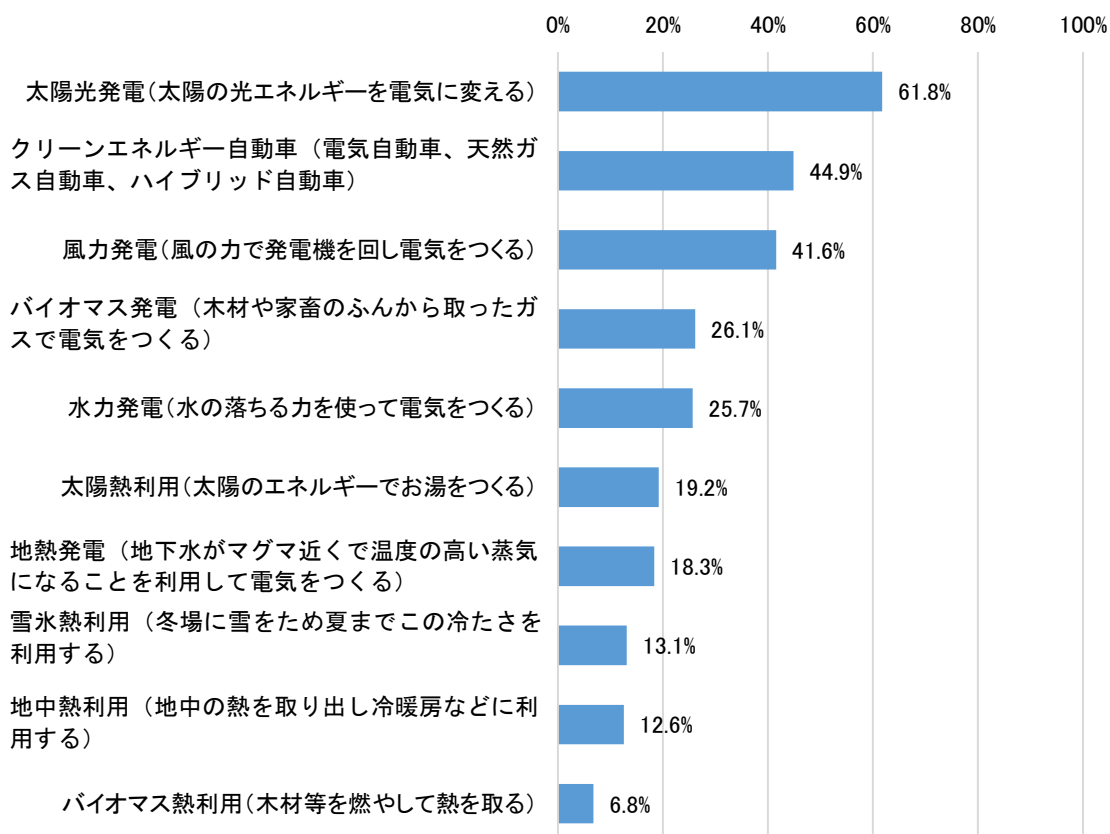
持続可能な開発目標（SDGs）の認知度については、「知っている」（64.5%）が、「知らない」（32.6%）を約32ポイント上回っている。



認知度	回答数 (件)	構成比 (%)
知っている	447	64.5
知らない	226	32.6
無回答・無効回答	20	2.9
合計	693	100.0

4-5 再生可能エネルギーの中でこれから特に取り組んだ方がよいと思うもの（複数回答）

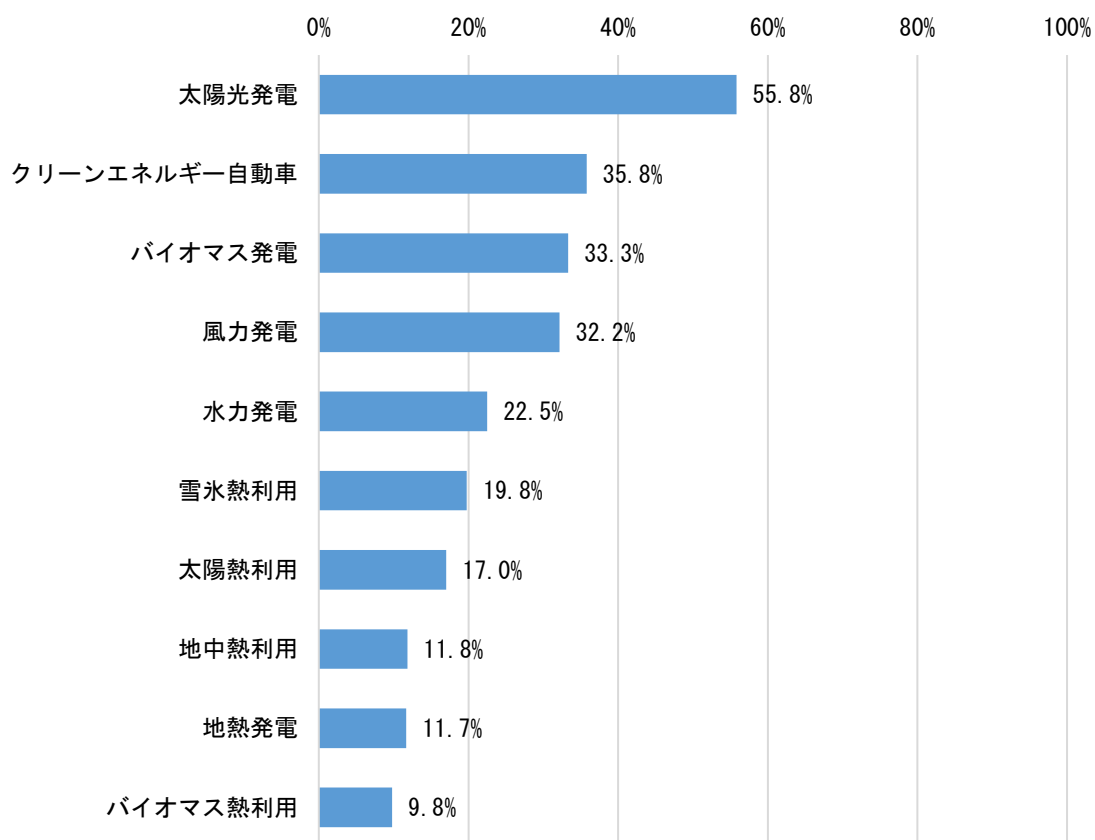
特に取り組んだ方がよいと思う再生可能エネルギーについては、「太陽光発電（太陽の光エネルギーを電気に変える）」（61.8%）が最も多く、次いで、「クリーンエネルギー自動車（電気自動車、天然ガス自動車、ハイブリッド自動車）」（44.9%）、「風力発電（風の力で発電機を回し電気をつくる）」（41.6%）と続いている。



特に取り組んだ方がよい再生可能エネルギー	回答数(件)	比率(%)
太陽光発電(太陽の光エネルギーを電気に変える)	428	61.8
クリーンエネルギー自動車(電気自動車、天然ガス自動車、ハイブリッド自動車)	311	44.9
風力発電(風の力で発電機を回し電気をつくる)	288	41.6
バイオマス発電(木材や家畜のふんから取ったガスで電気をつくる)	181	26.1
水力発電(水の落ちる力を使って電気をつくる)	178	25.7
太陽熱利用(太陽のエネルギーでお湯をつくる)	133	19.2
地熱発電(地下水がマグマ近くで温度の高い蒸気になることを利用して電気をつくる)	127	18.3
雪氷熱利用(冬場に雪をため夏までこの冷たさを利用する)	91	13.1
地中熱利用(地中の熱を取り出し冷暖房などに利用する)	87	12.6
バイオマス熱利用(木材等を燃やして熱を取る)	47	6.8
合計	1,871	-

4-6 花巻市が導入・拡大すべきだと思う再生可能エネルギーの種類（複数回答）

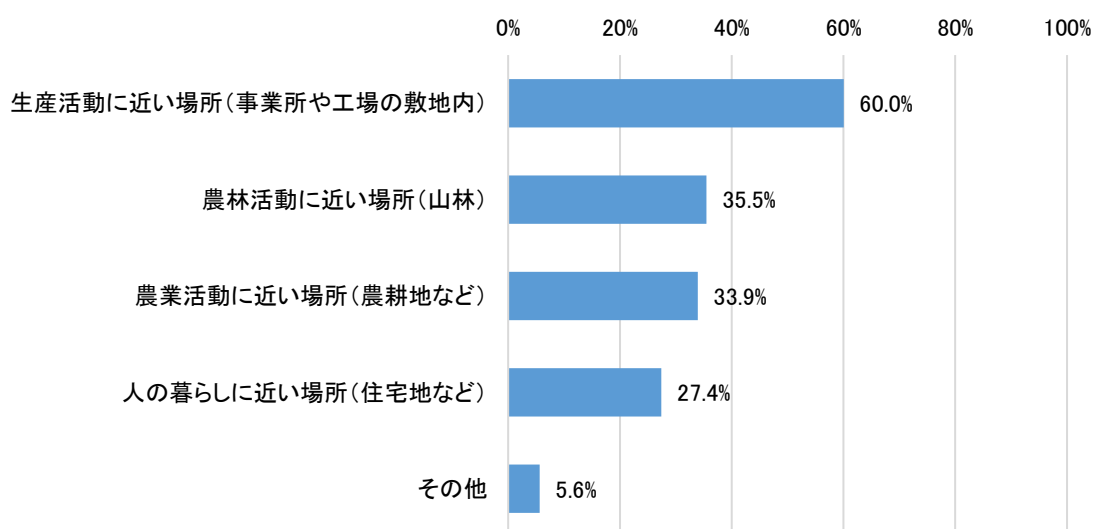
花巻市が導入・拡大すべきだと思う再生可能エネルギーの種類については、「太陽光発電」(55.8%) が最も多く、次いで、「クリーンエネルギー自動車」(35.8%)、「バイオマス発電」(33.3%) と続いている。



導入・拡大すべき再生可能エネルギー	回答数 (件)	比率 (%)
太陽光発電	387	55.8
クリーンエネルギー自動車	248	35.8
バイオマス発電	231	33.3
風力発電	223	32.2
水力発電	156	22.5
雪氷熱利用	137	19.8
太陽熱利用	118	17.0
地中熱利用	82	11.8
地熱発電	81	11.7
バイオマス熱利用	68	9.8
合計	1,731	-

4-7 規模の大きな再生可能エネルギー設備を設置する場所として望ましいところ
 (複数回答)

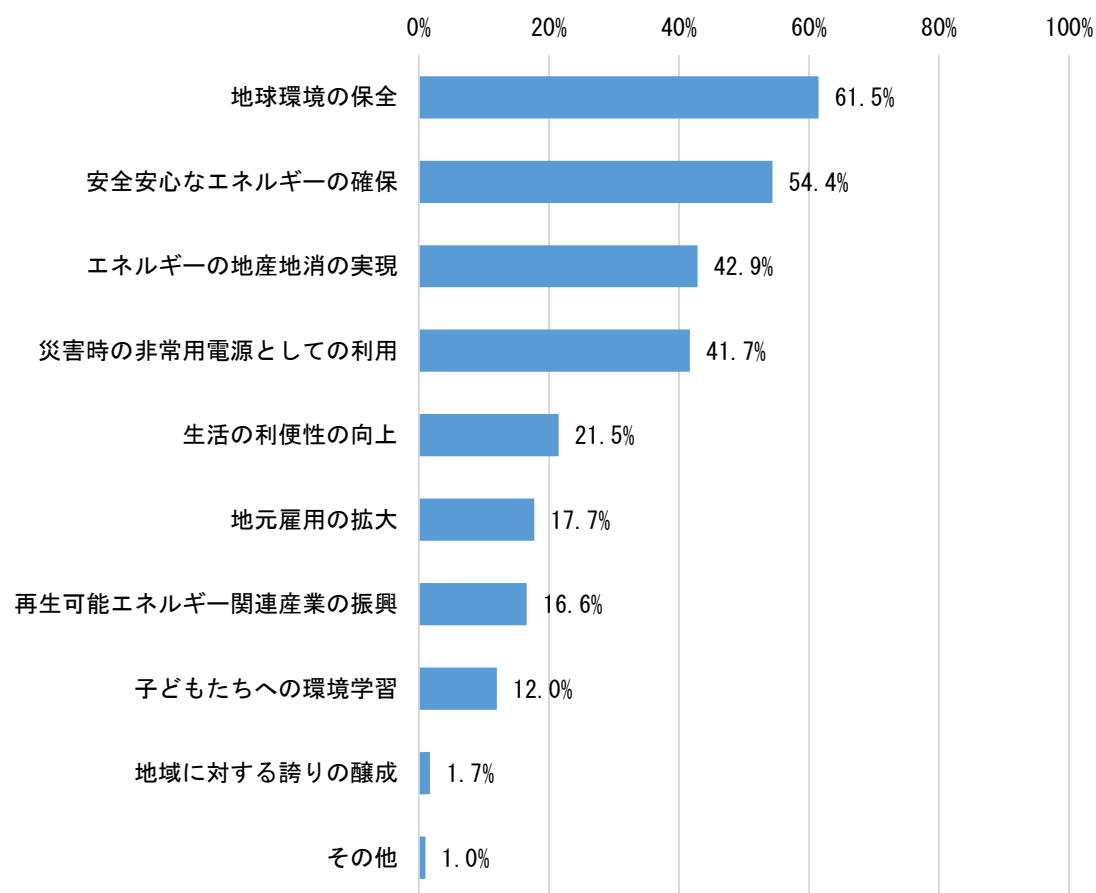
規模の大きな再生可能エネルギー設備を設置する場所として望ましいところについては、「生産活動に近い場所（事業所や工場の敷地内）」(60.0%)が最も多く、次いで、「農林活動に近い場所（山林）」(35.5%)、「農業活動に近い場所（農耕地など）」(33.9%)と続いている。



設置場所	回答数(件)	比率(%)
生産活動に近い場所(事業所や工場の敷地内)	416	60.0
農林活動に近い場所(山林)	246	35.5
農業活動に近い場所(農耕地など)	235	33.9
人の暮らしに近い場所(住宅地など)	190	27.4
その他	39	5.6
合計	1,126	-

4-8 再生可能エネルギーを導入することによって期待する効果（複数回答）

再生可能エネルギーを導入することによって期待する効果については、「地球環境の保全」（61.5%）が最も多く、次いで、「安全安心なエネルギーの確保」（54.4%）、「エネルギーの地産地消の実現」（42.9%）と続いている。



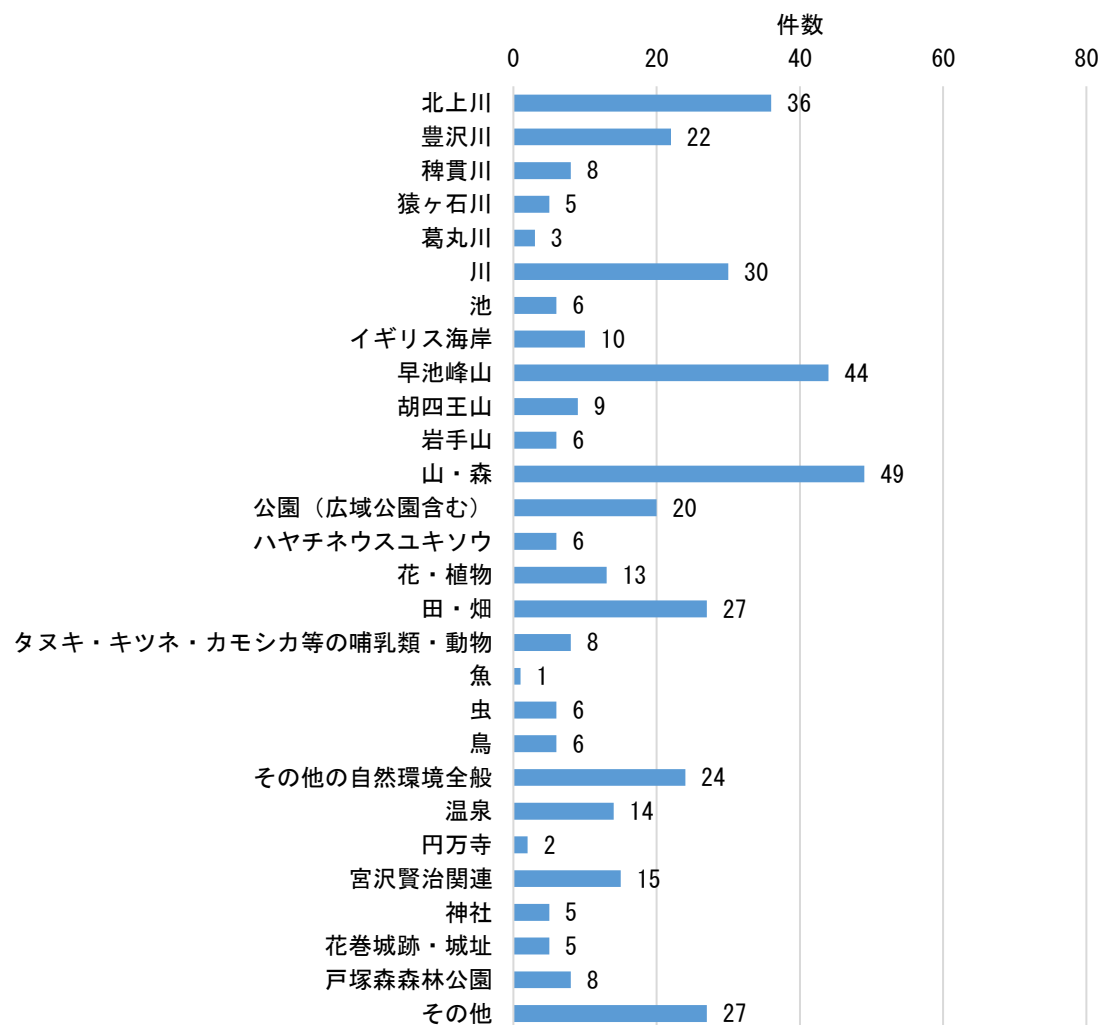
期待する効果	回答数（件）	比率（%）
地球環境の保全	426	61.5
安全安心なエネルギーの確保	377	54.4
エネルギーの地産地消の実現	297	42.9
災害時の非常用電源としての利用	289	41.7
生活の利便性の向上	149	21.5
地元雇用の拡大	123	17.7
再生可能エネルギー関連産業の振興	115	16.6
子どもたちへの環境学習	83	12.0
地域に対する誇りの醸成	12	1.7
その他	7	1.0
合計	1,878	-

5.望ましい環境像

5-1 大切にしたい、いつまでも残しておきたい自然や場所（名前と理由）

大切にしたい、いつまでも残しておきたい自然や場所については、北上川や早池峰山のほか、山・森、川が多くなっている。

前回調査と比較すると、上位3項目は変わらないが、「公園（広域公園）」の順位が上がっている。



【前回調査との比較】

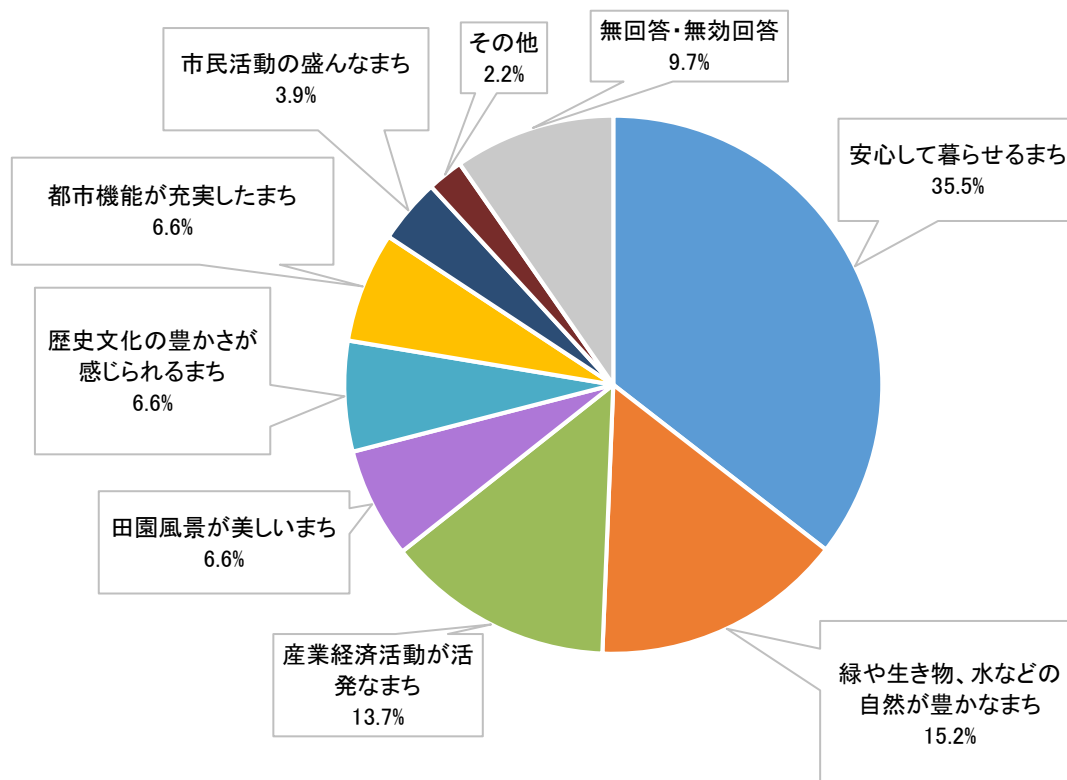
順位	今回調査	前回調査
1	早池峰山	早池峰山
2	北上川	北上川
3	豊沢川	豊沢川
4	公園（広域公園含む）	猿ヶ石川、イギリス海岸
5	イギリス海岸	

【回答者の1%（7人）が挙げた名称等】※抜粋。原文記載。

種類（名前）	主な理由（多い順）
北上川	<ul style="list-style-type: none"> • 花巻市にとって一番重要な水源であり、環境面、生活面ともになくなくてはならないと思う為 • 歴史的な意味でも重要だと思うから • 水がきれいな花巻市に住みたいから • 水と森の景観が心の安らぎを感じる
豊沢川	<ul style="list-style-type: none"> • あらゆる生きものの根本となるものだから（水道水、農業用水、魚類、水生生物など） • 30になった子供たちが幼い時河岸の浅瀬で遊べたきれいな水の川であって欲しく、今度は孫たちも遊ばせることができたらと思います • 花巻市民にとってのシンボルともいえる存在。これらが修復不能になる姿はまさに末期・・・
川	<ul style="list-style-type: none"> • 子供達にメダカやザリガニなど自然にふれてほしいから • 次世代へ身近な自然とふれあう環境を残したい。自然の大切さを教えたい • 魚釣りができる、したいから（やってほしいから） • 川の整備、洪水対策。農耕地などでの水の利用
早池峰山	<ul style="list-style-type: none"> • 花巻のほこりだから • 高山植物が豊富 • 登山して自然の雄大さに感動したから • 200種の高山植物が咲き日本、世界にも誇れる山だと思う • 国内でも最も古い地層を有し多様な植生が残っている
山・森	<ul style="list-style-type: none"> • 山林を残しておくことによって水が蓄えられると思う • 復旧するのに時間がかかる、できないから • 花巻の子どもたちが自然にたくさんふれ心豊かに育ててほしいと思うから • 都市機能の充実を図る際、土地の確保などの理由から自然環境の減少があったりすると思うが、年月をかけて形成されたものなので残すことも大事と思ったから。都市には少ない環境を考えたから • 自然を守ることは環境にもよくこれからの世代に良い地球を残せるのでは • 環境がよければ二酸化炭素の削減に通じ、人、動物、植物に優しい環境になる
公園	<ul style="list-style-type: none"> • 子どもがのびのび遊べる場所をこれからも残す必要があるから • 緑が多く散歩し安心する大好きな場所 • 子供も大人も癒される場所
田・畑	<ul style="list-style-type: none"> • 自然の保全と田園風景美 • 農業は大事だと思う • 稲を植えてからの色の変化がとてもきれいなので。コメがあれば食に困らず生活できる • 自然環境の循環サイクルの為。（アレルギー対策（未来の子どもたちの為） • 耕作者が減少して手入れしていないので
宮沢賢治関連	<ul style="list-style-type: none"> • 唯一の観光地、観光客にがっかりさせたくない • 全国的に知名度もあり地元の人間としても癒しの空間となっている • 岩手県を代表する偉人宮沢賢治のゆかりのある場所だから

5-2 10年後の花巻市はどのようにあるべきか（単一回答）

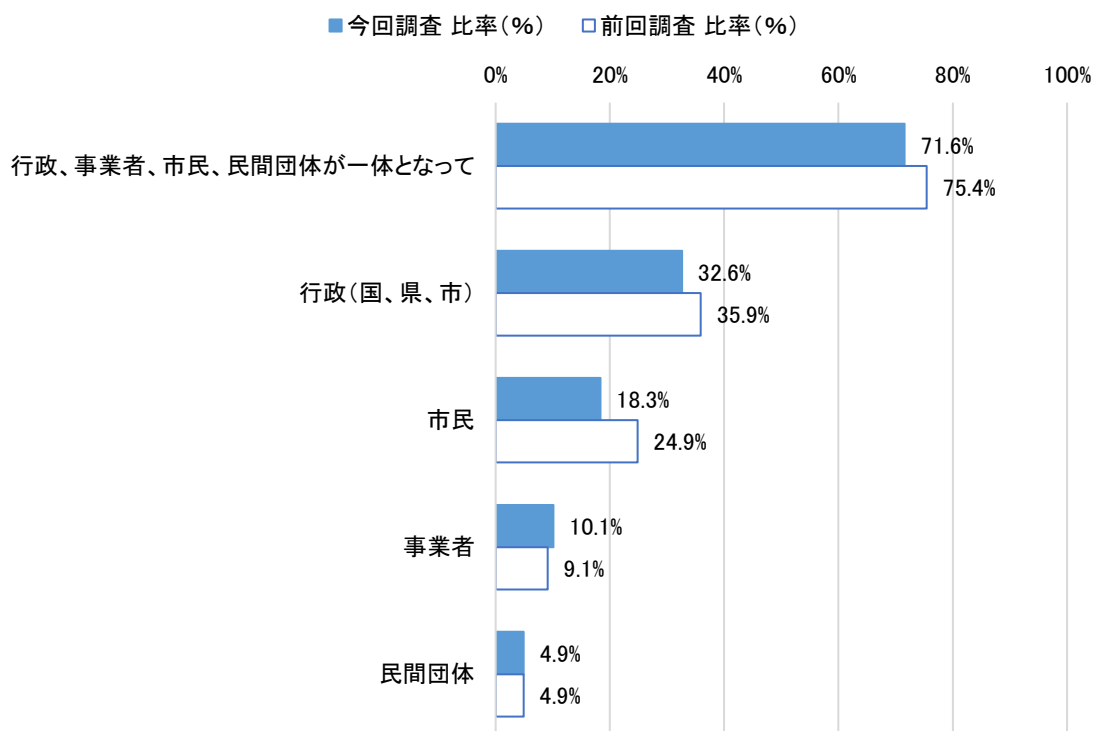
10年後の花巻市はどのようにあるべきかについては、「安心して暮らせるまち」（35.5%）が最も多く、次いで、「緑や生き物、水などの自然が豊かなまち」（15.2%）、「産業経済活動が活発なまち」（13.7%）と続いている。



10年後の花巻市	回答数（件）	構成比（%）
安心して暮らせるまち	246	35.5
緑や生き物、水などの自然が豊かなまち	105	15.2
産業経済活動が活発なまち	95	13.7
田園風景が美しいまち	46	6.6
歴史文化の豊かさが感じられるまち	46	6.6
都市機能が充実したまち	46	6.6
市民活動の盛んなまち	27	3.9
その他	15	2.2
無回答・無効回答	67	9.7
合計	693	100.0

5-3 よりよい環境を守り創造するための行動主体（複数回答）

よりよい環境を守り創造するための行動主体については、「行政、事業者、市民、民間団体が一体となって」（71.6%）が最も多く、次いで、「行政（国、県、市）」（32.6%）、「市民」（18.3%）と続いている。
 前回調査と比較すると、全体の順位に変わりはないが、上位3項目の割合が減少している。

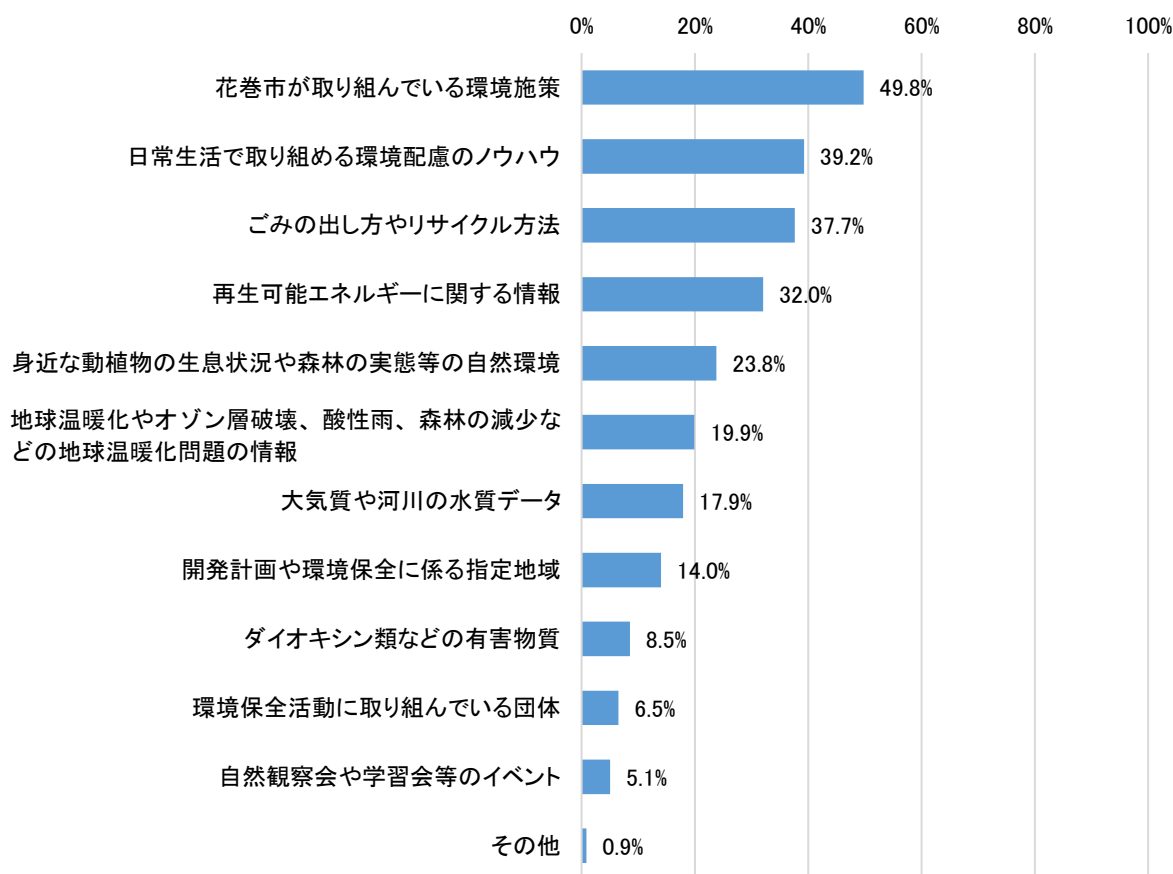


行動主体	回答数（件）	比率（%）	前回調査（%）
行政、事業者、市民、民間団体が一体となって	496	71.6	75.4
行政（国、県、市）	226	32.6	35.9
市民	127	18.3	24.9
事業者	70	10.1	9.1
民間団体	34	4.9	4.9
合計	953	-	-

6.行政に望む施策について

6-1 環境に関して知りたい情報（複数回答）

環境に関して知りたい情報については、「花巻市が取り組んでいる環境施策」（49.8%）が最も多く、次いで、「日常生活で取り組める環境配慮のノウハウ」（39.2%）、「ごみの出し方やリサイクル方法」（37.7%）と続いている。



知りたい情報	回答数（件）	比率（%）
花巻市が取り組んでいる環境施策	345	49.8
日常生活で取り組める環境配慮のノウハウ	272	39.2
ごみの出し方やリサイクル方法	261	37.7
再生可能エネルギーに関する情報	222	32.0
身近な動植物の生息状況や森林の実態等の自然環境	165	23.8
地球温暖化やオゾン層破壊、酸性雨、森林の減少などの地球温暖化問題の情報	138	19.9
大気質や河川の水質データ	124	17.9
開発計画や環境保全に係る指定地域	97	14.0
ダイオキシン類などの有害物質	59	8.5
環境保全活動に取り組んでいる団体	45	6.5
自然観察会や学習会等のイベント	35	5.1
その他	6	0.9
合計	1,769	-

【年代別】

環境に関して知りたい情報について年代別に区分すると、30歳代以外の年代では「花巻市が取り組んでいる環境施策」と回答した人が最も多くなっており、30歳代では「ごみの出し方やリサイクル方法」(22.2%)と回答した人が最も多くなっている。

- 花巻市が取り組んでいる環境施策
- 日常生活で取り組める環境配慮のノウハウ
- ごみの出し方やリサイクル方法
- 再生可能エネルギーに関する情報
- 身近な動植物の生息状況や森林の実態等の自然環境
- 地球温暖化やオゾン層破壊、酸性雨、森林の減少などの地球温暖化問題の情報
- 大気質や河川の水質データ
- 開発計画や環境保全に係る指定地域
- ダイオキシン類などの有害物質
- 環境保全活動に取り組んでいる団体
- 自然観察会や学習会等のイベント
- その他

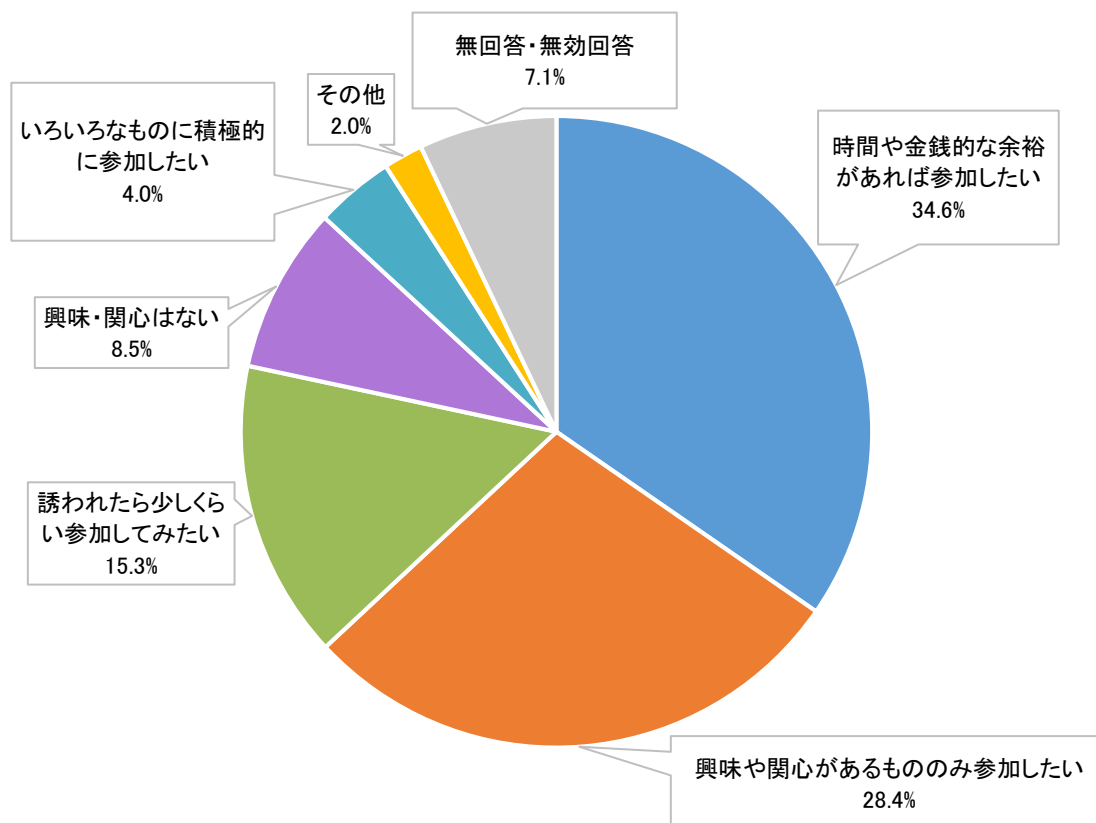


アンケート調査報告
 II.アンケート結果
 行政に望む施策について

年代別	花巻市が取り組んでいる環境施策	日常生活で取り組める環境配慮のノウハウ	ごみの出し方やリサイクル方法	再生可能エネルギーに関する情報	身近な動植物の生息状況や森林の実態等の自然環境	地球温暖化やオゾン層破壊、酸性雨、森林の減少などの地球温暖化問題の情報	大気質や河川の水質データ	開発計画や環境保全に係る指定地域	ダイオキシン類などの有害物質	環境保全活動に取り組んでいる団体	自然観察会や学習会等のイベント	その他	合計
	回答数（件）												
20歳代以下	22	18	20	9	15	8	7	9	2	4	2	0	116
30歳代	21	19	32	15	17	10	12	6	3	5	4	0	144
40歳代	49	28	38	40	25	15	18	15	5	6	2	2	243
50歳代	66	57	55	40	34	26	31	16	5	11	8	2	351
60歳代	94	81	61	64	39	36	24	27	18	9	12	1	466
70歳以上	89	67	52	51	34	40	31	23	26	9	7	1	430
年代別	構成比（％）												
20歳代以下	19.0	15.5	17.2	7.8	12.9	6.9	6.0	7.8	1.7	3.4	1.7	0.0	1000
30歳代	14.6	13.2	22.2	10.4	11.8	6.9	8.3	4.2	2.1	3.5	2.8	0.0	1000
40歳代	20.2	11.5	15.6	16.5	10.3	6.2	7.4	6.2	2.1	2.5	0.8	0.8	1000
50歳代	18.8	16.2	15.7	11.4	9.7	7.4	8.8	4.6	1.4	3.1	2.3	0.6	1000
60歳代	20.2	17.4	13.1	13.7	8.4	7.7	5.2	5.8	3.9	1.9	2.6	0.2	1000
70歳以上	20.7	15.6	12.1	11.9	7.9	9.3	7.2	5.3	6.0	2.1	1.6	0.2	1000

6-2 環境学習への参加意欲（単一回答）

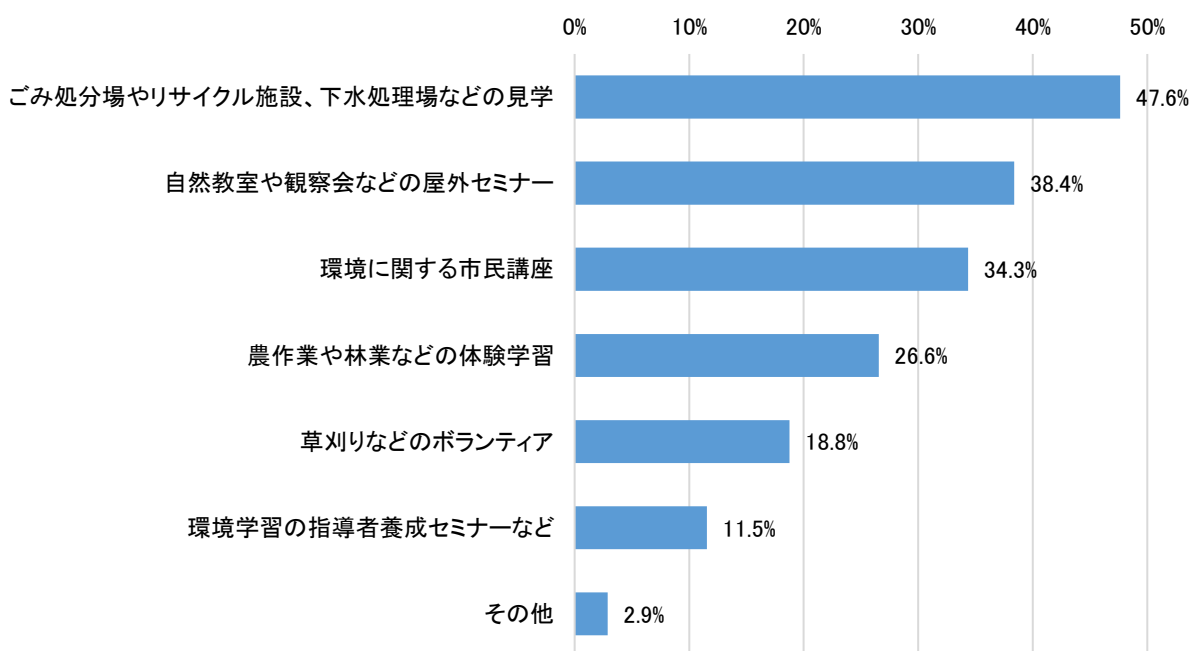
環境学習への参加意欲については、「時間や金銭的な余裕があれば参加したい」（34.6%）が最も多く、次いで、「興味や関心があるもののみ参加したい」（28.4%）、「誘われたら少しくらい参加してみたい」（15.3%）と続いている。



参加意欲	回答数（件）	構成比（%）
時間や金銭的な余裕があれば参加したい	240	34.6
興味や関心があるもののみ参加したい	197	28.4
誘われたら少しくらい参加してみたい	106	15.3
興味・関心はない	59	8.5
いろいろなものに積極的に参加したい	28	4.0
その他	14	2.0
無回答・無効回答	49	7.1
合計	693	100.0

6-3 参加したい、または興味がある環境学習（複数回答）

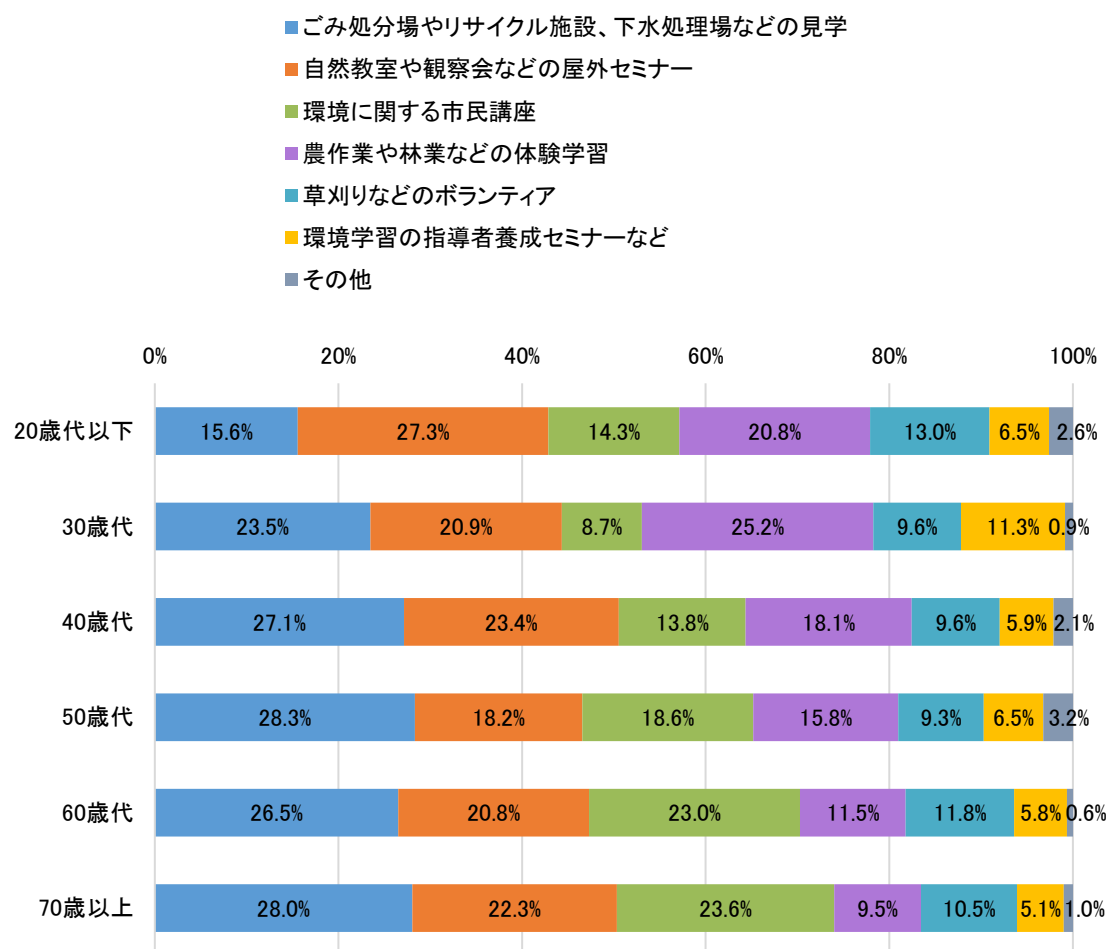
参加したい、または興味がある環境学習については、「ごみ処分場やリサイクル施設、下水処理場などの見学」(47.6%) が最も多く、次いで、「自然教室や観察会などの屋外セミナー」(38.4%)、「環境に関する市民講座」(34.3%) と続いている。



参加、または興味がある環境学習	回答数 (件)	比率 (%)
ごみ処分場やリサイクル施設、下水処理場などの見学	330	47.6
自然教室や観察会などの屋外セミナー	266	38.4
環境に関する市民講座	238	34.3
農作業や林業などの体験学習	184	26.6
草刈りなどのボランティア	130	18.8
環境学習の指導者養成セミナーなど	80	11.5
その他	20	2.9
合計	1,248	—

【年代別】

参加したい、または興味がある環境学習について年代別に区分すると、20歳代以下では「自然教室や観察会などの屋外セミナー」(27.3%)と回答した人が最も多く、30歳代では「農作業や林業などの体験学習」(25.2%)と回答した人が最も多くなっている。40歳代以上では、「ごみ処分場やリサイクル施設、下水処理場などの見学」と回答した人が最も多くなっている。



アンケート調査報告
 II.アンケート結果
 行政に望む施策について

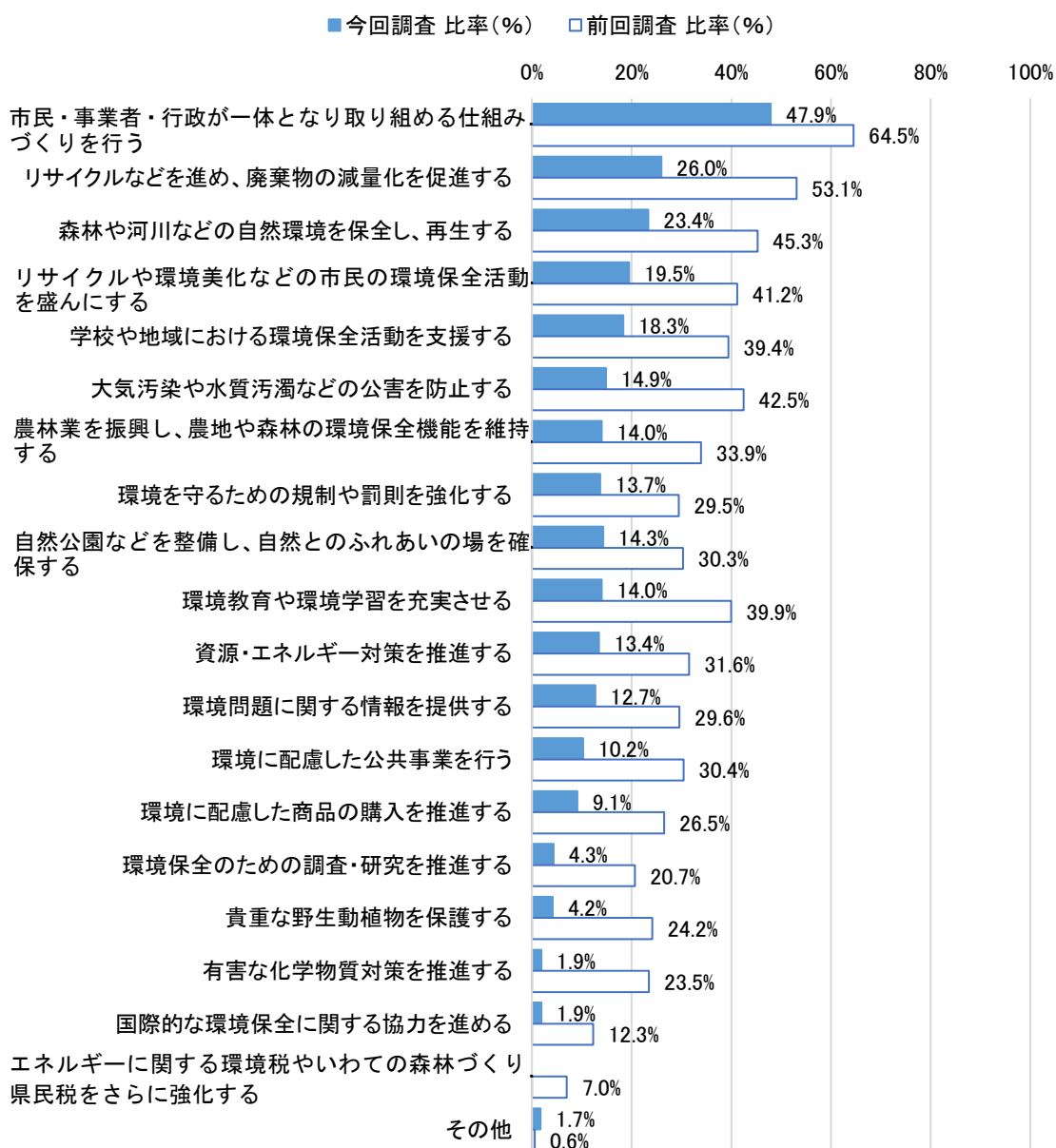
年代別	ごみ処分場やリサイクル施設、下水処理場などの見学	自然教室や観察会などの屋外セミナー	環境に関する市民講座	農作業や林業などの体験学習	草刈りなどのボランティア	環境学習の指導者養成セミナーなど	その他	合計
	回答数（件）							
20歳代以下	12	21	11	16	10	5	2	77
30歳代	27	24	10	29	11	13	1	115
40歳代	51	44	26	34	18	11	4	188
50歳代	70	45	46	39	23	16	8	247
60歳代	83	65	72	36	37	18	2	313
70歳以上	83	66	70	28	31	15	3	296
年代別	比率（％）							
20歳代以下	15.6	27.3	14.3	20.8	13.0	6.5	2.6	100.0
30歳代	23.5	20.9	8.7	25.2	9.6	11.3	0.9	100.0
40歳代	27.1	23.4	13.8	18.1	9.6	5.9	2.1	100.0
50歳代	28.3	18.2	18.6	15.8	9.3	6.5	3.2	100.0
60歳代	26.5	20.8	23.0	11.5	11.8	5.8	0.6	100.0
70歳以上	28.0	22.3	23.6	9.5	10.5	5.1	1.0	100.0

6-4 環境問題を解決するために必要な環境保全施策（複数回答）

環境問題を解決するために必要な環境保全施策については、「市民・事業者・行政が一体となり取り組める仕組みづくりを行う」（47.9%）が最も多く、次いで、「リサイクルなどを進め、廃棄物の減量化を促進する」（26.0%）、「森林や河川などの自然環境を保全し、再生する」（23.4%）と続いている。

前回調査と比較すると、特に「環境教育や環境学習を充実させる」の順位が大きく下がっている。

※前回調査では、あてはまるものをすべて回答する方式であったのに対し、今回調査では、選択数を3つまでに絞り、より重要な項目が明確になるようにした。これにより、全体的な回答比率が下がっている。



アンケート調査報告
Ⅱ.アンケート結果
行政に望む施策について

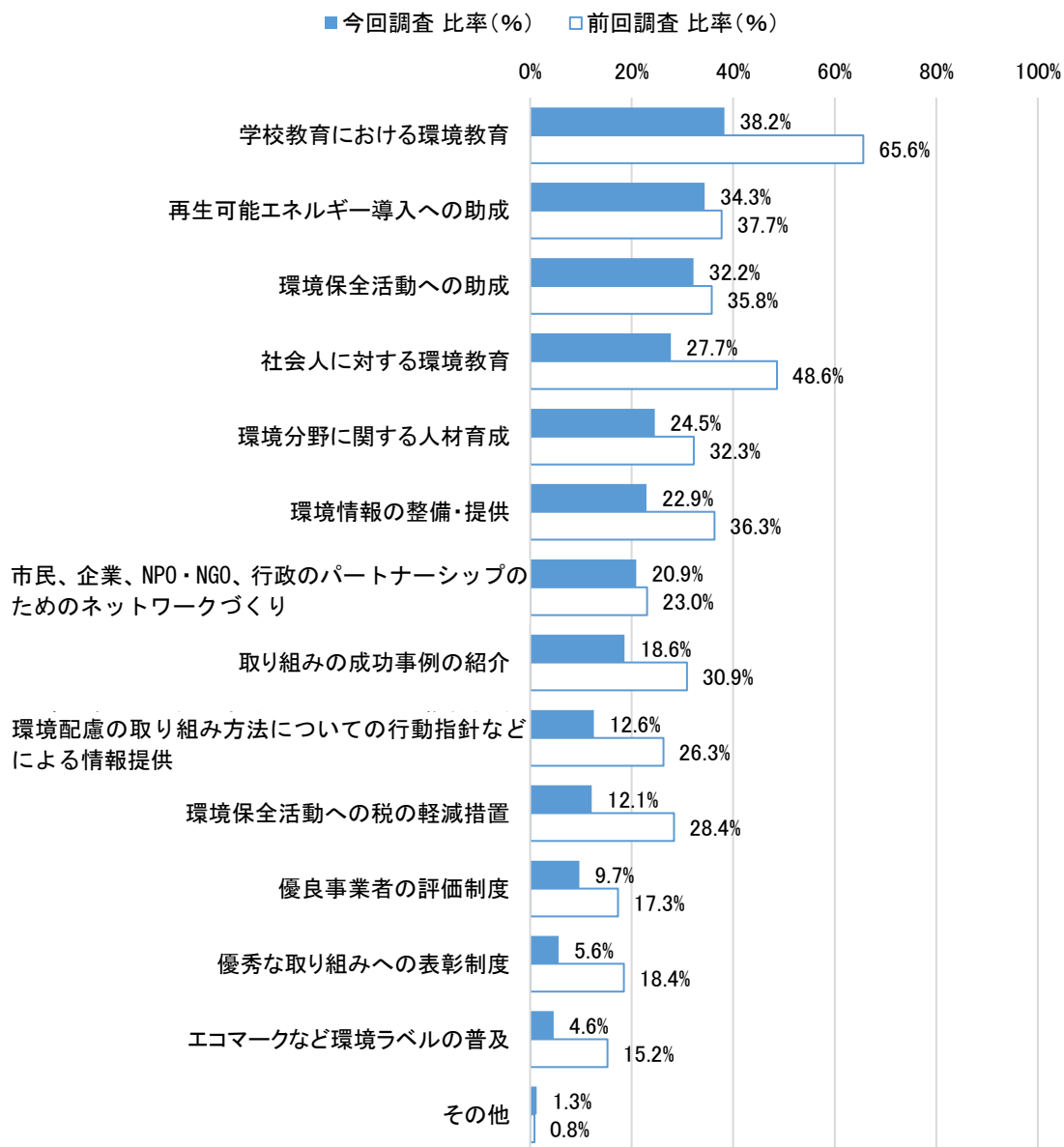
環境保全施策	回答数（件）	比率（％）	前回調査（％）
市民・事業者・行政が一体となり取り組める仕組みづくりを行う	332	47.9	64.5
リサイクルなどを進め、廃棄物の減量化を促進する	180	26.0	53.1
森林や河川などの自然環境を保全し、再生する	162	23.4	45.3
リサイクルや環境美化などの市民の環境保全活動を盛んにする	135	19.5	41.2
学校や地域における環境保全活動を支援する	127	18.3	39.4
大気汚染や水質汚濁などの公害を防止する	103	14.9	42.5
農林業を振興し、農地や森林の環境保全機能を維持する	97	14.0	33.9
環境を守るための規制や罰則を強化する	95	13.7	29.5
自然公園などを整備し、自然とのふれあいの場を確保する	99	14.3	30.3
環境教育や環境学習を充実させる	97	14.0	39.9
資源・エネルギー対策を推進する	93	13.4	31.6
環境問題に関する情報を提供する	88	12.7	29.6
環境に配慮した公共事業を行う	71	10.2	30.4
環境に配慮した商品の購入を推進する	63	9.1	26.5
環境保全のための調査・研究を推進する	30	4.3	20.7
貴重な野生動植物を保護する	29	4.2	24.2
有害な化学物質対策を推進する	13	1.9	23.5
国際的な環境保全に関する協力を進める	13	1.9	12.3
エネルギーに関する環境税やいわての森林づくり県民税を更に強化する	—	—	7.0
その他	12	1.7	0.6
合計	1,839	-	-

6-5 環境配慮への取り組みを推進するために行政に期待する支援（複数回答）

行政に期待する支援については、「学校教育における環境教育」（38.2%）が最も多く、次いで、「再生可能エネルギー導入への助成」（34.3%）、「環境保全活動への助成」（32.2%）と続いている。

前回調査と比較すると、「再生可能エネルギー導入への助成」、「環境保全活動への助成」の順位が上がり、「社会人に対する環境教育」、「環境情報の整備・提供」の順位が下がっている。

※前回調査では、あてはまるものをすべて回答する方式であったのに対し、今回調査では、選択数を3つまでに絞り、より重要な項目が明確になるようにした。これにより、全体的な回答比率が下がっている。



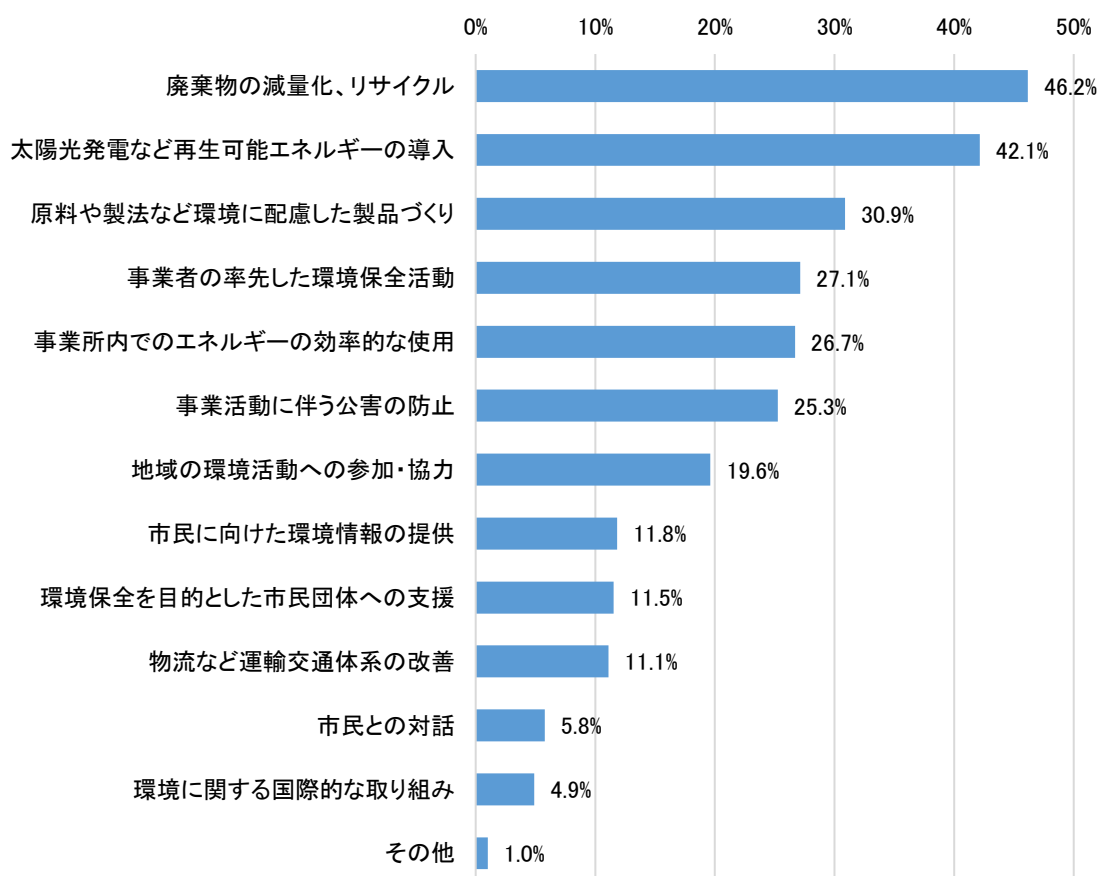
アンケート調査報告
 II. アンケート結果
 行政に望む施策について

期待する支援	回答数(件)	比率(%)	前回調査(%)
学校教育における環境教育	265	38.2	65.6
再生可能エネルギー導入への助成	238	34.3	37.7
環境保全活動への助成	223	32.2	35.8
社会人に対する環境教育	192	27.7	48.6
環境分野に関する人材育成	170	24.5	32.3
環境情報の整備・提供	159	22.9	36.3
市民、企業、NPO・NGO、行政のパートナーシップのためのネットワークづくり	145	20.9	23.0
取り組みの成功事例の紹介	129	18.6	30.9
環境保全活動への税の軽減措置	84	12.1	28.4
環境配慮の取り組み方法についての行動指針などによる情報提供	87	12.6	26.3
優良事業者の評価制度	67	9.7	17.3
優秀な取り組みへの表彰制度	39	5.6	18.4
エコマークなど環境ラベルの普及	32	4.6	15.2
その他	9	1.3	0.8
合計	1,839	-	-

7.事業者に望むこと

7-1 環境保全のために事業者に望むこと（複数回答）

環境保全のために事業者に望むことについては、「廃棄物の減量化、リサイクル」（46.2%）が最も多く、次いで、「太陽光発電など再生可能エネルギーの導入」（42.1%）、「原料や製法など環境に配慮した製品づくり」（30.9%）と続いている。



事業者に望むこと	回答数（件）	比率（%）
廃棄物の減量化、リサイクル	320	46.2
太陽光発電など再生可能エネルギーの導入	292	42.1
原料や製法など環境に配慮した製品づくり	214	30.9
事業者の率先した環境保全活動	188	27.1
事業所内でのエネルギーの効率的な使用	185	26.7
事業活動に伴う公害の防止	175	25.3
地域の環境活動への参加・協力	136	19.6
市民に向けた環境情報の提供	82	11.8
環境保全を目的とした市民団体への支援	80	11.5
物流など運輸交通体系の改善	77	11.1
市民との対話	40	5.8
環境に関する国際的な取り組み	34	4.9
その他	7	1.0
合計	1,830	-

環境に関する思いや環境に関する行政への意見（自由記載）

番号	内容（原文記載。誤字等は修正。）
1	昔は台川から流れる水が生活用水として年中自宅前の河川を流れていましたが現在、農業用（豊沢川水路）水路として利用、必要以外の時期には、一滴の水も流さず、藻にカビが生えて春先に異様な臭いがする。それが環境汚染！
2	太田油脂の工場からと思われる悪臭については、早急に解決されるように取り組みを進めて頂きたいです（夏場などは特に窓を開けることもできません）
3	たまに太田油脂のにおいがきついで臭いのもれない仕組みづくりに補助金等の援助を行ってほしい
4	太田油脂の臭いなんとかしてほしいです
5	事業者は雇用を生む反面事業により大気や水汚染を招く恐れもあるので率先してその対策に取り組んで欲しいと思います。数字ではなく、環境保全に取り組んだ結果を BeforeAfter の写真などで視視できる情報を発信していただけたら分りやすく市民こそってやる気が起きるのではないかと思います。汚れた川に魚影が見られるようになった云々です
6	太田油脂の悪臭をなんとかしろ！！
7	成島和紙に使用している水源を直してほしいし、これからも利用してほしい。小動物が昨年より多く、実ではなく葉を食べてしまい収穫につながらない。何かいい方法はないか
8	海はペットボトルのごみに悩んでいます。ジュース類の入れ物はアルミ、スチールとあります。製品の悪くならない入れ物に入れてペットボトルはやめてアルミかスチールどちらかを選んで製品の量も統一していけばゴミも出しやすくなると思います
9	先日花巻から遠野に向かう道中、朝日にかがやく川と黄金にかがやく稲穂がきれいでこの風景いいなと感じました。近代化と自然難しい調和ですがどちらも大切だなと感じました
10	農家の草焼きを一切禁止してほしいです。その為に市がボランティアで
11	熊やシカが増えている岩手では今以上に環境を保護したとしても人々が少ないただの山だけの街になりそうです
12	釜石線の遅れの原因である鹿との接触が多すぎる。野生動物を減らしてほしい
13	今まで生息していなかったニホンシカが多くなり自然が破壊されています。ただちにぼくめつしてほしい
14	野生動物が増えこまっている。天然記念物も
15	草や庭木整備に出るごみの処理の簡素化やごみの出し方、収集についてもっと工夫や移住民の意見を汲んだ取り組みが必要です
16	最近道路へのごみ捨てが多いように見えるのでなくすようにしてほしいです
17	私の住む地域はごみのポイ捨てが多くて困る。行政などで看板を作ってたてたりしているけどなくならない！早朝のカン拾いの次の日にカンが捨てられていることもありがっかりしている。なんとかならないものか！捨てるのは大人だと思う子供は少ないし歩いていないから！
18	田んぼや畑の周りの草刈りをしていると道路沿いにゴミが色々落ちています。年に3、4回草刈りをするのですが毎回です、その都度拾うようにしていますが大変です。どうしたらよいか、分かりません。ポイ捨てがなくなって動物が間違っってゴミを食べることが無くなれば良いと思います
19	最初の一步はゴミ出し（分別）
20	不法投棄されてもされた側への丸投げ感が強い。そもそも不法投棄がされなければいい話だがそうもいかない世の中だから、された側にもっと気を配ってほしい。不法投棄された側がごみを処分するのは納得いかない
21	公園がもっと増えたらいいです。花巻は子どもの遊び場が少ない気がします
22	公園や堤防の草刈りはぜひ定期的にしていただきたい。早池峰山の登山は人数制限をかけても良いのではないかと
23	カーボンニュートラルや SDGs 等の政策を進めるくらいなら植林や花壇づくりをして地域の緑化を進めた方が環境にも良く目に見える改善があると思います
24	政治関係の看板（野立看板）を設置する際は「設置者に設置場所の草刈り」をするよう指導してほしい
25	花巻温泉はバラ園で人気はあるがその他は花公園とするところはない。四季折々

番号	内容（原文記載。誤字等は修正。）
26	市営で行えるようなちょっと広々とした花公園と子供たちが遊べる公園（一体化）があれば良いなと思っています
27	身近に環境や自然を感じたり考えたりする施設の充実（キャンプ場、公園等）。利用することにより環境について考えるきっかけになると思う
28	公園や散歩道などの木の整備などを行っている方がいてくれました。きれいにしてくださいありがとうございます。とても気分が晴れやかになりました。令和6年～私は花巻市にいるかわかりませんが、きれいな花巻市が大好きです。今ある自然をできるだけたくさん残していただきたいです
29	太陽光発電など利用等整備する時により良い環境になるようにお願いします。自然は長い年月をかけてきずきあげられます。しかしそれを一度失うとその倍以上の年月がかかります。今、この空、水のおいしさこの自然が失うことがないように一人一人が感じることも大切だと思います
30	事業者であれ個人であれ環境保全の必要性を市の立場から指導してもらいたい。かつて計画した、新エネルギー及び省エネルギービジョンはどのようになったのですか？検証は終わっているのですか？検証もせず、このような調査を行っても意味なし。市自体、本気に取り組んでもらいたい。調査をしたという形で終わらないことを願っています
31	今後は太陽光パネルの老朽化に伴う処分等を考えて行ってほしい
32	リサイクル、分別等で例えば、洗浄しなければ焼却ごみ等分別する際に水を使うか焼却にするか葛藤がある。自動車も同じで電気自動車を中心とする流れがあるが実際にはその電気もすべてクリーンエネルギーで作られているわけではない。行政の明確な指針を示してほしい
33	電気自動車の受け入れ態勢が遅れている花巻市。今さら太陽エネルギーとリサイクルといっているのはダメです。（遅すぎる）各家庭に充電できる機械を設置させ（市の動きで）（無料）電気自動車、バスを全国一早い街にしてください！
34	太陽光発電などはどのくらい効果的なのか知りたいです。実際、機械が何年先まで持つものかも知りたいです。パネルや風力のブレードの材料は再生できるものなのでしょうか？結果、故障して使えなくなり膨大な廃棄物（ごみ）が残るのではないかと不安です
35	この頃山を切り開きメガソーラーの施設をつくっている場所が多いですが自然を破壊して再生可能エネルギーを作っても意味がないと思うので設置についての許可を慎重に考えてほしい。ダムがあると下流の川の水質が悪くなると思うのでこの先ダムを建設してほしくない
36	地球温暖化が進んでいるせいなのか、今年もたくさんの雨が降り災害となるところが増え、とても不安に思うこの頃です。地球温暖化が進まないよう情報が知りたいし自分達でもできることは協力していきたいと思う
37	大規模な太陽光発電は山野の自然を壊している。風力発電は騒音による人体健康被害があると言われている
38	太陽光発電は負の遺産にしかならないため建設に規制をかけてほしい（数十年後莫大な税金で撤去することになり緑化再生することになる）
39	再生可能エネルギー普及の為に太陽光発電や蓄電池購入への補助や導入住宅への減税など
40	地球温暖化等世界的にも大変な気候変動・・・それを考えたら現在不自由なく暮らせていると思います。それを後世へ引き継いでいけるならいいが変わらなきゃいけないなら「自分でもできることから」を一人一人自覚していかないといけないと思いました。考えるきっかけとなるアンケートでした
41	再生可能エネルギーを使ってロードヒーティングのある場所をもっと増やしてほしい。そうすれば冬の除雪作業が軽減されると思います
42	テレビで太陽光パネルの耐久期間が終了後の処分の事を話していた。総大なパネルのあの量はそれこそリサイクルできるのか？心配です
43	再生可能エネルギー太陽光発電の推進は賛同しますが休耕地、空地、自然破壊的な設置は規制してほしい
44	水車式水力発電。北上川の流れを利用。欧州では欧州内河川を利用して発電している所がある。廃校を利用しエネルギー関連機材製造企業の誘致
46	道路や街並みをとにかくきれいにしてほしい。花巻市はとにかく範囲が大きく大変なことも多いと思いますが、将来人口が減ることは確定なのでコンパクトに機能をまとめて、きれいな街づくりを目指して頂きたい。高齢者向けの施策より、若者のアイデアを活かした施策をお願い

番号	内容（原文記載。誤字等は修正。）
	します
47	特に花巻市に何も望んでない。望んでも実行してくれない。もっと花巻市に活気ある活動をしてほしい。環境も大事だろうが他にやることたくさんありますよね?!
48	花巻好きなので、もっと自然にも人にも動物にもやさしい町になってったらいいなーって思います!
49	花巻は歴史、文化のある町です。交通の便もよく第1次産業の農業、第3次産業の観光もあります。盛岡、北上のような町とはまた異なった環境の良い町づくりを望みます
50	自然環境関連ばかりが目立つアンケートだが教育、医療問題も改善してほしい。目先のエネルギーSDGsだけじゃない
51	空き家、崩れ落ちそうな廃墟になっている家、法的にむずかしいとは思いますが更地、リフォーム、きれいに整備できればきれいな街並みに。粗大ごみの不法投棄は厳しく取り締まり環境を守ってください
52	温泉以外あまり何もないと言われますが、これからもっともっと緑豊かな場所が求められると思います。これほどまでに温泉にも恵まれ湖の素晴らしい環境を最大限に生かしてほしいです。温泉といえば岩手県花巻市!!花巻市が大好きです
53	年配に優しい町、街作りをしていただきたい。バスも本数を減らすとか、タクシー等近い乗車時、顔にもろに出されることもなんなん?
54	景観と便利さと環境とは所によって相反するものかなと高速を通過してみても思いました
55	歴史文化の豊かさが感じられる町であってほしいと思います
56	公共交通機関を利用したいが駅が遠かったり、バスの本数が少ないことから気軽に利用することが難しい。子供が参加できる自然、農林業のイベント。子供の頃に楽しかったことは大人になっても覚えていて思うので・・・
57	地産地消を今こそ進めるべきだと思う。小麦、そばなどを使われていない田んぼを使用するなどして栽培。もちろん何年かかるかわかりませんが、農業したい人たちをサポートできる体制を作るのもあります。空き家をリフォームして貸すのもありかと思えます
58	花巻市は自然が豊かなゴミのないきれいな市であってほしいと思います
59	年々環境に対して考えるようになりました。花巻は自然がいっぱいで素敵な場所がいっぱいあります。そういった魅力をどんどん発信していきたいと思っています。花巻にしかできない街づくり。若者たちが戻ってきたいと思う街。どの年代の人たちも住みやすい環境も必要だと思います。新しい物ばかり作るのではなく、もともとある建物や場所を有効活用することも環境を守ることにつながるのではないかと思います
60	環境問題について危機意識はあるものの「聞いたことがある」「知っている」程度でいることを改めて感じました。花巻は歴史文化の豊かさと共に農業が美しい街になってほしいと願っています。後継者問題とか様々な課題はあると思いますが人の健康のために有機無農薬農業のモデルになるような花巻になってほしいです
61	岩手県そして花巻市は豊かな森林資源と農地、水源に恵まれておりそれらを活用したまちづくりを推進しサステナブルな食とエネルギー自給社会という世界的にも誇れる暮らしのデザインができる可能性を有しています。市民の健康と長寿にも、農・林業への参画ができるロシアのダーチャ的な施設を補助することで中山間地の農地と林の再生を画ってはいかがでしょうか
62	1人1人意識改善、低い入口からの成功体験をしてもらい積極的に取り組みたいと思える環境作り
63	花の町としてもっと花いっぱいに取り組んではどうでしょうか
64	環境問題に取り組むためには人口の減少等を防ぐまちの活性化が大前提にあるべきで一体的に取り組む必要があると思う
65	宅地の地権者のない空地の草や水路の環境の支援
66	花巻がイーハトーブを名乗るのであれば賢治さんが愛した自然、人、動物が共存し安心して暮らしていく事の出来る環境づくりに力を入れてもらいたいと切に思います
67	駅周辺や商店街などはもう少し明るくてもよいと思う。少し離れると街灯なども少なく危ない。公共交通機関の利用に関しても情報の発信が少ない(電車、バスの時刻検索などもひっきりなく)せっかく自然の多い場所なので自然を残す部分、都市として発展させる部分ともっとはっきりしてもよいと思います。空き家が多い?ように感じる
68	持て余している土地のある人、土地を探している人うまく土地を活用でいたらよいと思います

番号	内容（原文記載。誤字等は修正。）
	今後荒地の再生？ができれば活用出来たら嬉しい
69	まず、「自分の頭で考える」という事から始めるべき
70	このまま悪化していったらどうなるのか…という想像力を養っていけるよう情報発信して行ってほしい
71	自然を守るために必要な知識や危機感のない人が多く感じます。今後の人間の生活を守るために野生動物を守るためにどのようにして生きていけばよいかの一人一人の知識が重要だと思います
72	自然環境の改善は当たり前の世の中人間の考え方も改善する方向でお願い致します
73	皆が環境配慮についてもう少し関心を持つような取り組みや参加が必要。自然観察会のイベント等人数制限があるためなかなか参加できない
74	簡単に誰でも出来る事から始めるといいと思う。例えば夏場はアサガオやゴーヤなどの緑のカーテンで日射を遮るようにする→エアコンをあまり使わないなど
75	環境に関係することに対し何事にもよく考えて行動するべし！この先何事も活動していく上では諦めず行動してほしい。市民税を使うことになるのだから一生使えるものをやるべき上がかわれれば終わりではなく誰が上になっても行動に移せるものをやる。市民がやって良かったなあというもの・・・？
76	環境保全に個々で取り組むことができる具体的内容とその活動により保たれる成果をこまめに発信していただければ環境に関して多くの方の理解が深まるかと感じました。アンケートを通じて環境に関して自分の認識不足を感じ反省しました
77	自然環境は自分が生きていく所なので知らないふりは絶対できない問題です。身近なことからできることから自分の手でやっていく協力していく守っていく楽しく生活していきたいですね。気分良く維持管理の必要なもの大変なものは増やメ減を考える未来のため
78	今まではあまり環境に興味がなく、行政の取り組みに対しても何を行っているのか分からなかったがアンケートを回答していく中で市でどのような取り組みをしているか調べることができた。きっかけが少しでもあれば市民が環境に対して目を向け、自分たちの町をより良くしようと動きがあるかと思うがそのきっかけをどう作り出すがが難しいところ。まずは自分の周りから、環境についての話題作りにより活動についての興味を向けれるよう心がけようと感じた
79	環境問題は幼い頃からの体験や活動の積み重ねで自分達にも大切なことだと感じることができると思う。大人になっていきなり「理解」とはならないことも小さい頃から考えたり感じたりすることが大切と思う
80	現在、朝から晩の仕事時間となっていない市民も多いと思います。日曜日が必ずしも休みとならないこともあり堤防の草刈りなど女性で参加するのに大変な家庭もあります。あまり市民で部落でといわないで事業所とかにさせていただくよう考えてほしいです
81	最近では異常気象が多くその原因の一端に今まで積もってきた環境状況があると思う。これからの子どもたちや若い人がより良い環境で過ごせるよう、又、災害が起きてきた時は迅速な対応がなされるよう期待したいです
82	高齢者としてのアンケートは私にはこれから先の事ちょっと無理でした。それでもこれから先何年になる事でしょう分かりませんがもう少し道路の件ですが冬になりますと除雪で大変です。二人の高齢者にとってむずかしくなり大通りばかりじゃなく裏通りの除雪できるよう願いたいです。広い道路はよいとして裏通りは（家に入るまでが長いので大変です）
83	ロードヒーターの拡大、除雪の回数を増やす等冬でも安心して過ごせるようになればいいなと思います
84	路肩の雑草が1年通して気になる。小さな十字路など見通しが悪い（通学危険）・番外かもしれないませんが高速を良く使うのでインター（花巻は4箇所）の草が気になります。どうかか相手と話し合いをして市でも対策できないものか！？植栽している木々もぼうぼう、枯れた木もそのまま下草も一年中のび放題です。”花の花巻”と言っているのですから、入口ぐらい市の予算を使ってどうにかできないでしょうか。年2回ぐらい。市役所の周りだけでなく、・豊沢川の河川敷の草刈り（熊被害）・除草剤の使用制限
85	新花巻駅周辺の街灯の整備をしてほしい。子供が学校帰りに暗い道路を歩いてくるのがとても危ない
86	環境に関する関心は誰もが持っているが現生活の中で重要性に緊張感がなく身にしみて感じていないことから取り組みが大変だと思います。ご苦労様です

番号	内容（原文記載。誤字等は修正。）
87	住環境を整えることを環境対策の基本に据えていただきたいと思います。臭い町、騒音の町には閉口します。生活環境を守るための規制や罰則を厳しくし、住み良い花巻の実現を進めることがまずは第1歩であると思います
88	花巻市の環境に対する取組はへっぴり腰で本気度が感じられない。アンケートの取り組みも外部に委託せず市役所でやるべきである
89	少しレベルの高いアンケートで記入するのに3時間かかりました。1年半前に東京から引っ越してきたので花巻市の現状が分かりません。上田市長が高校の1年先輩なのが解ったのも1年前です。記入出来ない所もありました。星が丘や桜台きれいな街並みですがすごいところですが・・・花巻とは思いたくもありません。上町、鍛冶町などゴースタウンをなんとかしてもらいたいです。市役所のスタッフもレベルアップしてもらいたい。言っていることが何だかわからない。スタッフ同士で世間話をしているなどクレームをつけたい時もありました。いい市になる様がんばって下さい
90	環境を守りながら市民活動を盛んにしたり、市を発展させることは相反する面もあるので難しいことだと思いますが生まれ育った地元がどんどん廃れていく事は悲しいです
91	一斉清掃などで堤防の草刈りを行ったときかっさ草を前は市が片付けてくれたそうです。今の市長になったらそうだったか・・・刈った草そのままとどんどん下が見えなくなってしまうと拾いにくくなります。また、ある地区では国道かかっている地区の人がその道路わきの草刈りを依頼されたそうです。戸数も少なくほとんど高齢者で無理だと言っていました。単純に割り振られても困ると思います
92	里山や空き家の放置が環境を悪化させています。もっと積極的な行政活動をお願いします
93	環境保全活動は住民一人ひとりの意識をいかに高めていくかが大切だと思います。機会あるごとに住民に対する行政からの情報提供、活動への助成支援、さらには企業が率先して活動を取り組めるような税制面での支援が必要ではないでしょうか
94	市民参加とかボランティアに期待するのではなく行政が中心となって取り組むこと。考え方、行動のばらつきが大きすぎる
95	環境に関する意見ではありません。内容が難しく知らないことにこたえることができませんでした。花巻市がどのように取り組んでいるのかもわかりません
96	生ごみ処理機購入補助等の導入を検討お願いします
97	各家庭にある粗大ごみ等を毎年各場所に来て集めてくれたら助かります
98	防災と同じで、自助、共助、公助のサイクルを廻して連携図シート（大谷シート?!）を活用してプランニング（P・D・C・A）を展開してみても・・・です
99	環境（エネルギー）対応購入の際の補助金を充実してほしい
100	市道、県道の周りの雑草が伸び放題となっている。特に花巻南IC付近はひどい。地域住民も含め沿道の草取りをできるように市から働きかけてもらいたい
101	途中まで記入しましたがあまりにもくだらないので止めました。設問自体が一般市民には評価できるものではないし（現状の提示や他の自治体との比較もない）ここでどう答えたらどうなっていくかの見通しもあります。2,000人へのアンケート、一人当たり1,000円としたら200万円の予算です。こんな税金の無駄遣いが許されていいものかと思うし、それこそ紙の無駄使いではないか？質問紙による調査は信頼性と妥当性がある初めて成立するものですが、担当者は知っているのでしょうか？安易に業者に丸投げしていると思えないし業者も素人です。側溝のふたがコンクリートで高齢者には持ち上げるのが大変です。間伐材を圧縮して軽いドブ板もあるようです。このままでは誰も掃除をしなくなります。ゴミの分別は出来ない人もいます。業者との契約を見直して違うものがあったら回収するようにしてください。指定ゴミ袋にそのための費用が上乗せされてもいいです。ゴミが回収所に残されることで町内がもめたり立ち番をどうするかなど住みにくいです。何のために税金を払っているのか情けない！
102	コロナ禍により心の環境が一番乱れているように思います。温泉での食事などの利用に対しての助成を引き続き希望いたします
103	小山田駅前に横断歩道設置を要望したが市の回答は車が優先60km道路でという回答。今回も経済優先では
104	街として市民が自然のある外での安らぎを求めるような環境作りが良い。自然あふれるようなアクティビティーや市民の活動を参画、支援するような行政も良いと考える
105	もっともっと情報を発信してほしい。勉強不足で知らないことが多すぎる、もっと知りたい

番号	内容（原文記載。誤字等は修正。）
106	使用していない土地・空き家・農地など景観がこれから悪くなる様々な対策をしても現状市民との関わりがしっかりしていないといけない。高齢化、農業従事者が減る為、県、市で対応をお願いしたい。地域によっても人口や場所など様々な問題があるので柔軟に解決していただきたい
107	環境を守るためにも人口を増やす取組みも重要
108	快適で便利な生活を求めると環境や資源に影響があることはもちろんなので影響があるすべてを否定するのではなくバランスをとることが行政の重要なお仕事だろうと思っています。1人ひとりが考えるとまた千差万別の意見も出てきてとても大変だとは思いますが考えるための材料としてのさまざまな事実をなるべく色々な方法で「なぜ問題なのか」というそもその部分から発信してもらって思考停止する人が少しでもいなくなるよう願っています
109	家庭ごみ削減のため生ごみ処理機を購入しようと調べましたら（助成金があると聞いて）花巻市は助成制度がありませんでした。ぜひ助成制度の検討をお願いします
110	環境衛生にもう少しお金を使ってください
111	クリーンエネルギーにもっと大きく助成金の拡大
112	人家の屋根への太陽光発電設置に行政が補助金を出してほしい
113	役所の方が、外に出て各家庭で話を聞くことだと思います。細かいことでよく理解できないことがありますから
114	花巻市のごみ袋に「小」がほしいです。花巻市クリーンセンターや中部クリーンセンターの見学に行ってゴミへの意識が変わりました。両センターからの発信がもっとあれば良いと思います。松園墓園についてです。昨年頃からでしょうかお墓の花がずっと残っているようになりました。利用料の収支はどうなっているのか。花の始末やら除草（除草剤をまいているだけですね）やら利用者がやること、管理者（花巻市？）がやることを明確にしてもらいたい
115	行政のアリバイ作り、予算消化のための環境活動だとしたらむしろ何もしないでほしい
116	町の緑は貴重だが、街路樹や公園の樹木はジャマだ。虫が出る、落ち葉が困るなどとして「切ってしまう」という人もいる。大切な緑の資源を処分したらうるおいは薄れてしまうのではないか。選挙運動の名前や「お願い」連呼は騒音ではないか。なんとかならないものだろうか。改善を望む
117	年々環境問題は深刻な問題へと変わりつつある中で誰もがわかりやすく結果が見える、繋がる所から改善したり、提案することでもっと興味を持ちやすくなるのではないか。誰かはやるけど何をしてるのかわからないことは浸透もしないし継続にはつながらないと思う
118	人間目線ではなく自然目線で環境がバランスよく保たれたらと考えます
119	市民・団体・事業所との連携の構築で環境保全を！
120	二酸化炭素を出さない発電といいながら太陽光発電パネルの周り草だらけ、泥水の流出など住民の環境が逆におかされている等業者側の自覚が足りないところが見られる。地域でもごみの出し方等守らない大人が実に多いことか。その前に人間そのものの頭の中身を変えないと環境はよくなる。まず花巻市がそれをやってもらいたい
121	新しい居住地や公園も毎年草ぼうぼうになり結果人が寄り付かなくなる。立派な道路も草が歩道に倒れてきて歩きにくくなる場所も見られる。「環境」と一言で片づけられないほど広範囲な内容で苦労しました
122	大量消費、プラスチック製品等会社は利益を求め安く購入を求めすぎ。ゴミばかり増えてきた。ゴミの分別が分からないものも多くて電話したこともあります。製造業であり環境保全向けではない為心のバランスが崩れている。これでいいのかなとかなしくなる。SDGsの目標は2030年。何も見えてこない。近くと遠くの視点が必要。WWFのサポーターなので情報が入るがpetボトルを買ってしまう自分。未来とは鉄腕アトムが飛んでいたカプセルの中で生活するのではなく緑豊かな地球に戻すための生活と技術の進歩と望む。他の市町村、他県からの花巻の感想はあまり良くないです。変えましょう
123	路上、駐車場、公共の場所での喫煙に対する制限が無さすぎます。市独自の対策、条例などを考えるべき時期です！！喫煙しない私にとって大変な迷惑で怒りすら感じます。度を越した行為に対しては注意をするようにしていますが個人でできることには限界があるので行政が動いてほしい。医療費の削減にもつながることです
124	夜、悪臭がひどい時がある。何が原因か対策を取ってほしい。また、空き家問題も解決してほしい。側溝の掃除もしてほしい。四日町のT字路の信号機を時差式にほしい

番号	内容（原文記載。誤字等は修正。）
125	市内でまだ悪臭で車の窓を開けて走れない所が何カ所かあります。花巻の名前が恥ずかしく感じる。なんとかできないものでしょうか？
126	原発反対。便利な世の中になって人は汗することをいやがる。電気を節電するためには24時間営業とかは、いらぬ。（電気を使いすぎる）。廃墟となった建物や空き家など早く撤去してきれいに整理する。森林（山）の手入れ、荒れた農地とかの整備
127	子供達やお年寄り住んでる人たちすべての方々のごみを減らしたり道路等に捨てない。通勤途中によくごみを捨ててるのを見るとがっかりします。花巻ではありませんが木を伐採してその土地を平らにして駐車場にしてる所を見ると自然がなくなっていくのは悲しいですね。動物たちが住める場所を減らさないでほしいです
128	街路灯（防犯灯）のLED化と太陽光発電での点灯がよいと思う。スーパーでの買い物時トレーの容器が多い。トレーに貼り付けているラベルが温めないと剥がれない。接着剤の改善が必要と思う。（リサイクルのためにも必要と思われる）
129	市の環境活動を何を実行しているのか解らない。アンケートを取るのだから何かは具体化して実施した前後の結果を見たい
130	申し訳ありませんが、花巻市の環境政策で「すぐ、頭に浮かぶものがありません」積極的な市民へのアピールが必要なのでは？！
131	米が余っているなら他の作物（小麦等）を大いに推奨すべきでは（環境に関係ないネ）
132	活性する花巻市を望みます
133	アンケートが少し長い。質問内容が難しい、もう少し分りやすくしてほしい
134	男女（区別なく）生活できる環境
135	結局実行する人に予算が付くのか。人の良心やボランティア精神だけでは破綻するだけである。どんな利益があるのか提示するのが先決ではないか？環境を守るためのヒト、モノ、カネがそもそも足りているのか？
136	今回のアンケート意識調査を見て何にも考えずにいたように思いましたが考えるチャンスを頂きました。水がおいしいコメがおいしいと思っていましたが酒造りの町で酒造会社がなくなり残っている酒造会社が一つだけ。これもとても不思議です。事業を取り組んでもすべて中途半端になっているように思います
137	今回のこの調査の目的が良くわからなかった。調査項目が多すぎてアンケートの途中で飽きてしまった。※紙資源を無駄にしている。もっと別な方法で今の時代だったら調査することができないのではないか
138	環境の定義があいまいである。「状況」ではだめか？わかりやすい用語で分かりやすく説明、展開していく工夫が必要ではないか。状況でもなく「住みやすい街」でもいいかな
139	このアンケートを紙ではなくネットでできるようにしてほしい
140	環境の問題は範囲が広いのでテーマで絞った方がアンケートの解答しやすい
141	このアンケートの趣旨が不明。次の都市計画に役立てるとあるが具体的ではないので意味を感じない。加えて委託先が域外の企業なので不信感しかない。残念です
142	環境とは関係ありませんが無作為に一応は抽出したでしょうが年齢とか一応考えて抽出して下さい。何度も抽出されるのは無作為でしょうか。老人より！！
143	アンケートにしては設問数が多く途中で疲れてきたため、回答するのが正直イヤになりました。もう少し設問を絞り込んではいかがでしょう
144	花巻市の行っている「一斉清掃」に毎回参加してる者です。私有地を持ちながら、草刈りの管理をせず、町内に迷惑をかけている人がおり困っています。市からも注意してもらったが、その年だけ草刈りをし、次の年からやらない方がいる。自分の土地の管理モラルができていない高齢者がけっこういるようだ。

Ⅲ.まとめ

(1) 地球の環境について

花巻市が取り組んでいる環境施策については、多くの項目で「満足」「やや満足」を合わせて60%を超えているものの、ごみ減量・資源化の「不法投棄を許さない」、温暖化対策の「再生可能エネルギーの導入推進」、生活環境の「悪臭防止対策」などの満足度が低くなっている。これらについては、いずれも重要度が高いと回答した割合が多い項目となっており、具体的施策の展開と合わせて環境教育等についても、引き続き重点的に取り組んでいく必要がある。

身の回りの環境については、全ての項目で「変わらない」と回答した人が最も多くなっているが、「里山や田畑、沼地などの身近な自然」、「森林などの開発による自然の減少」、「農地や山林の荒廃」、「在来種の動植物の生息状況」、「ブラックバスなどの外来種の動植物の生息状況」については、「悪くなった」「やや悪くなった」と回答した人の割合が「良くなった」「やや良くなった」と回答した人の割合を上回っている。

快適で住みよい環境のために大切な要素については、「大気汚染や悪臭のない空気」が最も多く、「川、池、湖の水のきれいさ」、「ゆとりある歩道や道路」、「自然景観の美しさ」と続いている。これら上位4項目は、前回調査と同様の結果となっている。

身の回りにある「良い環境」のイメージとしては「豊かな緑・自然」が多く、「悪い環境」のイメージとしては「ごみの散乱・不法投棄」が多くなっている。

(2) 環境に配慮した行動について

環境に関する情報の入手方法については、「テレビ・ラジオ」や「新聞・雑誌」が多くなっており、前回調査と比較すると、「インターネット」や「家族や友人・知人」が特に増加している。年代別でみると、「インターネット」は年代が低いほど多く、「環境保護団体」や「ボランティア活動など」は年代が高いほど多いといった傾向がみられる。

環境に配慮した行動については、「道路や公園、河川などに、ごみ、吸殻、空き缶をポイ捨てしない」、「動植物をむやみに採ったり傷つけたりしない」、「ごみをきちんと分別し、できるだけリサイクルしている」を「実行している」「たまに実行している」と回答した人が、いずれも95%を超えている。一方で、「自動車の利用頻度を減らし、公共交通機関の利用を心がけている」、「太陽エネルギーを利用している、利用予定である」、「生ごみは堆肥にしている」が低くなっており、公共交通機関の利便性や設備の導入コストが課題となっているものと考えられる。

環境保全活動については、「参加したことがあり、今後も参加したい」、「参加したことはないが、今後は参加したい」とともに、「道路・公園や川原での清掃活動」と回答した人が最も多くなっている。また、これまでの参加経験の有無にかかわらず、今後参加したい活動の順位はおおむね同じ傾向となっている。

(3) 地球温暖化防止について

関心のある地球全体の環境問題については、「地球温暖化」と回答した人が約83%と最も多く、「脱炭素社会」や「パリ協定」、「政府のカーボンニュートラル実現目標」、「SDGs」の認知度についても、おおむね高い傾向となっている。

特に取り組んだ方がよい再生可能エネルギーについては、「太陽光発電」、「クリーンエネルギー自動車」、「風力発電」の順に多く、花巻市が導入・拡大すべきだと思う再生可能エネルギーについては、「太陽光発電」、「クリーンエネルギー自動車」、「バイオマス発電」の順になっている。

規模の大きな再生可能エネルギー設備の設置に望ましい場所については、「生産活動に近い場所」が最も多く、再生可能エネルギー導入により期待できる効果については、「地球環境の保全」、「安全安心なエネルギーの確保」、「エネルギーの地産地消の実現」、「災害時の非常用電源としての利用」の順となっている。

(4) 望ましい環境像について

大切にしたい自然や場所については、「北上川」や「早池峰山」等の「山・森、川」が多くなっており、前回調査と同様の結果となっている。

10年後の花巻市の環境については、「安心して暮らせるまち」が最も多く、「緑や生き物、水などの自然が豊かなまち」、「産業経済活動が活発なまち」の順となっている。

よりよい環境を守り創造するための行動主体については、「行政、事業者、市民、民間団体が一体となること」が最も多くなっており、前回調査と同様の結果となっている。

(5) 行政に望む施策について

環境に関して知りたい情報については、「花巻市が取り組んでいる環境施策」、「日常生活で取り組める環境配慮のノウハウ」、「ごみの出し方やリサイクル方法」が多く、年代別にみると、30歳代以外では「花巻市が取り組んでいる環境施策」、30歳代では「ごみの出し方やリサイクル方法」と回答した人が最も多くなっている。

環境学習については、「時間や金銭的な余裕があれば参加したい」、「興味や関心があるもののみ参加したい」と回答した人が多くなっている。参加したい、または興味がある環境学習については、「ごみ処分場やリサイクル施設、下水処理場などの見学」、「自然教室や観察会などの屋外セミナー」が多く、年代別にみると、20歳代以下では「自然教室や観察会などの屋外セミナー」、30歳代では「農作業や林業などの体験学習」、40歳代以上では「ごみ処分場やリサイクル施設、下水処理場などの見学」が多くなっている。

環境問題を解決するために必要な環境保全施策については、「市民・事業者・行政が一体となり取り組める仕組みづくりを行う」が最も多く、「リサイクルなどを進め、廃棄物の減量化を促進する」、「森林や河川などの自然環境を保全し、再生する」、「リサイクルや環境美化などの市民の環境保全活動を盛んにする」と続いており、これら上位4項目は前回調査と

同様となっているが、「大気汚染や水質汚濁などの公害を防止する」、「環境教育や環境学習を充実させる」の順位が下がっている。

環境配慮への取り組みを推進するために行政に期待する支援については、前回調査と同様に「学校教育における環境教育」が最も多くなっており、「再生可能エネルギー導入への助成」、「環境保全活動への助成」の順位が上がっている。

(6) 事業者に望むことについて

環境保全のために事業者に望むことについては、「廃棄物の減量化、リサイクル」が最も多く、「太陽光発電など再生可能エネルギーの導入」、「原料や製法など環境に配慮した製品づくり」、「事業者の率先した環境保全活動」の順となっている。